

令和7年度

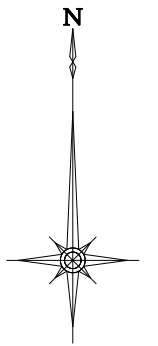
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

外壁等改修工事

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

一 般 共 通 図		建 築 改 修 図					
番号	図 面 名	番号	図 面 名	番号	図 面 名	番号	図 面 名
A - 1	図面リスト表	B - 1	工事概要図	B - 21	[改修] 外壁改修_立面図（１）	B - 41	[改修] ポーチ改修図
2	附近見取図	2	仮設足場計画図（１）	22	外壁改修_立面図（２）	42	[改修] テラス改修図
3	建築改修工事特記仕様書（１）	3	仮設足場計画図（２）	23	外壁改修_立面図（３）	43	[改修] 排煙窓_位置図
4	建築改修工事特記仕様書（２）	4	外壁改修概要図	24	外壁改修_立面図（４）	44	排煙窓_リスト表（１）
5	建築改修工事特記仕様書（３）	5	外壁等改修工事の工法及び仕様	25	地階_天井改修図	45	排煙窓_リスト表（２）
6	敷地平面図	6	石綿含有建材除去工事_特記仕様書	26	1階_天井改修図	46	
7	総合仮設計画図	7	石綿含有建材リスト表	27	屋外階段_改修図	47	
8	外部仕上表	8	外壁補修参考図（１）	28	各階_建具位置図	48	
9	地階平面図	9	外壁補修参考図（２）	29	建具リスト表（１）	49	
10	1階平面図	10	外壁補修参考図（３）	30	建具リスト表（２）	50	
11	R 1階平面図	11	外壁打診調査参考図	31	建具リスト表（３）		
12	R 2階平面図	12	外壁展開位置図	32	欠番		
13	R 3階平面図	13	外壁展開図（１）：A棟	33	[改修] 屋根位置図		
14	建物立面図（１）	14	外壁展開図（２）：B棟	34	屋根改修図 屋根④・⑤、⑨		
15	建物立面図（２）	15	外壁展開図（３）：C棟	35	[改修] 屋上位置図		
16	各階建具位置図	16	外壁展開図（４）：D棟	36	屋上平面図（１）：屋上A～C		
17	建具リスト表（１）	17	外壁展開図（５）：回廊_外面	37	屋上平面図（２）：屋上D・F		
18	建具リスト表（２）	18	外壁展開図（６）：回廊_内面	38	屋上平面図（３）：屋上E		
19	建具リスト表（３）	19	外壁展開図（７）：天井面	39	屋上平面図（４）：屋上G		
20	欠番	20	外壁展開図（８）：屋外階段	40	欠番		

兵庫県加東市下滝野1283番地1
(北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園)



附近見取図 (S=1/4, 000)

建築改修工事特記仕様書

※設計図書優先順位
①質疑回答書 ②現場説明書 ③特記仕様書 ④設計図 ⑤標準仕様書

1. 共通仕様

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(最新版)」(以下、「改修標準仕様書」という。) による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」(以下「標準仕様書」という。) 及び「建築物解体工事共通仕様書(最新版)」(以下「解体共通仕様書」という。) による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2. 特記仕様

1) 項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2) 特記事項は、○印のついたものを適用する。
○印のつかない場合は※印のついたものを適用する。
○印と※印のついた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の< >、() 及び [] 内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3. 特記仕様書の範囲

特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。
・構造特記仕様書 ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書 ・解体工事特記仕様書
・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書 ・

4. 石綿等の取扱い

○石綿等の取扱いについては、石綿障害予防規則[平成17年2月24日厚生労働省令第21号](以下、「石綿則」という。) を遵守すること。
○大気汚染防止法の一部を改正する法律[令和2年法律第39号]を厳守すること。

5. 工事の期間

・工事期間：契約締結日の翌日 ～ 契約工期による
・催事予定：－
・休 館 日：－
・そ の 他：－

6. 工事の概要

・(1) 外壁等改修工事
・(2) －
・(3) －
・(4) －
・(5) －

章	項 目	特 記 事 項
①、一般共通事項	①適用範囲	○本仕様書は、建築物等の模様替え及び修繕(以下「改修」という。) に係る建築工事に適用する。
	②適用基準等	○建築工事標準詳細図(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版) ○建築構造設計基準(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版) ○営繕工事写真撮影要領 建築編(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 最新版)
	③一般事項	○工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ○請負業者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ○施工体系図を現場に掲示すること。 ・工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況(地盤・擁壁・内外壁・床・建具等)を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 調査範囲 ※図示
	概成工期	○工事工期より 日前(監督職員の指示による) <1.1.2>
	⑤工事実績情報(CORINS)の登録	・適用しない <1.1.4> ※適用する(請負精算額が500万円以上の場合) 受注時・変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。
	⑥施工体制	○下請契約を締結する場合は、施工体制台帳及び施工体系図を提出すること。
	⑦発生材の処理等	○発生材の処理は、再生資源の利用の促進に関する法律、廃棄物の処理および清掃に関する法律、建設廃棄物処理指針、その他関係法令によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理し監督職員に報告する。 ○廃棄物の処理を委託する場合には、運搬と処分についてそれぞれの許可業者と「建設廃棄物処理委託契約書」により書面で委託契約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃棄物処理委託契約書の写しより書面で委託契約を締結しなければならない。また、契約締結後は速やかに建設廃棄物処理委託契約書の写しを工事監督員に提出しなければならない。 ○産業廃棄物が委託内容どおり処理されたことを確認するものとして、「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」を使用しなければならない。また、運搬車両ごとに処分(中間処理)が済み次第、速やかにA票、B2票、D票の写しを工事監督員に提出し、最終処分等については、確認出来次第、速やかに確認資料(E票等)の写しを、工事の完了に関係なく、工事監督員に提出するものとする。 ○工事着手前に「再生資源利用促進計画書」を提出し、工事監督員の承諾を得ること。 ○竣工検査時までに「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を提出すること。 ○引き渡しを要するもの() ○現場において再利用を図るもの() ○再生資源化を図るもの ※コンクリート塊 ※アスファルトコンクリート塊 ※建設発生木材 ・金属類 ・プラ類 ・ガラス類 ・特別管理産業廃棄物(図示による)
	電気保安技術者	※適用する <1.3.3> ・適用しない
	⑨事故報告	○事故報告 <1.3.10> ※工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。
	⑩建築材料等	○材料の品質等 <1.4.2> ※本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 ※現場に搬入した材料は、種別ごとに監督職員の検査を受ける。

①環境への配慮
※本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。
②ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合
該当する建築材料
1) J I S 及び J A S の F ☆☆☆品
2) 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
3) 次の表示のある J A S 適合品
a. 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b. 接着剤等不使用
c. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d. ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e. 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

③室内の空気中の化学物質濃度の測定
④ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法及び測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンブラー製造所ので定める仕様により行う。
⑤測定対象物質
※ホルムアルデヒド (濃度指針値 100 μg/m3 ・ 0.08ppm)
※アセトアルデヒド (濃度指針値 48 μg/m3 ・ 0.03ppm)
※スチレン (濃度指針値 220 μg/m3 ・ 0.05ppm)
※トルエン (濃度指針値 260 μg/m3 ・ 0.07ppm)
※エチルベンゼン (濃度指針値 3,800 μg/m3 ・ 0.88ppm)
※キシレン (濃度指針値 200 μg/m3 ・ 0.05ppm)
※パラジクロロベンゼン (濃度指針値 240 μg/m3 ・ 0.04ppm)
⑥測定する室等：()
⑦採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では8時間採取する。
⑧測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を提出する。(提出部数 部)
※測定結果
※試料採取時の状況(気温・湿度(室外・室内)、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数)
※試料採取方法、測定方法、使用した測定機器
⑨測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。
⑩総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定か所等については、末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。
⑪室内VOC濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。
・適用する <1.6.2>
・適用しない
※配置に努めること
⑫工事経過報告書を、毎月1回監督職員に提出する。
(内容：日誌、天候、工事進捗状況、工事進捗状況写真、その他監督職員の指示する事項)
⑬下記に定める図書等を監督職員に提出し承諾を受ける。監督職員は下記に定める他、必要な図書の提出を求めることがある。
⑭提出部数は各 2 部(市町等担当課・請負工事業者)
○実施図面製本(A3版2つ折製本)
○工事着手届 ○監理(主任)技術者届 ○現場代理人届 ○コリンズ登録写
○総合施工計画書 ○工種別施工計画書 ○施工体制台帳 ○下請業者承諾願
○実施工程表 ○月間工程表 ○週間工程表 ○質疑応答書
○工事打合記録 ○施工図等 ○使用材料機器等承諾 ・コンクリート調査表
○各種材料試験成績表 ○工事日報 ○工事写真 ○工事記録報告書
○工事完了届 ○引渡書 ○保証書 ○その他関係書類一式
・作成しない <1.8.1><1.8.2><1.8.3>
○作成する
○完成図(○意匠図 ・ 構造図 ・ 設備図 ・ 外構図 ・ 造成図)を提出。
(・ 原因・設計図書の原因訂正を可とする。)
○原因図2つ折製本 (表紙文字入) 提出部数 1 部
・縮小版2つ折製本 (A3版) (表紙文字入) 提出部数 3 部
・縮小版2つ折製本 (A4版) (表紙文字入) 提出部数 部
○完成図面データ(CD) 提出部数 2 枚
(完成図面データはJWW形式又はDXF形式とする。)
○施工計画書 提出部数 2 部
※施工図 提出部数 2 部
※保全に関する資料
※官公署届出書類
※建築物等の保守に関する説明書
○主要な材料・機器一覧表
○機器取扱い説明書
○機器性能試験成績書
○CADデータは(・ 有償 ○無償)で配布する。
・作成しない
○作成する(※完成写真の撮影業者は監督職員の承諾する撮影業者とする。)
分類 サイズ 撮影箇所数 部 数 提出様式
○カラー ○L ○写真撮影要領の 1 部 ○工事用アルバムA4版(ポケット式程度)
・白黒 ・2L ・完成写真程度 ・ 部 ・
・六切り ・箇所枚 ・フリーアルバム(台紙寸法323×270程度)
・

①施工範囲 各工事の区分表による。
②施工図 設備機器の位置、取合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

①火災保険等
②工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類(※火災保険 ・ 建設工事保険)
保険期間 (※工事着手から工事目的物引き渡しまで ・)
③その他
④現場には必ず設計図・見積書・共通仕様書を各1部おいておくこと
⑤工事のため隣家、通行者、第三者等への損害、補償及び補修は請負者の負担とする。
⑥近隣に対して着工前に適切な処置をなし、工事の円滑を計るようにする。
⑦設計図書に指示ある事項であっても、施工者が適当でないと思えたものは、事前に訂正を申し出て、係員の指示・決定通り施工すること。適当でないかつつ施工してはならない。
⑧工事用車輛の出入口には必要に応じ警備員を配置し、通行人や車両への配慮を十分に行うこと。
⑨周辺に配慮した仮設計画を作成し、係員の承諾を受ける事。
⑩工事に必要な申請は請負業者が行う事。

②、仮設工事	①仮囲い ②危険防止 ③交通誘導員 ④揚重機械器具 ⑤工事表示板 ⑥足場等 ⑦養生 ⑧仮設間仕切り ⑨監督職員事務所 ⑩工事用水 ⑪工事用電力 ⑫工事用通路 ⑬仮設トイレ等 ⑭その他	・設けない ○設ける(○「総合仮設計画図」参照のこと。) ○仮囲い(○ガードフェンス、 ○門(○キャスターゲート、 ○シート張り ・金網養生枠 ・配置しない(但し、必要と思われる場合は、施工者側にて配置すること。) ○配置する(※工事期間中 10日程度 ○ラフテレーンクレーン (25 t吊り) × 2.0 日程度 ・ (t吊り) × 日 ・設置しない ○設置する(設置枚数 1 枚) ○足場等については下記による。 ○外部足場 ※設置する(※図示による ・ 工事に必要な範囲) ・設置しない ○防護シート ※設置する(※図示による ・ 工事に必要な範囲) ・設置しない ・内部足場 ※設置する(※図示による ※脚立、足場板) ・設置しない ○材料、撤去材等の運搬 種別(・A種 ○B種 ・C種 ○D種 ・E種) C種：利用可能なエレベーター() D種：利用可能な階段(施設階段) ○足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン(厚生労働省平成21年4月策定)」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。 ○養生(現場状況に応じ対応すること。) <2.3.1> ※既存部分の養生 (※行う ・ 行わない) ※既存家具等の養生 (※行う ・ 行わない) ※固定家具等の移動 (※行う ・ 行わない) ※既存ブラインド、カーテンの等養生及び保管 (・ 行う ※行わない) 保管場所 () 養生の方法 () ・設けない <2.3.2><表2.3.1> ○設ける(図示) 仮設間仕切り等の種別 種別 下地 仕上材(厚さ mm) 充填材 塗装 ※A種 ※軽量鉄骨 ・合板(・) 吸音材 ※なし ・B種 ・木下地 ※石膏ボード(・) (厚さ 30 mm) ・片面 ・C種 ・単管下地 ・防炎シート ※仮設扉 ※木製扉 ※合板張り程度 ・鋼製扉 ・片面フラッシュ程度 ○設けない(・ 請負者事務所に打合せ会議室を確保する) <2.4.1> ・設ける (規模 W2.40m×L7.20m：17.28 m ² 程度) (請負者事務所と同棟 ・ 可 ・ 否) (備品 机、椅子) ○構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・ 無償) ○構内既存の施設 ・利用できない ※利用できる(※有償 ・ 無償) ※溶接などの消費電力の大きな機器を除く ※指定しない ・指定する(図示) ○下記の仮設用施設を設けること。 ※仮設トイレ(大・小：兼用可)、仮設手洗を設置する。 ※水洗式(配管工事共)又は簡易水洗式とする。 ・施設内トイレの使用が可能。(但し、工事完了後清掃等を行い引き渡すこと。) ・ ○本工事は原則土日祝日には行わないこと。但し、監督員・施設担当者との協議次第では工事可能とする。 ○騒音の発生する工事は、監督員・工事監理者・施設担当者と協議のうえ日程調整を行うこと。 ○工事進行する上で撤去・復旧・移設を要する軽微なものは、本工事の範囲とする。 ○工事施工にあたり、付近住民・通行人・工作物に損害を与えないよう必要な保護設備を計画し係員及び各関係人の承諾を得て施工する。万一損害を与えた場合は速やかに対応手当、復旧しこれに要した費用は請負者の負担とする。 ○その他図示及び現場指示事項など必要に応じ対応すること。 ・
--------	--	--

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

設計者

法適合確認欄

検 証 者

工事名
令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事

図 名
建築改修工事特記仕様書 (1)

縮尺
—

図面サイズ
A3版(100%)

日付
令和 年 月 日

図面番号
A-3

③、防水改修工事	イ	アスファルト防水	・改修工法の種別 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 屋内（便所・浴室） ・ ・ ・E-1			＜3.1.4＞＜3.3.3＞＜表3.1.1＞＜表3.3.3～10＞
		伸縮調整目地	・成型伸縮目地（天端：EPTゴム、サイド：ブチルゴム製）			＜3.3.2＞＜3.3.5＞
		改質アスファルトシート防水	・改修工法の種別 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ※カラー ・シルバー ・AS-T ・AS-J ・AS-I- ・脱気装置（・設ける・設けない） ・種類（・平面部脱気型・立ち上がり部脱気型） ・施工業者（・防水層製品の製造所又はその指定業者とする。・）			＜3.1.4＞＜3.4.3＞＜表3.1.1＞＜表3.4.1～3＞ ＜3.4.3＞
		合成高分子系ルーフィングシート防水	○改修工法の種別 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ※カラー ・シルバー ○S-F ○S-M2 ・S-I- ○脱気装置（○設ける・設けない） ○種類（○平面部脱気型・立ち上がり部脱気型） ○施工業者（○防水層製品の製造所又はその指定業者とする。・）			＜3.1.4＞＜3.5.3＞＜表3.1.1＞＜表3.5.1～2＞ ＜3.5.3＞
		⑤ 塗膜防水	○改修工法の種別 新規防水層の種類 改修工法の種類 施工箇所 仕上塗料 ※カラー ・シルバー ○X-1 ○X-2 ・ ○脱気装置（・設ける○設けない） ・種類（・平面部脱気型・立ち上がり部脱気型） ・施工業者（・防水層製品の製造所又はその指定業者とする。・）			＜3.1.4＞＜3.6.3＞＜表3.1.1＞＜表3.6.1～2＞ ＜3.6.3＞
		⑥ シーリング材料の種類及び施工箇所	※被着体に応じたものとし、＜表3.7.1＞を標準とする。 ・＜表3.7.1＞によらない箇所及びシーリング材料 ＜表3.7.1＞によらない箇所 ・カーテンウォール ・			＜3.7.2＞＜表3.7.1＞
		⑦ シーリング改修工法	○改修工法の種別 改修工法の種類 施工箇所 ・シーリング充てん工法 ○シーリング再充てん工法 ・拡幅シーリング充てん工法 ・ブリッジ工法（・） ・			＜3.1.4＞＜3.7.4～8＞＜表3.1.2＞
		⑧ と い	※といの材質 材 種 ・配管用銅管（SGP） ・硬質塩化ビニル管（VP） ○ステンレス製 ・特記無き限り既存のとい受け金物を使用する。 ・銅管製といの防露巻き（※＜表3.8.5＞による。・）			＜3.8.2＞＜表3.8.1＞＜表3.8.3～4＞ ＜3.8.3＞＜表3.8.5＞
		⑨ ルーフドレイン	○ルーフドレイン（改修用ドレイン） ○鋳鉄製（・縦型 ○横型 ） ○水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する			＜3.8.2＞＜表3.8.2＞
		⑩ アルミニウム製笠木	・部材の種類 ・押出 250形 ・押出 300形 ・押出 350形 ・板材折曲げ形（・オープン形式 ・シール形式） ・付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。 ・表面処理 （※BB-1種 ・BB-2種 ）			＜3.9.2＞＜表3.9.1＞ ＜3.9.2＞＜表5.2.2＞
⑪ 防水保証	※アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。 ※塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。					
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園						
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671		設計者	法適合確認欄	検 証 者	工事名 令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	
					図 名 建築改修工事特記仕様書（2）	
					縮尺 —	
					図面サイズ A3版(100%)	
					日付 令和 年 月 日	
					図面番号 A-4	

⑥

外壁用塗膜防水材塗り

○外壁用塗膜防水塗り

・仕上げの形状

・

・工法

・外壁用仕上塗材の耐候性

・

・※JIS A 6909の耐候性1種相当

○下地塗動緩衝材の適用

・適用する

・適用しない

○吹付け工法の模様の種類

・

・所要量 (kg/㎡)

○外壁用仕上塗材の種類

・

・所要量 (kg/㎡)

・

・コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理

※改修特記仕様書 4 章 外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による

・図示による

・モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理

※改修特記仕様書 4 章 外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による

・図示による

・既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

※改修特記仕様書 4 章 外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による

・図示による

⑦

壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理

○壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理

塗膜の劣化部の除去工法

・サンダー工法

○高圧水洗工法

・塗膜はく離剤工法

・水洗い工法

○湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法

処理範囲

・既存仕上面全体

○図示（既存仕上面劣化部）

○石綿含有建材除去工事参照のこと

⑦

① 防火材料

※屋内の壁及び天井の仕上げは、建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。

・次の箇所を除き防火材料とする。（ ）

○錆止め塗料塗り

種別

下地調整

塗装種別

塗料種別

※鉄鋼面

新規

※RA種・RB種・RC種

※A種（見え掛かり）

※B種（見え隠れ）

※A種

※B種<9節の場合>

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・垂鉛めっき鋼面

新規建具

・RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※A種

・B種

新 規

※RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・B種

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・C種<9節の場合>

・合成樹脂調合ベイント塗り

種別

下地調整

塗装種別

塗料種別

・木部

新 規

・RA種・RB種・RC種

※A種（外部）

※B種（内部）・C種

※1種

・2種

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・鉄鋼面

新 規

※RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

※1種

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・2種

・垂鉛めっき鋼面

建具塗替

・RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

新 規

※RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・2種

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

○合成樹脂エマルションペイント塗り

種別

下地調整

塗装種別

塗料種別

※コンクリート面

新 規

※RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

・ALCパネル面

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・押出成形セメント板面

・モルタル面

新 規

・RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

・プaster面

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・石こうボード

新 規

※RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

※その他のボード等の面

塗替え

※RA種（縦目処理工法）

・A種・B種・C種

※RB種（その他）

・RC種

○耐候性塗料塗り

種別

下地調整

塗装種別

塗料種別

○鉄鋼面

新 規

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

※1種

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・2種

・垂鉛めっき鋼面

建具塗替

・RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

新 規

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・2種

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・コンクリート面

新 規

・RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

・ALCパネル面

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・押出成形セメント板面

・モルタル面

新 規

・RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

・プaster面

塗替え

・RA種・RB種・RC種

・A種・B種・C種

・石こうボード

新 規

・RA種・RB種・RC種

※A種・B種・C種

※1種

○その他のボード等の面

塗替え

※RA種（縦目処理工法）

・A種・B種・C種

※RB種（その他）

・RC種

○別図参照のこと

⑥

その他

○別図参照のこと

⑨-1

石綿含有建材の除去工事

※施工調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲（※改修部分）

・図示

貸与資料（○別途調査資料あり）

・

参考情報（○下記に示す）

○図示（B-7）

○石綿含有建材であると確認できている使用建材等は下記の通りである。

（部位：外壁部 建材：仕上塗材（下地モルタル共））

（部位：軒天部 建材：仕上塗材（下地モルタル共））

（部位： 建材： ）

（部位： 建材： ）

○石綿含有建材の疑いのある使用材料等は下記の通りである。

（部位：外壁部 建材：別図（B-7）参照のこと）

（部位： 建材： ）

（部位： 建材： ）

（部位： 建材： ）

※分析による石綿含有建材の調査

分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト

分析方法（定性分析とする。定量分析は行わない。）

材 料 名

定性分析方法

定量分析方法

JIS A 1481 または JIS A 1481-2

JIS A1481-3 または JIS A 1481-4

○事前調査に依る

設計上では、9箇所

設計上では、0箇所

・

・

・

サンプル数 ※1ヶ所あたり3サンプル

採取箇所 ・図示

※現場指示とする

○石綿粉じん濃度測定

・監督職員の指示による

※石綿含有建材除去工事仕様書による

・

○測定点 測定時期、場所

適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数

・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内（除去作業附近） 計 点

※ 測定 2 調査対象室外部の付近（敷地境界） 計 4 点

※ 測定 3 処理作業中 処理作業室内（除去作業附近） 計 1 点

・ 測定 4 セキュリティゾーン入口 計 点

・ 測定 5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 計 点

※ 測定 6 処理作業室外・施工区画周辺○敷地境界 計 4 点

・ 測定 7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点

・ 測定 8 処理作業後シート撤去後1週間以降 処理作業室内（除去作業附近） 計 点

※ 測定 9 調査対象室外部の付近（敷地境界） 計 4 点

・測定方法

・自動測定器による測定

測定 名称 測定 方法

・測定 4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・測定 5

・JIS K 3850-11に基づいた測定

測定名称 メンブレンフィルタ直径 (mm) 試料の吸引流量 (L/min) 試料の吸引時間 (min)

・測定 4 25 5 30

・測定 5 47 10 120

・測定 47 10 240

・測定

・測定

⑩

石綿含有建材の除去工事

※施工調査

※石綿含有建材の事前調査

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲（※改修部分）

・図示

貸与資料（○別途調査資料あり）

・

参考情報（○下記に示す）

○図示（B-7）

○石綿含有建材であると確認できている使用建材等は下記の通りである。

（部位：外壁部 建材：仕上塗材（下地モルタル共））

（部位：軒天部 建材：仕上塗材（下地モルタル共））

（部位： 建材： ）

（部位： 建材： ）

○石綿含有建材の疑いのある使用材料等は下記の通りである。

（部位：外壁部 建材：別図（B-7）参照のこと）

（部位： 建材： ）

（部位： 建材： ）

（部位： 建材： ）

※分析による石綿含有建材の調査

分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソライト、クロシドライト、トレモライト

分析方法（定性分析とする。定量分析は行わない。）

材 料 名

定性分析方法

定量分析方法

JIS A 1481 または JIS A 1481-2

JIS A1481-3 または JIS A 1481-4

○事前調査に依る

設計上では、9箇所

設計上では、0箇所

・

・

・

サンプル数 ※1ヶ所あたり3サンプル

採取箇所 ・図示

※現場指示とする

○石綿粉じん濃度測定

・監督職員の指示による

※石綿含有建材除去工事仕様書による

・

○測定点 測定時期、場所

適用 測定名称 測定時期 測定場所 測定箇所数

・ 測定 1 処理作業前 処理作業室内（除去作業附近） 計 点

※ 測定 2 調査対象室外部の付近（敷地境界） 計 4 点

※ 測定 3 処理作業中 処理作業室内（除去作業附近） 計 1 点

・ 測定 4 セキュリティゾーン入口 計 点

・ 測定 5 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） 計 点

※ 測定 6 処理作業室外・施工区画周辺○敷地境界 計 4 点

・ 測定 7 処理作業後（シート養生中） 処理作業室内 計 点

・ 測定 8 処理作業後シート撤去後1週間以降 処理作業室内（除去作業附近） 計 点

※ 測定 9 調査対象室外部の付近（敷地境界） 計 4 点

・測定方法

・自動測定器による測定

測定 名称 測定 方法

・測定 4 粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

・測定 5

・JIS K 3850-11に基づいた測定

測定名称 メンブレンフィルタ直径 (mm) 試料の吸引流量 (L/min) 試料の吸引時間 (min)

・測定 4 25 5 30

・測定 5 47 10 120

・測定 47 10 240

・測定

・測定

⑪

石綿含有建材の除去後の仕上げ工事

○図示（別図参照のこと）

・

北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

設計者

法適合確認欄

検 証 者

工事名 令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事

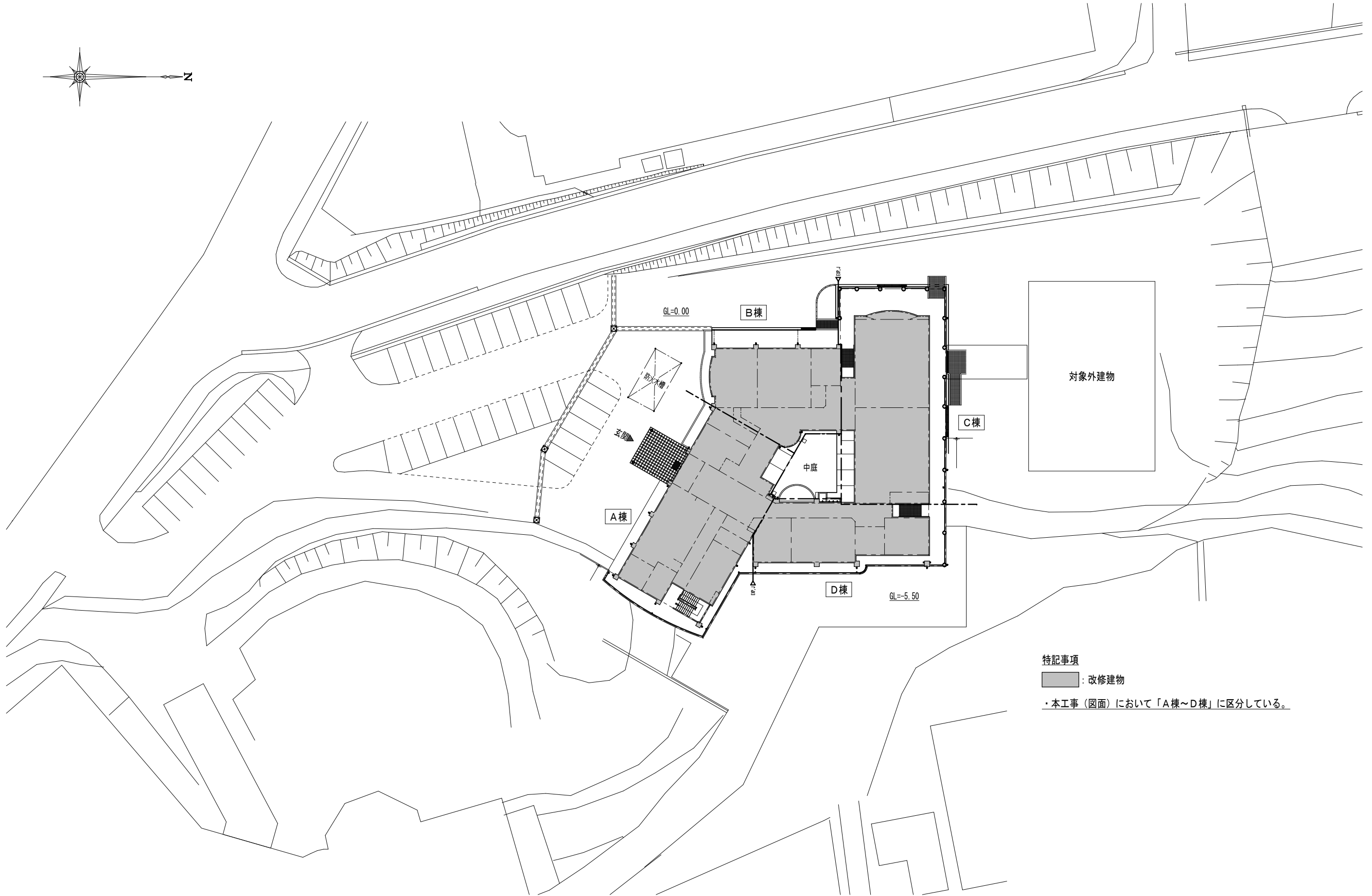
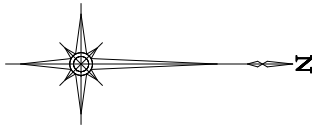
図 名 建築改修工事特記仕様書（3）

縮尺 —

日付 令和 年 月 日

図面サイズ A3版(100%)

図面番号 A-5



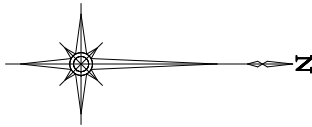
特記事項

■ : 改修建物

・本工事（図面）において「A棟～D棟」に区分している。

敷地平面図 (S=1/500)

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671	設計者			法適合確認欄	検証者	工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	縮尺 S=1/500	図面サイズ A3版 (100%)
						図名 敷地平面図	日付 令和 年 月 日	図面番号 A-6



総合仮設計画図

★図中凡例

- — — — ● 仮設囲い : フェンスバリケード (防塵シート共) : 7.50m
- ■■■ — ■■■■ 仮設出入口 : キャスターゲート (W6.00×H1.80) : 1基
- 現場事務所 現場事務所 : ユニットハウス (W2.40m×L7.20m程度)
(簡単な打合場所を設けること)
- 大 小 手 仮設トイレ : 水洗式 (大・小・手洗用)
-  交通誘導員 : 工事期間中 10人程度 (現場状況を判断し必要に応じ配置すること)
- クレーン車 クレーン車 : ラフテレーンクレーン (油圧伸縮ジブ付) 25 t 程度、2日程度

★特記事項

- ・設計上の仮設計画であり、工事に当たっては現地状況を熟知し、周辺に配慮した仮設計画を作成し、工事監督員及び工事監理者の承諾を受ける事。
- ・設計図書に指示ある事項であっても、工事請負者が適当でないと認めたものは、事前に訂正を申出て、工事監督員・工事監理者の指示・決定通り施工すること。
- ・工事用車輛の出入口には必要に応じ警備員を配置し、通行人や車両への配慮を十分に行うこと。又、工事における大型車両の通行に関しても十分に配慮すること。
- ・安全対策には十分に配慮し計画すること。
- ・その他必要に応じ仮設対応を行うこと。

総合仮設計画図 (S=1/500)

設計者

法適合確認欄

検証者

工事名

令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事

縮尺

S=1/500

図面サイズ

A3版 (100%)

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

図名

総合仮設計画図

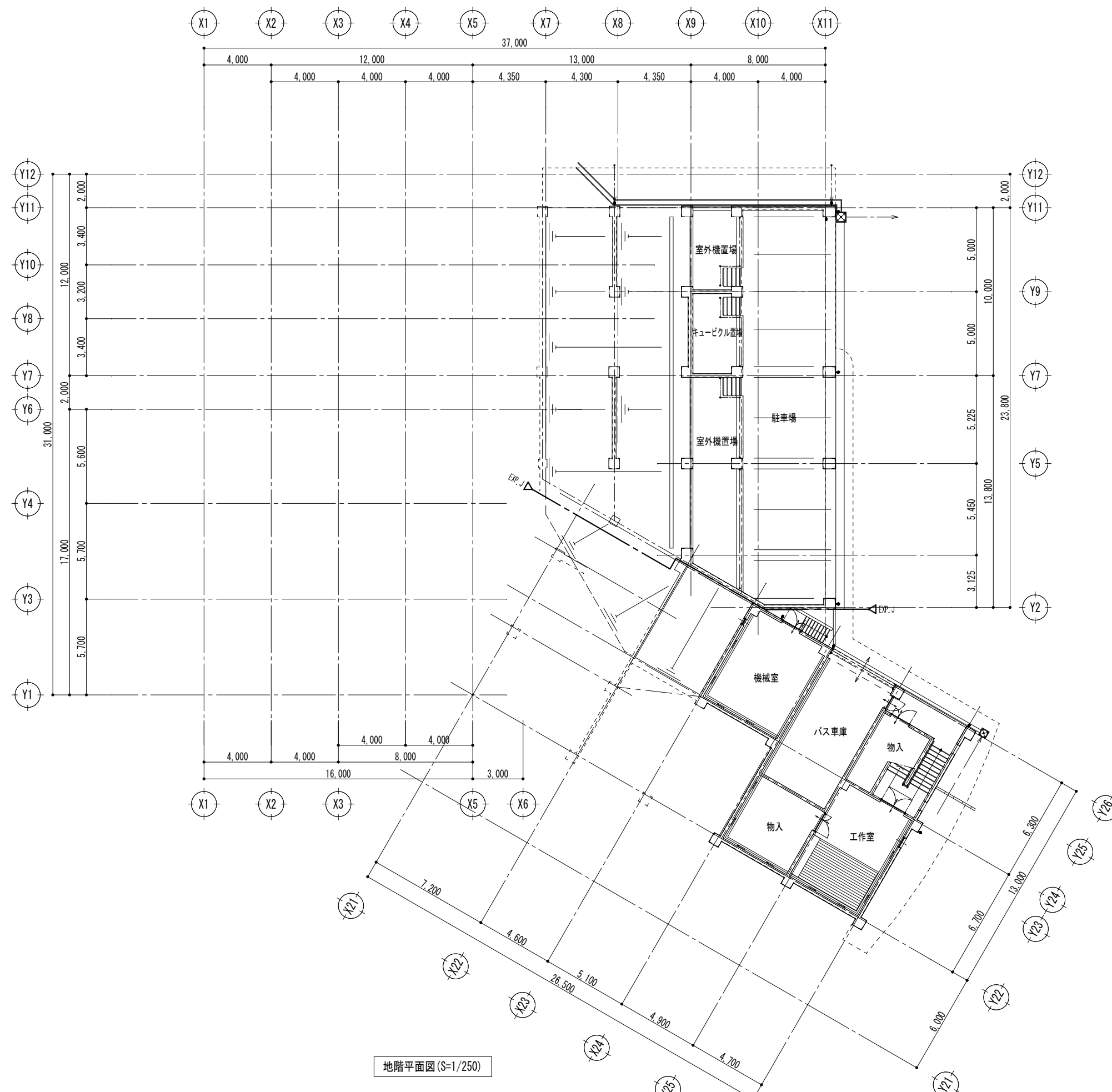
日付

令和 年 月 日

図面番号

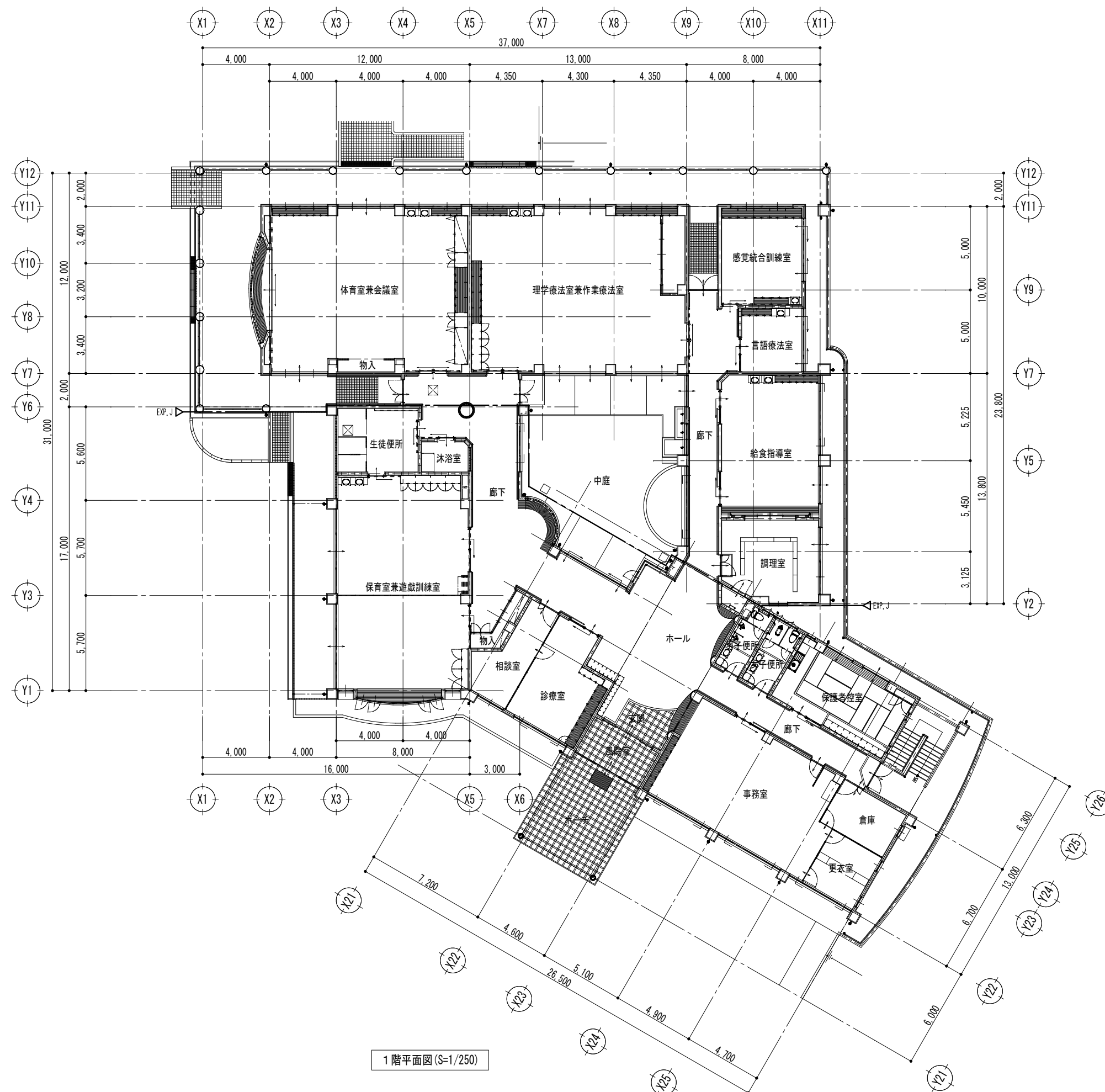
A-7

外 部 仕 上 表											
区分	部位	床		壁		天井		屋根		備考	
A棟	塔屋(上部)	－	－	柱型	フッ素樹脂塗装鋼板 (t=1. 2mm)	－	－	屋根	化粧石綿セメント板瓦	避雷針	クロームメッキ
				梁型	フッ素樹脂塗装鋼板 (t=1. 2mm)			頂部水切	フッ素樹脂塗装鋼板 (t=0. 8mm)		
	塔屋(下部)	－	－	外壁	二丁掛タイル (50×100)	－	－	屋根	洋風S型瓦		
				梁型	二丁掛タイル (50×100)						
				切妻壁	吹付タイル (メタリック平滑仕上)						
				破風	グラニット吹付						
	本棟(1階)	巾木	モルタル鏝押さえ	外壁	二丁掛タイル (50×100)	－	－	屋根	洋風S型瓦		
				梁型	二丁掛タイル (50×100)			屋上	F R P 防水	笠木	アルミ製
	本棟(地階)	巾木	吹付タイル	外壁	吹付タイル	梁型	アクリルリシン吹付	－	－		
						回廊裏	アクリルリシン吹付				
	回廊	床	モルタル鏝押さえ	腰外壁	グラニット吹付	－	－	－	－		
				腰内壁	グラニット吹付						
	屋外階段	床	防水モルタル鏝押さえ	内壁	吹付タイル	天井	仕上塗装 (V P 塗) ／珪酸カルシウム板	－	－	段鼻	ノンスリップタイル貼
		巾木	防水モルタル鏝押さえ	腰壁	吹付タイル	梁型	二丁掛タイル (50×100)				
				梁型	吹付タイル	階段裏	アクリルリシン吹付				
	ポーチ	床	磁器質タイル (300×300、300×75)	柱型	フッ素樹脂塗装鋼板 (φ300mm、t=1. 2mm)	天井	アルミ製スパンドレル	屋根	フッ素樹脂塗装鋼板 (t=1. 2mm) ／フラット屋根工法	内樋	耐酸被覆鋼板
		巾木	ステンレス製 (φ300、H=120) ／H L					幕板	フッ素樹脂塗装鋼板 (t=1. 2mm)	笠木	フッ素樹脂塗装鋼板 (t=1. 2mm)
B棟	本棟(1階)	巾木	モルタル鏝押さえ	外壁	二丁掛タイル (50×100)	－	－	屋根	洋風S型瓦		
		床	コンクリート直押さえ	梁型	二丁掛タイル (50×100)						
				外壁R部	モザイクタイル (50×50)			屋上	F R P 防水	笠木	アルミ製
				切妻壁	吹付タイル (メタリック平滑仕上)						
				破風	グラニット吹付						
C棟	本棟(1階)	巾木	モルタル鏝押さえ	外壁	二丁掛タイル (50×100)	－	－	屋根	洋風S型瓦		
				梁型	二丁掛タイル (50×100)			屋根	アクリル板 (アルミ製テラス屋根)		
				外壁R部	モザイクタイル (50×50)						
				切妻壁	吹付タイル (メタリック平滑仕上)						
				破風	グラニット吹付						
	回廊	床	モルタル鏝押さえ	腰外壁	グラニット吹付	天井	アクリルリシン吹付	屋上	合成高分子系塩ビシート防水 (二重)	笠木	アルミ製
				腰内壁	グラニット吹付	梁型	エマルスキン吹付				
				柱型	グラニット吹付	天井	仕上塗装 (V P 塗) ／珪酸カルシウム板	屋根	洋風S型瓦		
				外壁R部	モザイクタイル (50×50)						
D棟	本棟(1階)	巾木	モルタル鏝押さえ	外壁	二丁掛タイル (50×100)	天井	仕上塗装 (V P 塗) ／珪酸カルシウム板	屋根	洋風S型瓦		
				梁型	二丁掛タイル (50×100)						
	本棟(地階)	巾木	吹付タイル	外壁	吹付タイル	回廊裏	アクリルリシン吹付	－	－		
						梁型	エマルスキン吹付				
	回廊	床	モルタル鏝押さえ	腰外壁	グラニット吹付	天井	アクリルリシン吹付	屋上	合成高分子系塩ビシート防水 (二重)	笠木	アルミ製
				腰内壁	グラニット吹付	梁型	アクリルリシン吹付				
				柱型	グラニット吹付	天井	仕上塗装 (V P 塗) ／珪酸カルシウム板				
	車庫	床	コンクリート直押さえ	柱型	コンクリート打放し	天井	仕上塗装 (V P 塗) ／珪酸カルシウム板	－	－		
				内壁	コンクリート打放し						
－	全棟共通	天窓	600×600	軒樋	ステンレス製 (W120)						
			外部：ポリカーボネート	竖樋	ステンレス製 (φ105)						
			内部：網入型板ガラス	EXP. J	アルミ製						



地階平面図 (S=1/250)

北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671	設計者		法適合確認欄	検証者	工事名 令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	縮尺 S=1/250	図面サイズ A3版(100%)
					図名 地階平面図	日付 令和 年 月 日	図面番号 A-9



北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

設計者

法適合確認欄

検証者

工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事

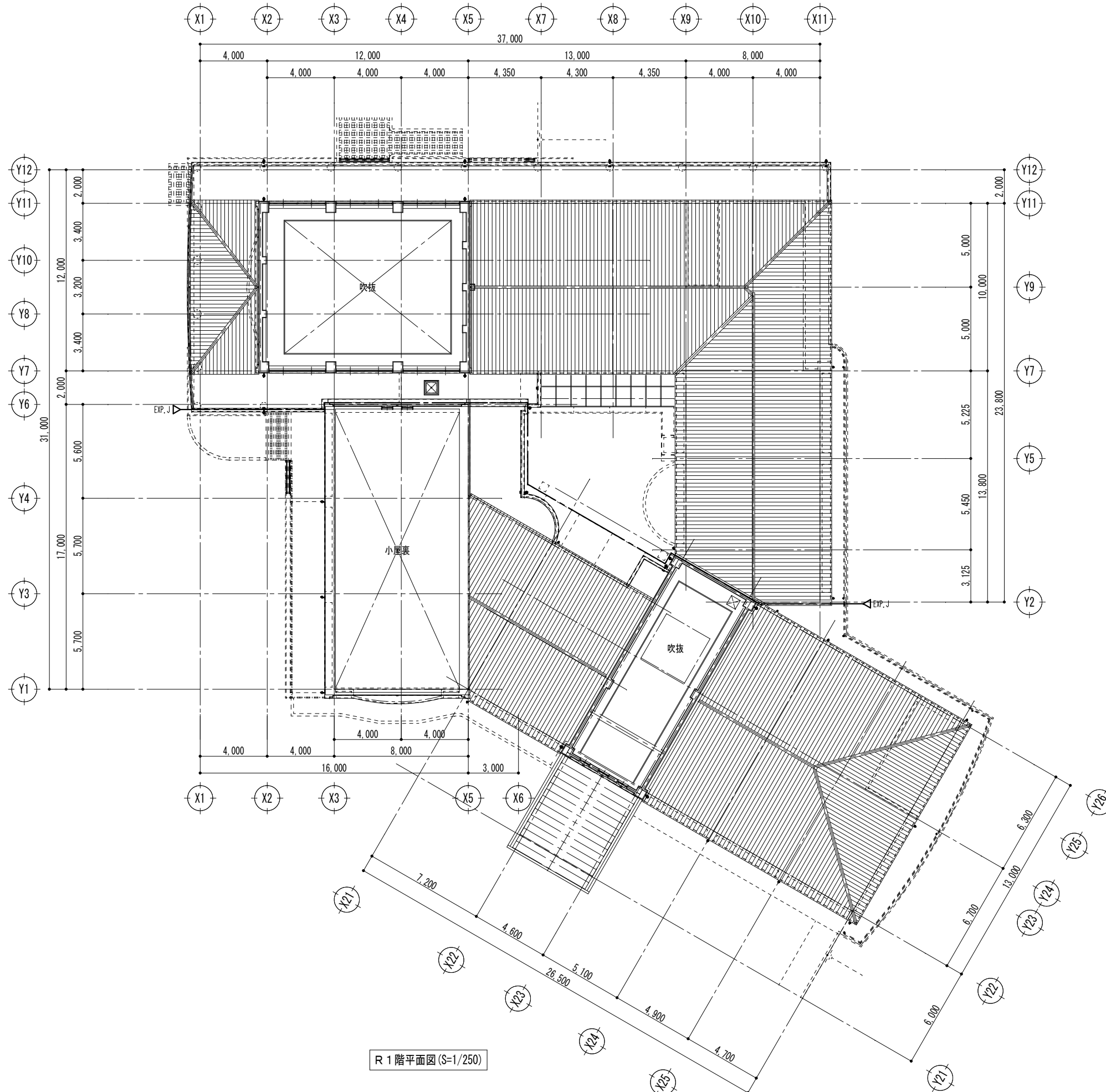
縮尺 S=1/250

図面サイズ A3版(100%)

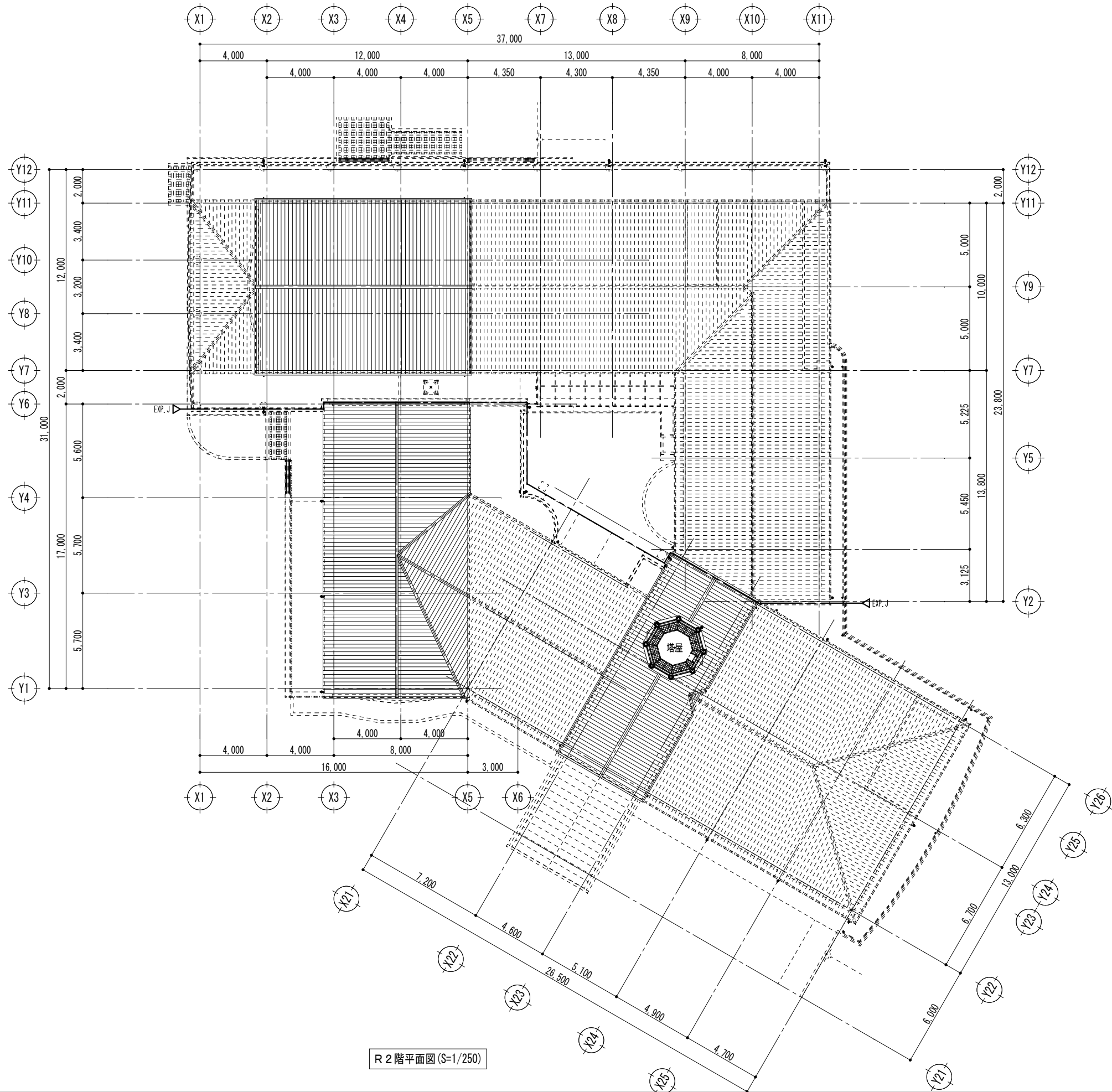
図名 1階平面図

日付 令和 年 月 日

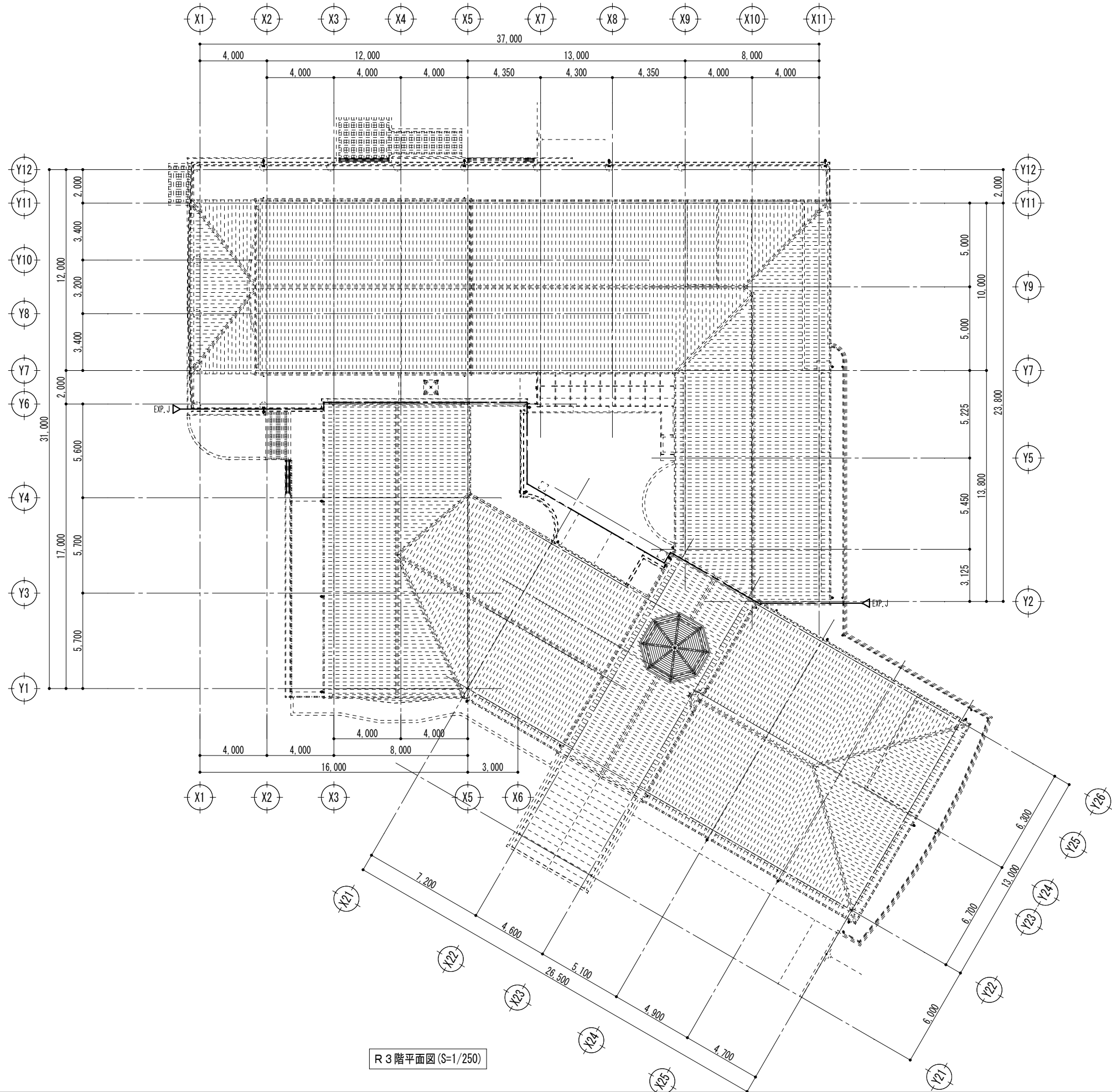
図面番号 A-10



設計者			法適合確認欄	検証者	工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	縮尺 S=1/250	図面サイズ A3版(100%)
					図名 R 1階平面図	日付 令和 年 月 日	図面番号 A-11



北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671	設計者			法適合確認欄	検証者	工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	縮尺 S=1/250	図面サイズ A3版(100%)
						図名 R 2階平面図	日付 令和 年 月 日	図面番号 A-12



R 3 階平面図 (S=1/250)

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

設計者

法適合確認欄

検証者

工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事

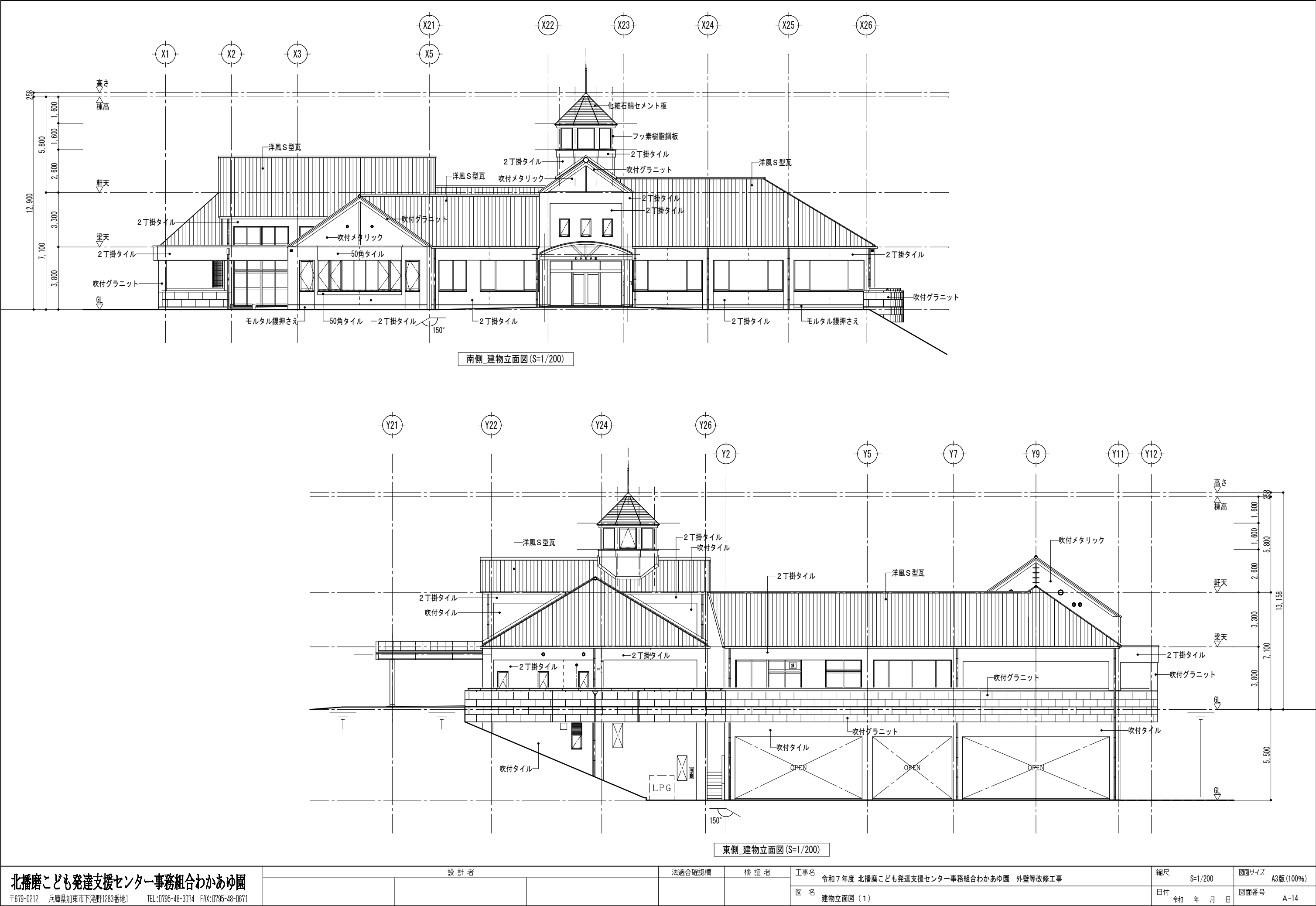
縮尺 S=1/250

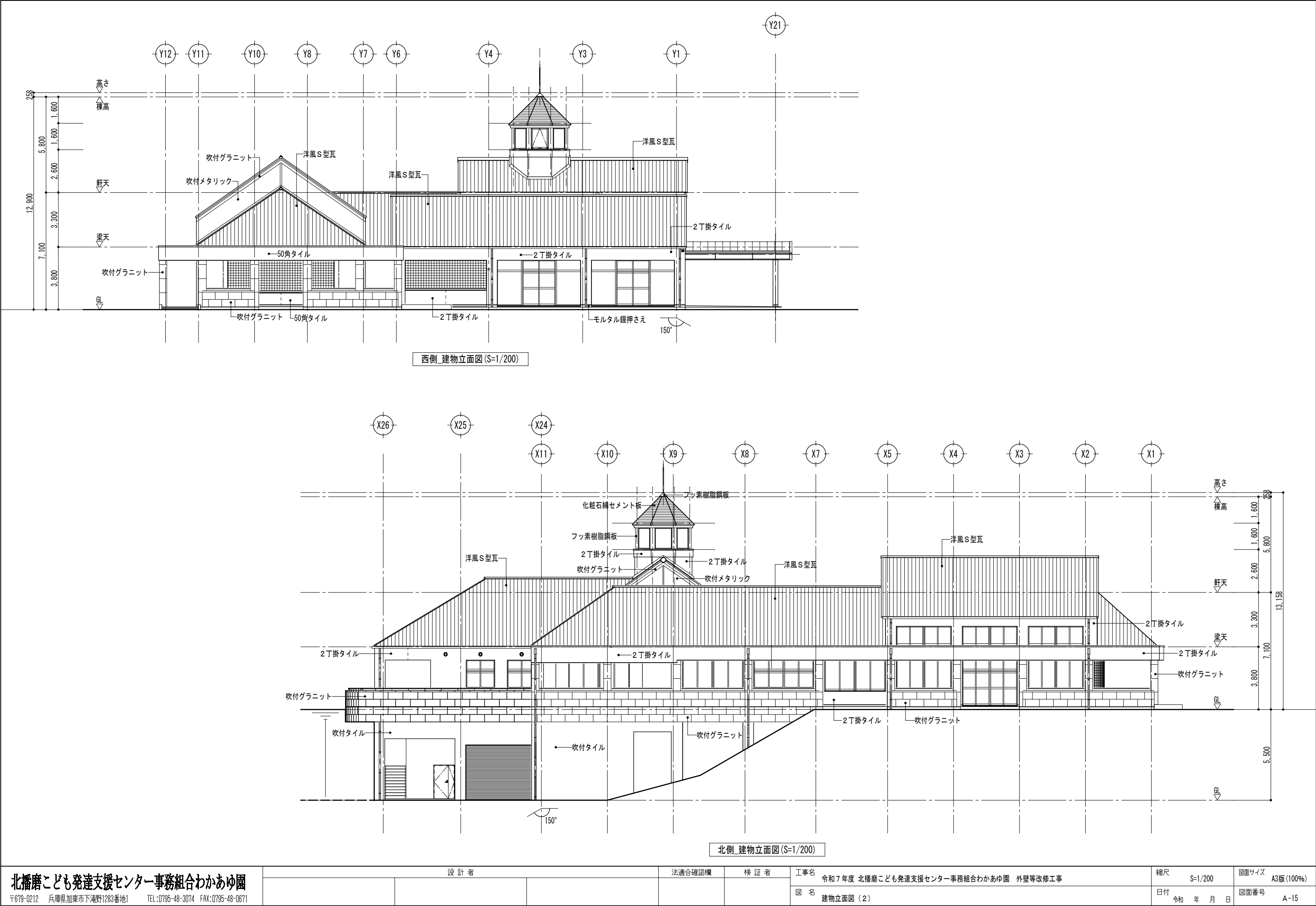
図面サイズ A3版(100%)

図名 R 3 階平面図

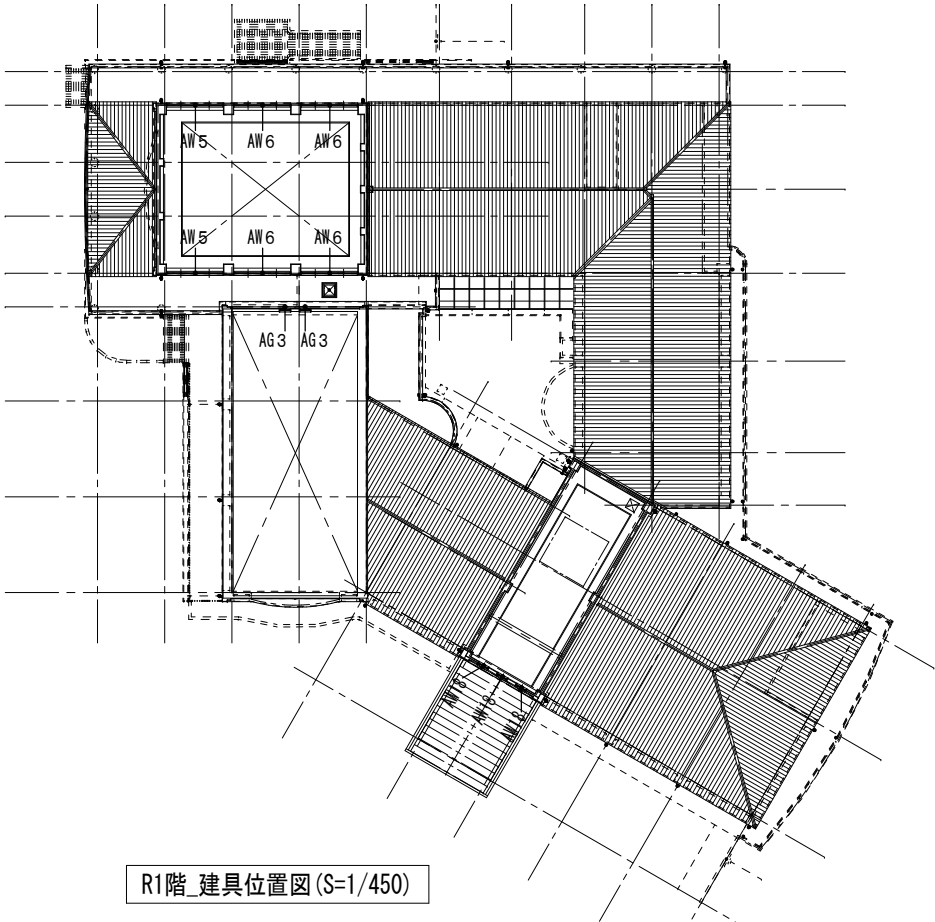
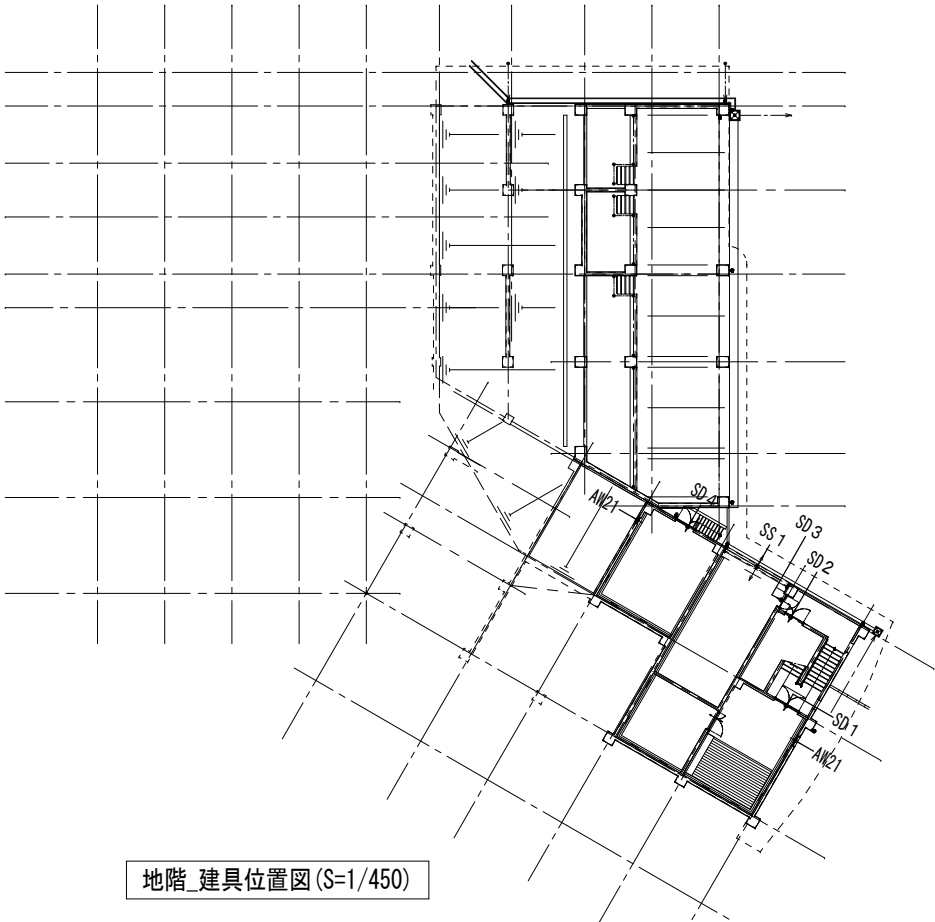
日付 令和 年 月 日

図面番号 A-13

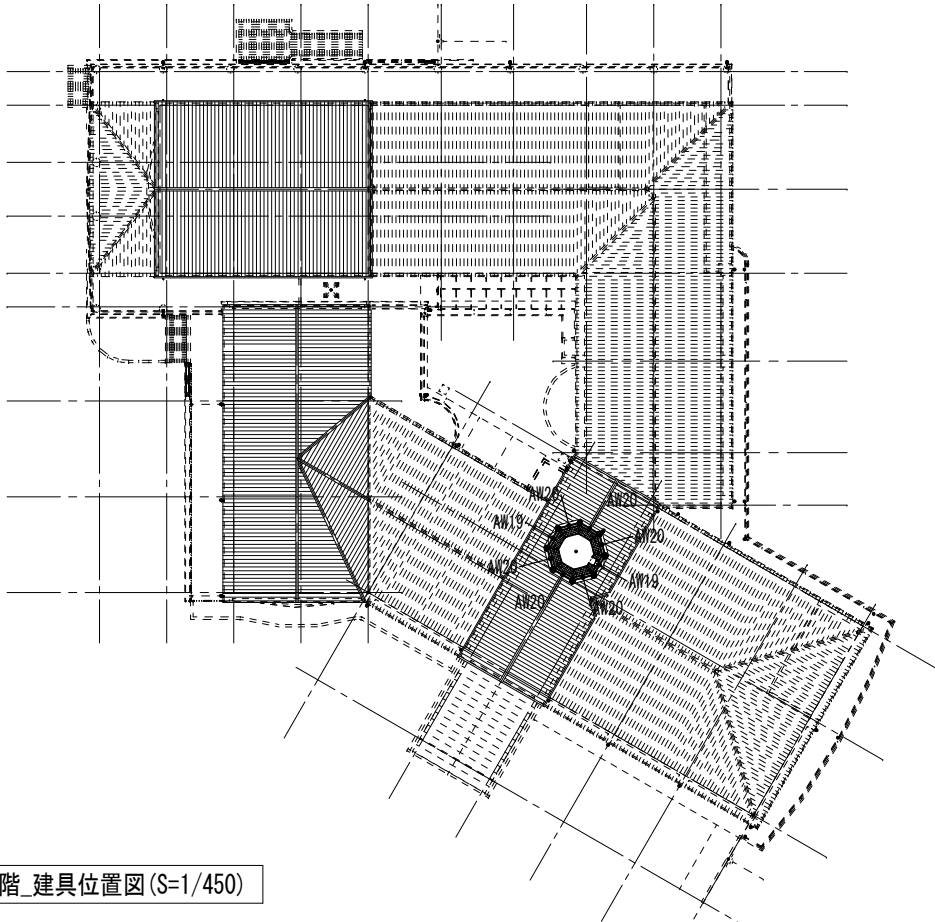
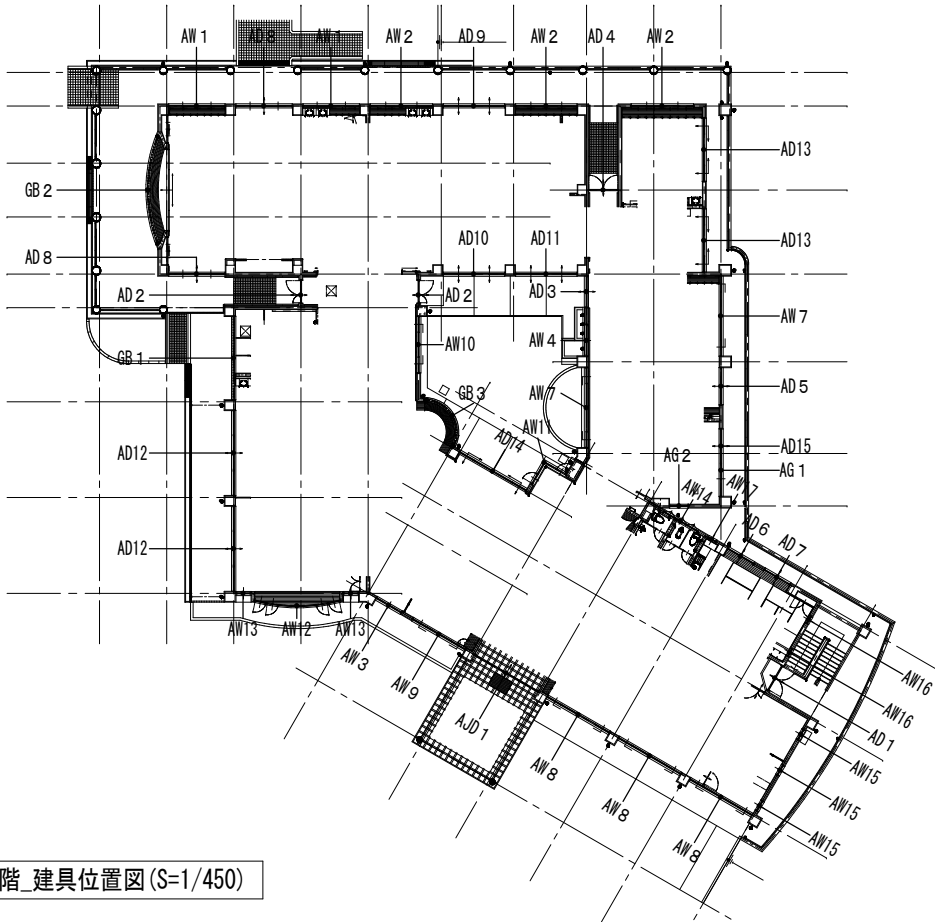




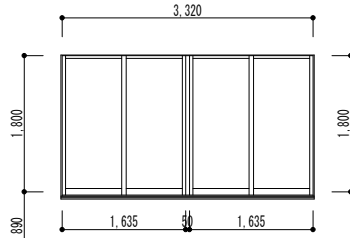
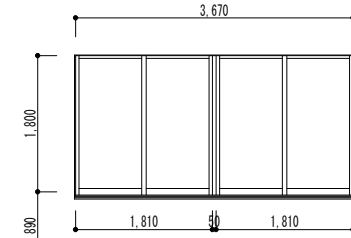
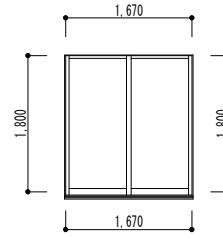
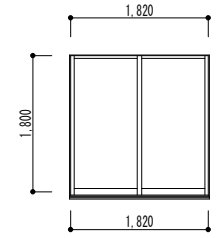
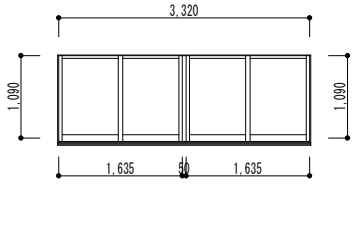
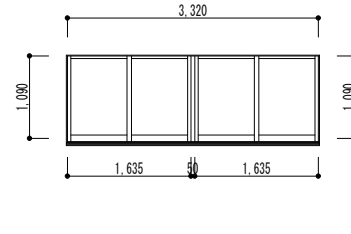
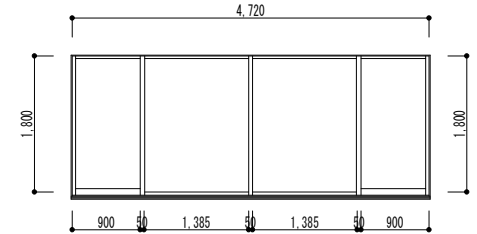
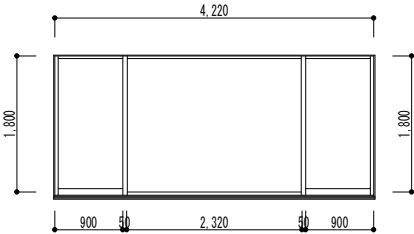
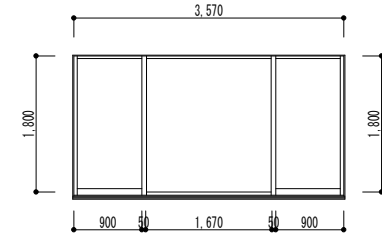
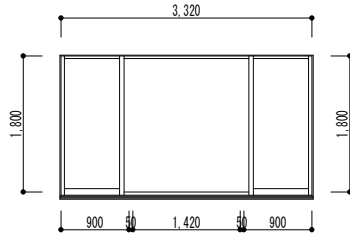
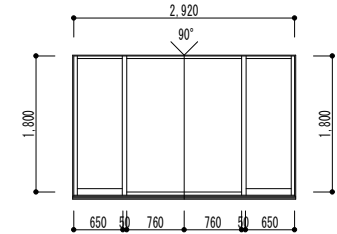
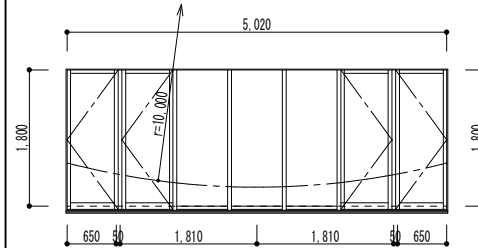
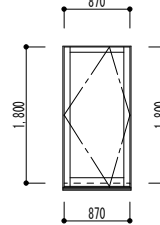
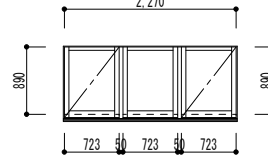
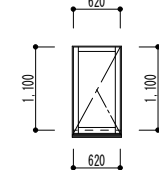
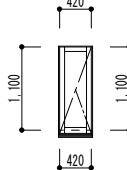
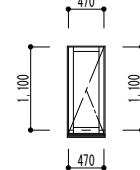
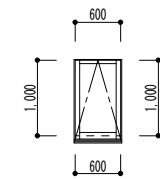
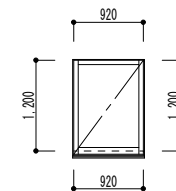
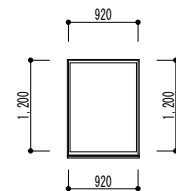
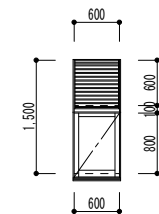
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671	設計者		法適合確認欄	検 証 者	工事名 令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	縮尺 S=1/200	図面サイズ A3版(100%)
					図 名 建物立面図 (2)	日付 令和 年 月 日	図面番号 A-15

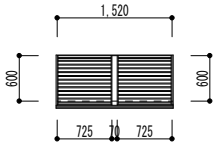
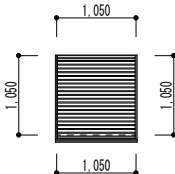
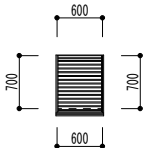
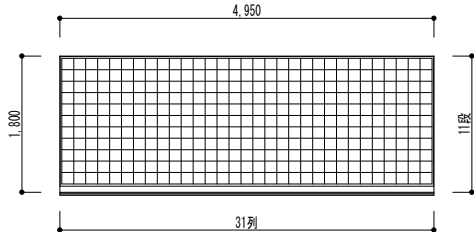
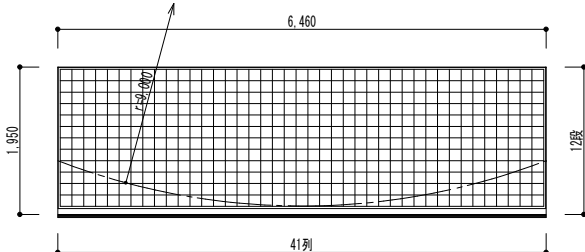
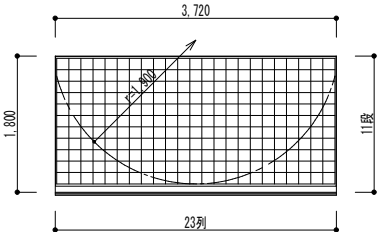
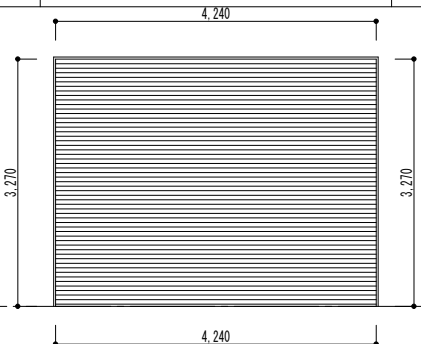
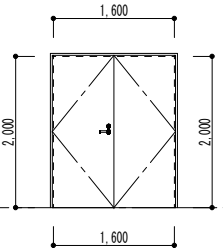
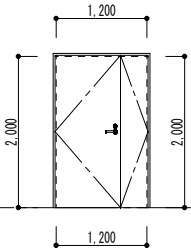
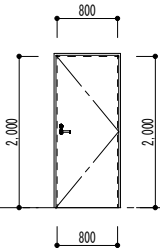
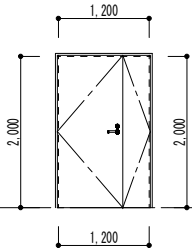


建具寸法一覧表			
符号	寸法	数量	特記事項
AJD_ 1	4,320×2,690	1	—
AD_ 1	1,620×2,690	1	排煙窓付
2	1,320×2,690	2	—
3	1,820×2,690	1	—
4	1,720×2,690	1	—
5	2,170×2,690	1	—
6	1,720×2,690	1	—
7	1,720×2,690	1	排煙窓付
8	3,320×2,690	2	—
9	3,620×2,690	1	排煙窓付
10	3,620×2,690	1	—
11	3,670×2,690	1	—
12	5,020×2,690	2	排煙窓付
13	3,720×2,690	2	—
14	4,520×2,690	1	排煙窓付
15	3,970×2,720	1	—
AW_ 1	3,320×1,800	2	—
2	3,670×1,800	3	—
3	1,670×1,800	1	—
4	1,820×1,800	1	—
5	3,320×1,090	2	排煙窓付
6	3,320×1,090	4	—
7	4,720×1,800	2	—
8	4,220×1,800	3	—
9	3,570×1,800	1	—
10	3,320×1,800	1	—
11	2,920×1,800	1	L型窓
12	5,020×1,800	1	曲面 (r=10,000)
13	870×1,800	2	—
14	2,270× 890	1	—
15	620×1,100	3	—
16	420×1,100	2	—
17	470×1,100	1	—
18	620×1,000	3	排煙窓付
19	920×1,200	2	排煙窓付
20	920×1,200	6	—
21	600×1,500	2	—
AG_ 1	1,520× 600	1	—
2	1,050×1,050	1	—
3	600× 700	2	—
GB_ 1	4,950×1,840	1	—
2	6,458×2,000	1	曲面 (r=9,000)
3	3,720×1,840	1	曲面 (r=1,900)
SS_ 1	4,240×3,270	1	—
SD_ 1	1,600×2,000	1	特定防火設備
2	1,200×2,000	1	特定防火設備
3	800×2,000	1	特定防火設備
4	1,200×2,000	1	—



番号	形式・種類	数量	1	嵌殺窓欄間・嵌殺窓両袖付き 自動引分戸	1														
符号	建具寸法	—	AJD	4,320×2,690	—														
A : アルミ製 S : スチール製 LS : 軽量スチール製 Su : ステンレス製 W : 木製 W : 窓 D : 戸 G : ガラリ S : シャッター F : 三方枠 JD : 自動 外観姿図 SG : 透明ガラス FG : 型板ガラス TG : 強化ガラス PG : ペアガラス PSG : 磨きガラス ALP : アルミパネル PWG : 磨き網入ガラス FWG : 網入型板ガラス HG : 熱線吸収ガラス HWG : 熱線吸収線入ガラス CHG : 熱線反射ガラス																			
ガラス（厚み）		その他		HG 5／HG 5		タッチ式・エンジンドア													
特記事項①		特記事項②		—		—													
1	外倒排煙窓付き 両開框戸	1	2	嵌殺窓欄間付き 両開親子戸	2	3	引違窓欄間付き 引違戸	1	4	引違窓欄間付き 両開框戸	1	5	引違窓欄間付き 引違戸	1	6	引違窓欄間付き 引違戸	1		
AD	1,620×2,690	—	AD	1,320×2,690	—	AD	1,820×2,690	—	AD	1,720×2,690	—	AD	2,170×2,690	—	AD	1,720×2,690	—		
PWG 6.8／PWG 6.8		—		PWG 6.8／PWG 6.8		—		PWG 6.8／PWG 6.8		水切		PWG 6.8／FL 5		水切		PWG 6.8／FL 5		水切	
排煙オペレーター		—		—		—		—		—		—		—		—		—	
7	引違窓欄間付き 引違戸	1	8	引違窓欄間付き 4枚引違戸	2	9	引違窓欄間付き 2連引違戸	1	10	引違窓欄間付き 2連引違戸	1	11	引違窓欄間付き 2連引違戸	1	12	引違窓欄間・嵌殺窓両袖付き 引違戸	2		
AD	1,720×2,690	—	AD	3,320×2,690	—	AD	3,620×2,690	—	AD	3,620×2,690	—	AD	3,670×2,690	—	AD	5,020×2,690	—		
PWG 6.8／FL 5		水切		PWG 6.8／FL 5		水切		PWG 6.8／FL 5		水切		PWG 6.8／FL 5		水切		PWG 6.8／FL 5		水切	
排煙オペレーター		—		—		排煙オペレーター		—		—		—		—		排煙オペレーター		—	
13	嵌殺窓欄間・嵌殺窓両袖付き 引違戸	2	14	外倒窓欄間・嵌殺窓付き 片引戸	1	15	引違窓付き 引違戸	1											
AD	3,720×2,690	—	AD	4,520×2,690	—	AD	3,970×2,720	—											
PWG 6.8／FL 5		水切		PWG 6.8／FL 5		水切		FL 5		換気ガラリ、水切									
—		—		排煙オペレーター		—		—		—									
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園			設計者			法適合確認欄			検 証 者			工事名			縮尺				
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671												令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事			S=1/100				
												図 名			図面サイズ				
												建具リスト表（1）			A3版(100%)				
															日付				
															令和 年 月 日				
															図面番号				
															A-17				

番号	形式・種類	数量	1	2連引連戸	2	2	2連引連戸	3	3	引連窓	1	4	引連窓	1	5	2連引連窓	2						
符号	建具寸法	—	AW	3,320×1,800	—	AW	3,670×1,800	—	AW	1,670×1,800	—	AW	1,820×1,800	—	AW	3,320×1,090	—						
A : アルミ製 S : スチール製 LS : 軽量スチール製 Su : ステンレス製 W : 木製 W : 窓 D : 戸 G : ガラリ S : シャッター F : 三方枠 JD : 自動 外観姿図 SG : 透明ガラス FG : 型板ガラス TG : 強化ガラス PG : ペアガラス PSG : 磨きガラス ALP : アルミパネル PWG : 磨き網入ガラス FWG : 網入型板ガラス HG : 熱線吸収ガラス HWG : 熱線吸収線入ガラス CHG : 熱線反射ガラス																							
			F L 5			水切			F L 5			水切			F L 5			水切					
ガラス（厚み）			その他			F L 5			水切			F L 5			水切			F L 5			水切		
特記事項①			特記事項②			—			—			—			—			排煙オペレーター			—		
6	2連引連窓	4	7	嵌殺窓付 片引窓	2	8	嵌殺窓付 片引窓	3	9	嵌殺窓付 片引窓	1	10	嵌殺窓付 片引窓	1	11	嵌殺窓付 片開窓	1						
AW	3,320×1,090	—	AW	4,720×1,800	—	AW	4,220×1,800	—	AW	3,570×1,800	—	AW	3,320×1,800	—	AW	2,920×1,800	—						
																							
F L 5			水切			F L 5			水切			F L 5			水切			F L 5			水切		
—			—			—			—			—			—			L型窓			—		
12	嵌殺窓付 片開窓	1	13	縦軸回転窓	2	14	3連横込出窓	1	15	縦込出窓	3	16	縦込出窓	2	17	縦込出窓	1						
AW	5,020×1,800	—	AW	870×1,800	—	AW	2,270×890	—	AW	620×1,100	—	AW	420×1,100	—	AW	470×1,100	—						
																							
HG 5			F L 5			F 4			F 4			F 4			F 4			F 4			水切		
r=10,000			—			—			—			—			—			—			—		
18	突出し窓	3	19	横軸回転窓	2	20	嵌殺窓	6	21	ガラリ欄間付 込出窓	2												
AW	600×1,000	—	AW	920×1,200	—	AW	920×1,200	—	AW	600×1,500	—												
																							
PWG 6.8			PWG 6.8			PWG 6.8			FWG 6.8														
3連排煙オペレーター			排煙オペレーター			—			—														
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園				設計者				法適合確認欄		検 証 者		工事名 令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事						縮尺 S=1/100		図面サイズ A3版(100%)			
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671												図 名 建具リスト表（2）						日付 令和 年 月 日		図面番号 A-18			

番号		形式・種類		数量		1		2		1		3		2																																			
符号		建具寸法		—		AG		1,520×600		—		AG		1,050×1,050		—																																	
A：アルミ製 S：スチール製 LS：軽量スチール製 Su：ステンレス製 W：木製 W：窓 D：戸 G：ガラリ S：シャッター F：三方枠 JD：自動 外観姿図 SG：透明ガラス FG：型板ガラス TG：強化ガラス PG：ペアガラス PSG：磨きガラス ALP：アルミパネル PWG：磨き網入ガラス FWG：網入型板ガラス HG：熱線吸収ガラス HWG：熱線吸収線入ガラス CHG：熱線反射ガラス 																																																	
ガラス（厚み）		その他		—		水切		—		水切		—		水切																																			
特記事項①		特記事項②		—		—		—		—		—		—																																			
1	嵌殺窓（ガラスブロック）			1	2	嵌殺窓（ガラスブロック）			1	3	嵌殺窓（ガラスブロック）			1																																			
GB	4,950×1,800			—	GB	6,460×1,950			—	GB	3,720×1,800			—																																			
																																																	
150×150×95		水切		150×150×95（r=9,000）		水切		—		—		150×150×95（r=1,900）		水切																																			
—		—		—		—		—		—		—		—																																			
1	シャッター（電動）			1																																													
SS	4,240×3,270			—																																													
																																																	
スラット（t=1.0mm）		シャッターケース付																																															
—		—																																															
1	両開戸			1	2	親子戸			1	3	片開戸			1	4	親子戸			1																														
SD	1,600×2,000			—	SD	1,200×2,000			—	SD	800×2,000			—	SD	1,200×2,000			—																														
																																																	
—		特定防火設備		—		特定防火設備		—		特定防火設備		FWG6.8		—																																			
—		—		—		—		—		—		—		—																																			
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園					設計者					法適合確認欄					検 証 者					工事名					令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事					縮尺					S=1/100					図面サイズ					A3版(100%)				
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671																				図 名					建具リスト表（3）					日付					令和 年 月 日					図面番号					A-19				

改修工事概要

施設概要

I. 建物概要

名称 北播磨こども発達支援センター事務組合 わかあゆ園
場所 兵庫県加東市下滝野1283番地1
構造 鉄筋コンクリート造、地上1階、地下1階
用途 児童福祉施設
規模 建築面積 1,184.48㎡
延床面積 1,342.50㎡

確認 確認済証：第滝野A8号、平成6年7月21日
検査済証：第 78 号、平成7年5月19日

工事概要

I. 工事概要

本改修工事の改修内容とする。
1. 外壁等改修工事

II. 改修範囲

工事範囲は施設外部面とし、詳細内容は別図とする。

III. 改修内容

1. 外壁等改修工事（建築改修工事）
- a. 環境配慮工事
工事内容 ・改修工事における外装材劣化部の除去
・その他関連する内容
- b. 外壁改修工事
工事内容 ・外壁（タイル・塗装）面の改修
・軒裏等の塗装
・見掛け鉄部の塗装
・その他関連する内容
- c. 屋根改修工事
工事内容 ・軒樋の勾配修正
・屋根面の塗装
・その他関連する内容
- d. 屋上防水改修工事
工事内容 ・屋上面の防水改修
・その他関連する内容
- e. その他関連工事
・ポーチ改修工事
・テラス改修工事
・排煙窓改修工事

IV. 工事竣工時

工事範囲及び施設周辺は竣工時には清掃を行うこと。

V. 施工等調査

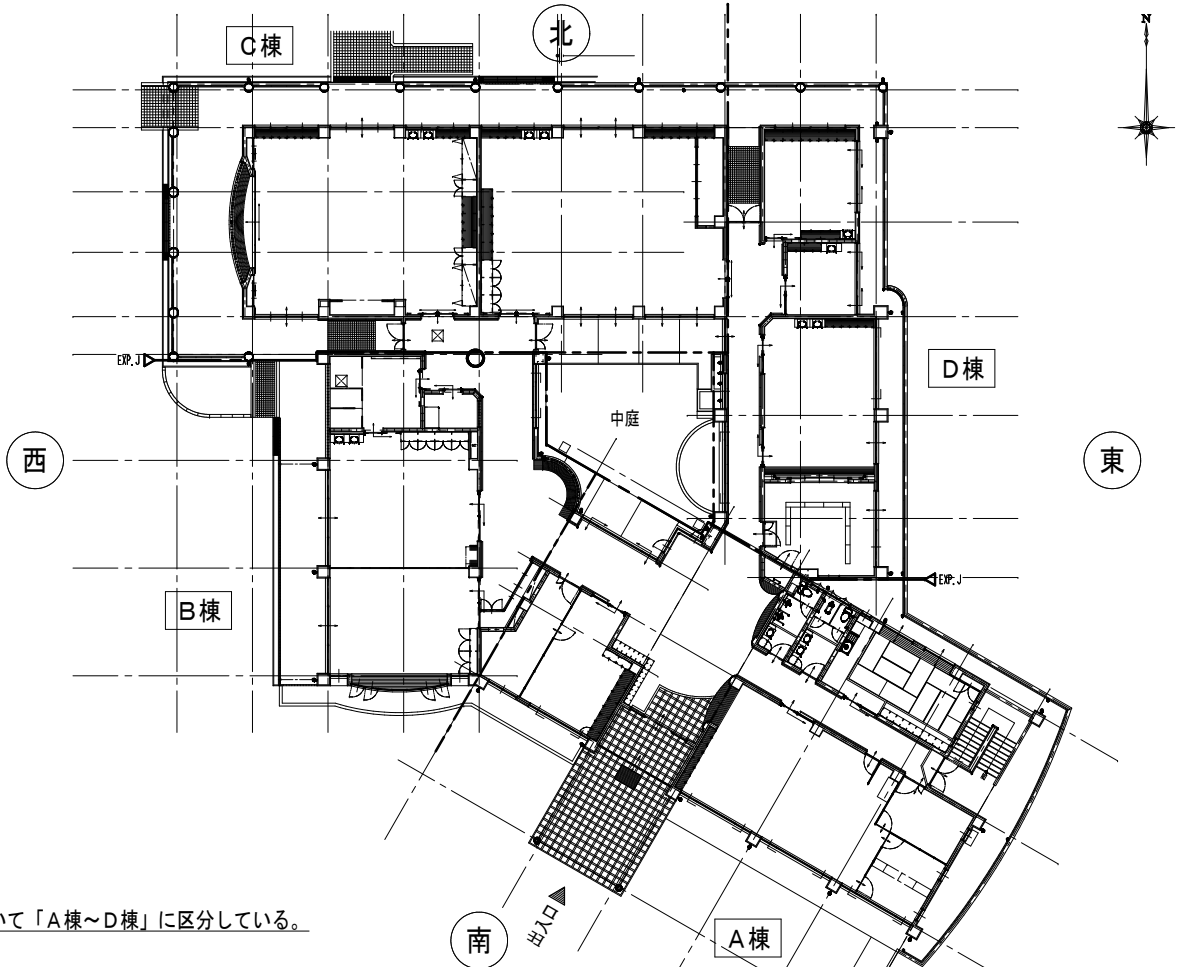
本改修工事の着手前には下記の調査等を行うこと。

1. 大気汚染防止法に基づく「事前調査」
右記、「IV. 石綿含有建材」に記載
2. 外壁等打診調査
ア. 施工調査
設計段階で外壁等の打診調査を行っておりますが、仮設足場設置後、施工者側で再度調査を行なうこと。
- イ. 施工報告
調査結果を監督員・工事監理者等に書面（調査図面・調査数量表・調査写真等）にて提出すること。
- ウ. 結果報告
結果数量において、設計数量と大幅に相違があるときは、監督員・工事監理者等に報告し、対応を協議すること。
3. その他等
下記の調査を実施する場合は、施設管理者・監督員・工事監理者等の立会のもと行うこと。
ア. エアコン作動確認
本改修工事において、移動・移設等生じる場合は、作動確認をしておくこと。
- イ. 施設周辺の物品
本改修工事において、物品等を移動・移設等を要する場合は、施設管理者に依頼するか、同意を得て移動・移設をすること。
4. その他の確認
本改修工事着手前には、本施設等の状態を把握し確認しておくこと。

VI. 石綿含有建材

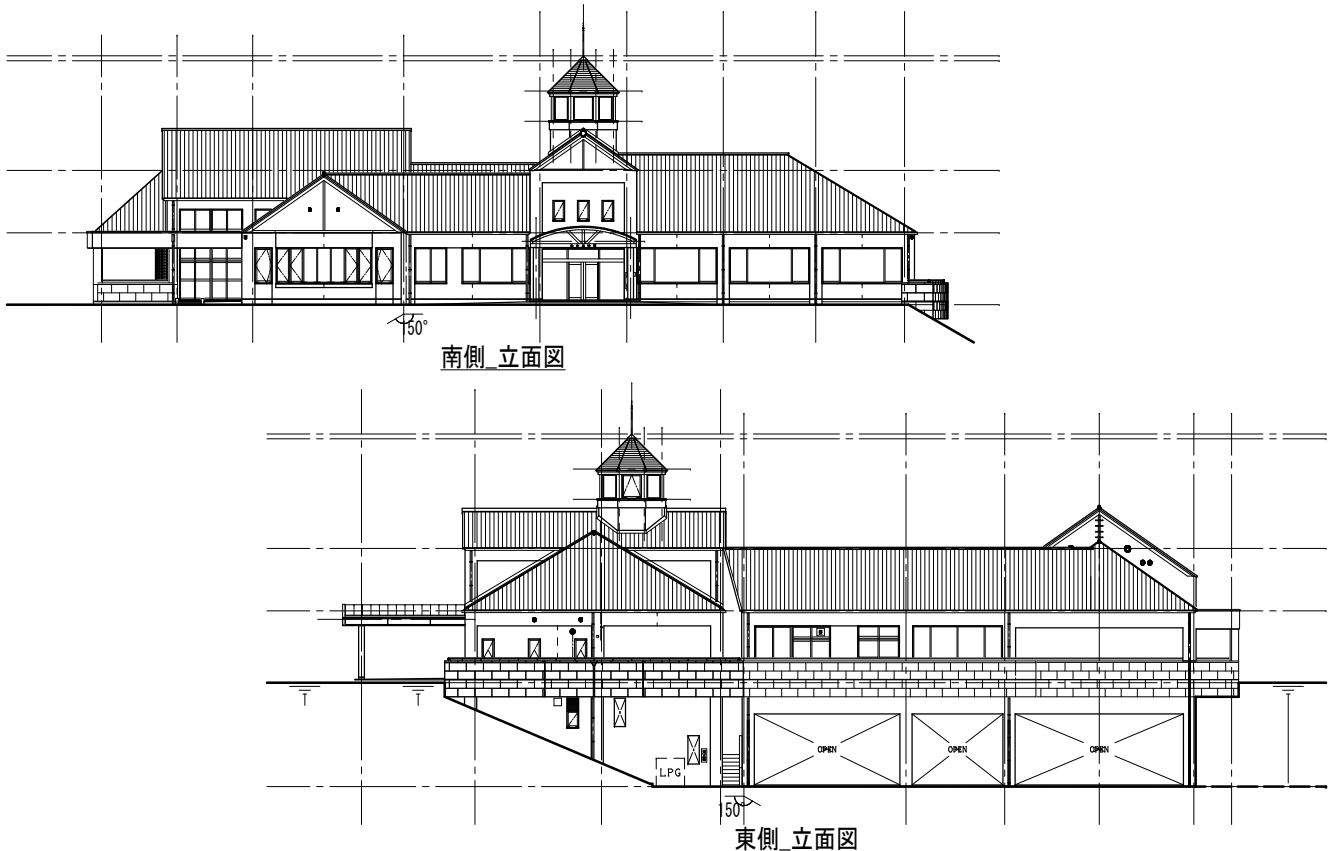
1. 事前調査
設計時前において石綿含有調査を行っており、その結果を本設計図書に反映している。
（対象部位） （調査結果）
・外壁タイル面（下地共）・・・・・・含有なし
・外壁塗装面（下地共）・・・・・・含有あり
・軒天塗装面（下地共）・・・・・・含有あり
・基礎巾木・・・・・・含有なし
2. 大気汚染防止法に基づく「事前調査」
上記に示す調査は、大気汚染防止法に基づく「事前調査」ではない為、施工業者にて「事前調査」を行い担当課へ報告すること。
対象部位：本工事で改修を行う部位とする。
（参考対象部位）
・外壁：タイル面、塗装面
・軒天：塗装面、ボード面
・その他工事に関連する部位
3. 調査結果
監督員・工事監理者に報告し、下記の通り改修工事を行う。
a. 設計調査と同じ結果となった場合
・本設計の通り改修工事を行う。
b. 設計調査と相違する結果となった場合
・石綿除去等に関し対応を協議すること。
c. 石綿が含有されていない場合、
・石綿関係については本設計を問わず改修工事を行う。

施設_平面図



特記事項
・本工事（図面）において「A棟～D棟」に区分している。

施設_立面図



仮設計画

★外部足場について

1. 外部足場（くさび緊結式足場：手摺先行方式）
- ・ 建地幅は基本900mmとし、高さ10m以下、安全手摺、筋違、巾木、振止、壁繋ぎアンカー、昇降階段（要所）等とする。

但し、架け状況に応じ建地幅は1200mm又は600mmも使用可能とする。

・ 上記足場が対応不可部位についてな単管足場等で対応すること。

・ 足場外周部の下部及び上部は養生シート（メッシュシート）張りとする。

・ 各玄関・通入口等は通行可能なように計画する。

・ 避難経路にあたる出入口部は万が一を考慮し避難可能なように計画すること。

・ 工事の進行状況等によっては施設管理者と協議し仮設計画を変更し再検討を行うこと。

・ 一般来館者の利用があるため通行の妨げにならないよう計画をすること。
2. 足場設置
- ・ 外部足場の掛け払いは、外装改修工事（環境配慮・外壁改修・屋根改修・屋上防水改修）等の兼用で1回とする。

・ 環境配慮工事の場合、湿潤清掃等を行うこと。
3. 床養生
- ・ 施工状況を考慮の上、下記部位には床養生（合板またはブルーシート等）を行うこと。

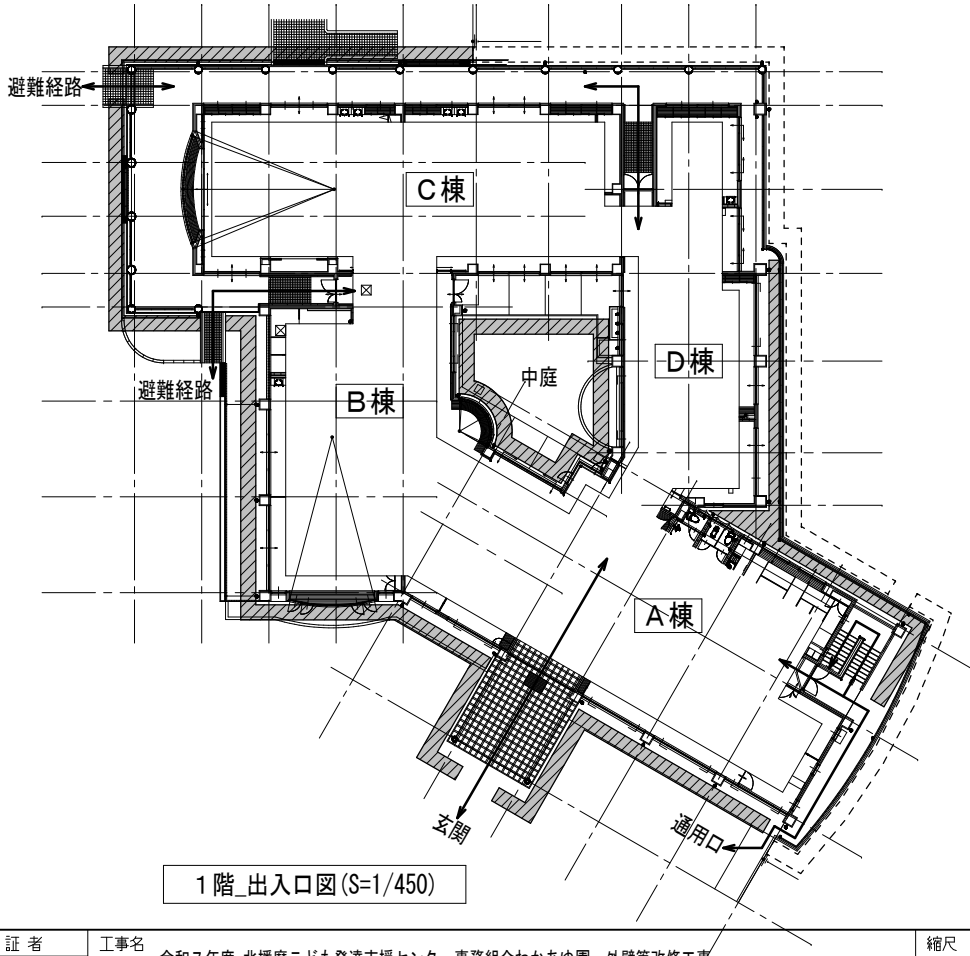
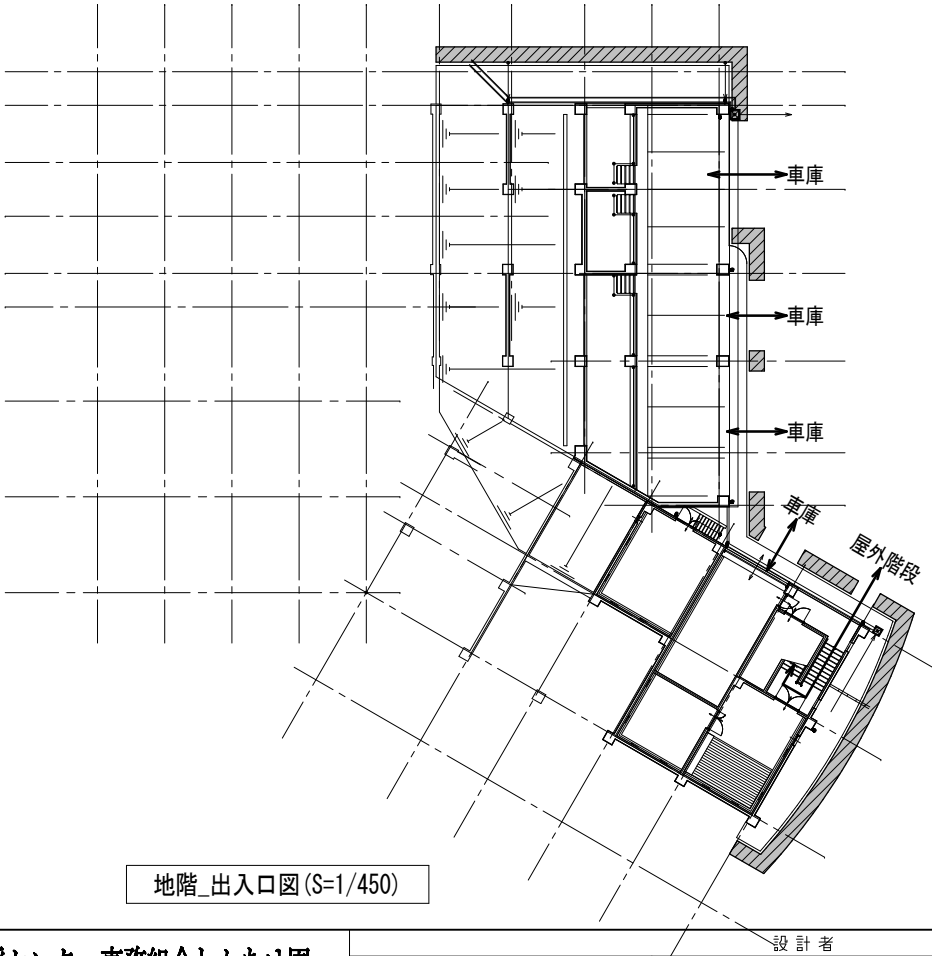
外部足場下部 施工状況により必要と判断される部位

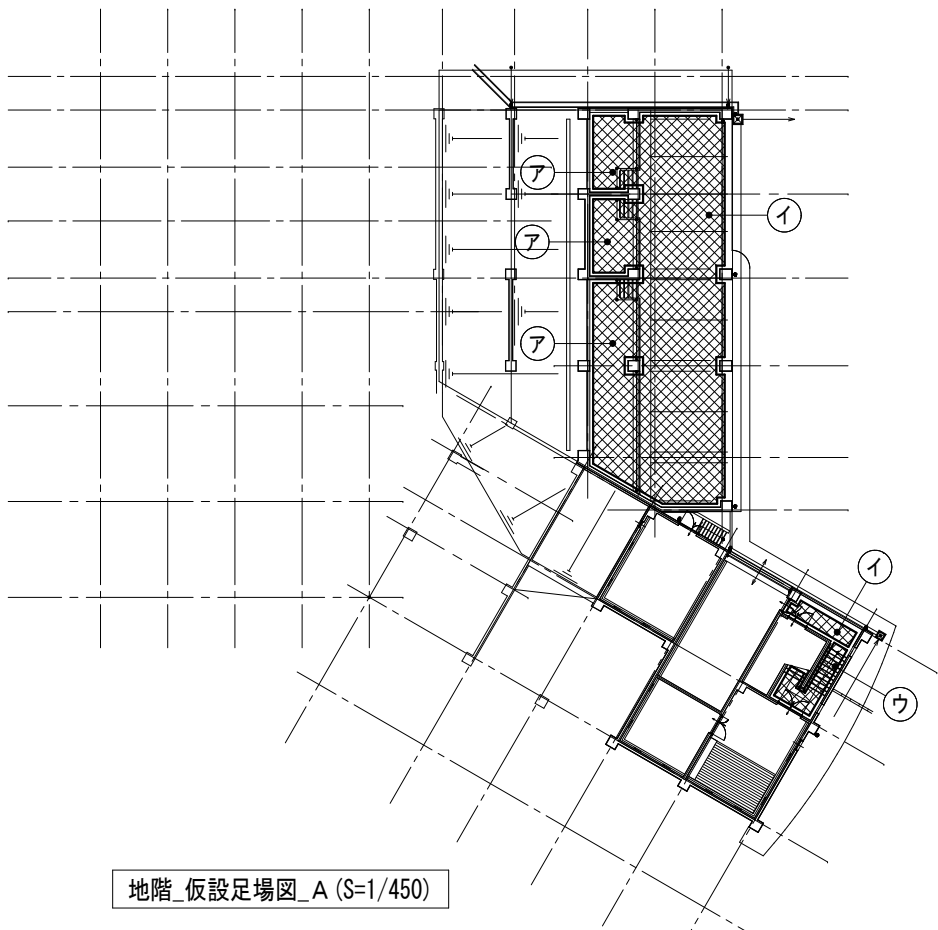
その他部 施工状況により必要と判断される部位
4. 特記事項
- ・ 設計上の仮設計画であり、工事に当たっては現地状況を熟知し、施設利用状況及び周辺に配慮した計画とし、施設管理者と十分調整し仮設計画を立てること。

・ 上記仮設計画を作成した場合、工事監督員及び工事監理者の承諾を受ける事。

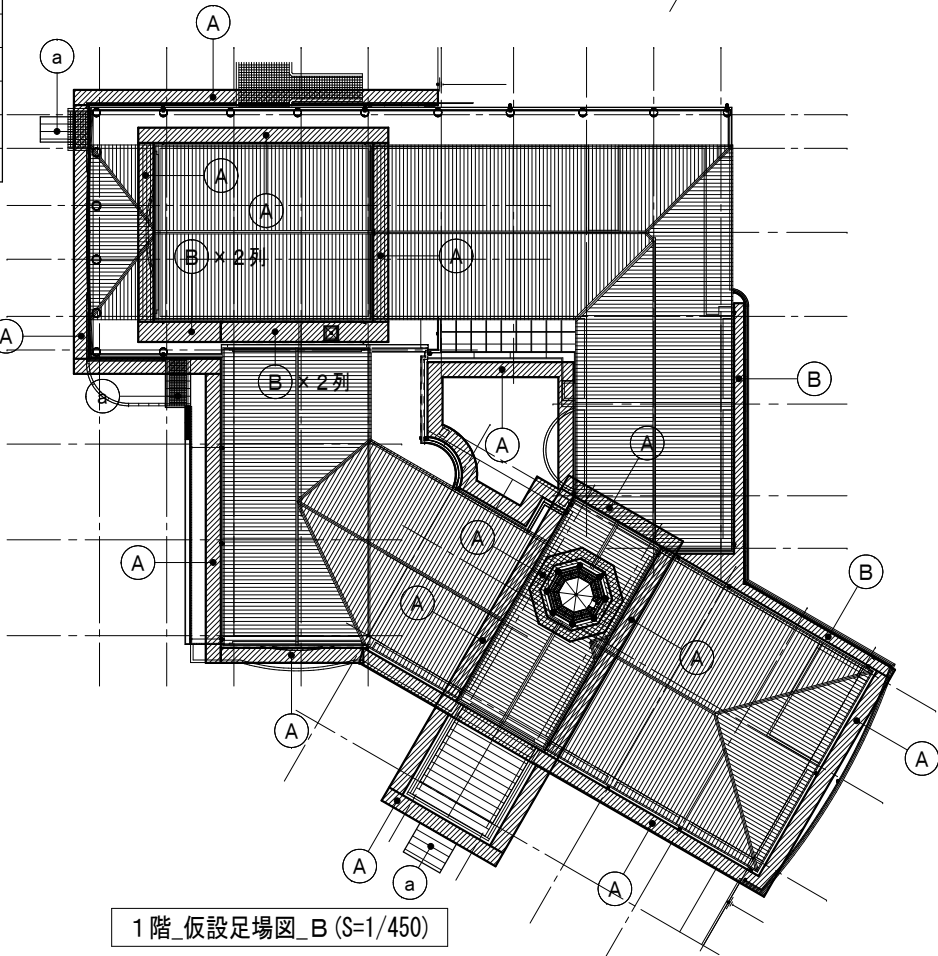
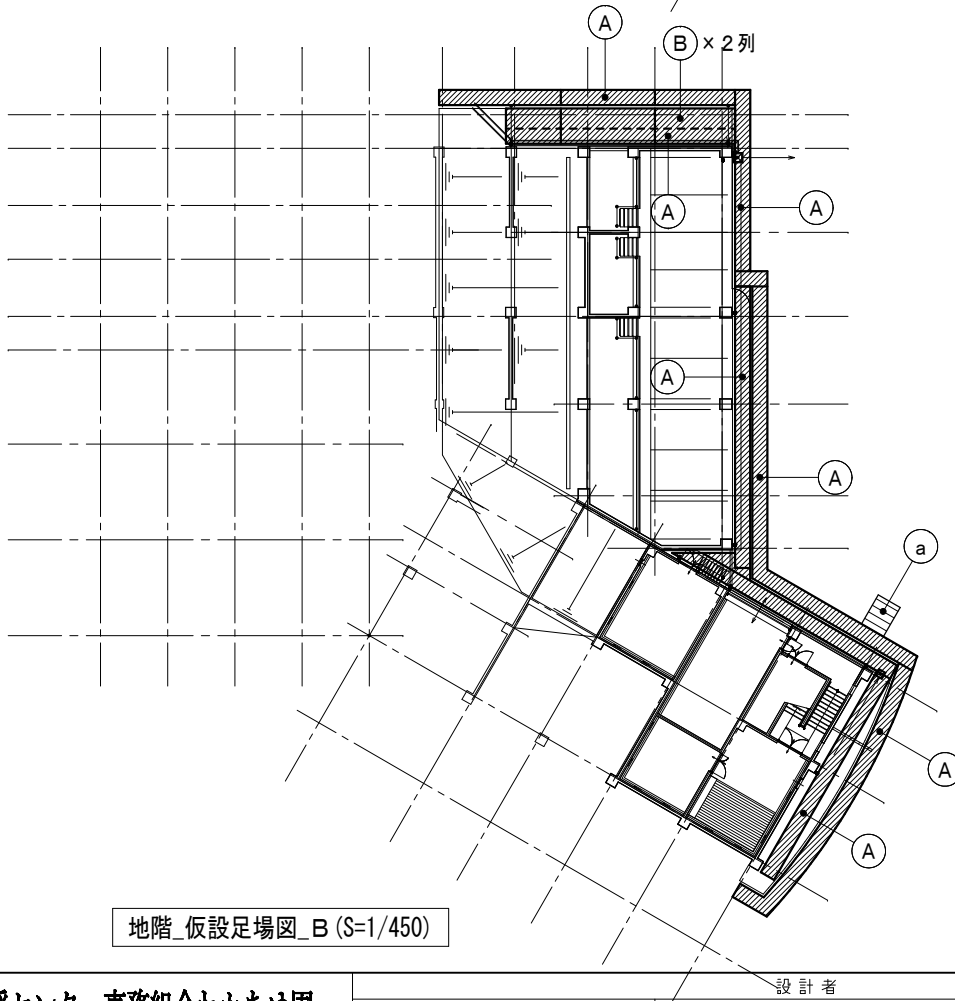
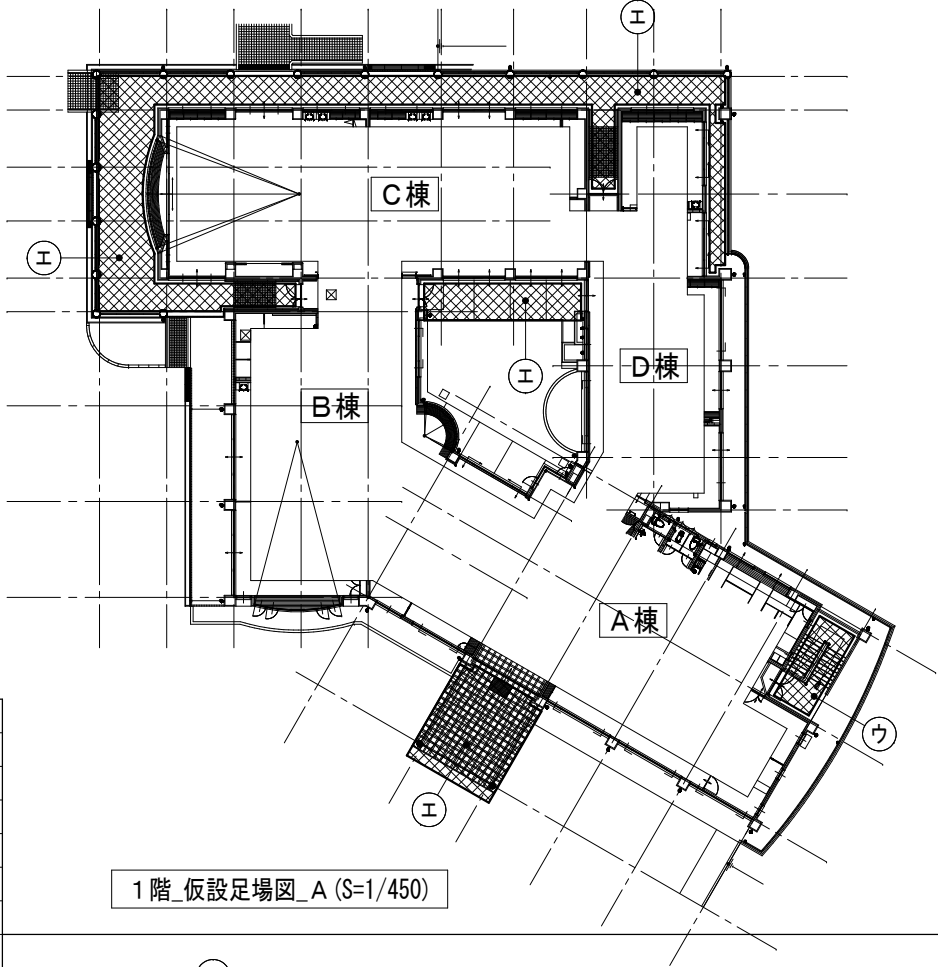
5. 図中の凡例

〈記号〉	〈種類〉	〈建地幅〉	〈高さ〉	〈延長〉	〈面積〉	〈特記〉
・ 	: A くさび緊結式足場	900mm	10.00m未満	—	1,793 m ²	—
	: B くさび緊結式足場	600mm	10.00m未満	—	309 m ²	—
・ 	: a くさび緊結用朝顔	—	—	7.0 m	—	2.00m以上
・ 	: ア 単管棚足場	—	1.00m以下	—	66.4 m ²	—
	イ 単管棚足場	—	2.00m以下	—	126 m ²	—
	ウ 階段棚足場	—	—	—	29.4 m ²	—
	エ 脚立足場	—	—	—	137 m ²	—





仮設足場_凡例一覧表			
図示	記号	種 類	特記事項
	A	くさび緊結式足場	900mm
	B	くさび緊結式足場	600mm
	a	くさび緊結用朝顔	
	ア	単管棚足場	1.00m以下
	イ	単管棚足場	2.00m以下
	ウ	階段棚足場	
	エ	脚立足場	



★外壁改修概要

外壁（タイル面・塗装面）及び見掛鉄部の塗装等の改修工事とする。

1. 含有建材除去（外装劣化部など）
湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法（ウォータークリーンSG工法）
2. 下地補修工事

タイル面劣化部改修工法の補修参考例

名 称	特記事項
割れ欠け (TK-※)	張替工法
陶片浮き (TF-※)	張替工法
下地浮き (TU-※)	エポキシ樹脂注入工法

塗装面劣化部改修工法の補修参考例

名 称		特記事項
ひび割れ	0.2mm未満 (PKs-※)	シーリング工法
	0.2～1.0mm (PKm-※)	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
	1.0mm超え (PKl-※)	Uカットシーリング材充填工法
塗膜浮き (PF-※)		劣化部撤去の上、下地調整
爆裂・欠損	欠損部 (PM-※)	エポキシ樹脂モルタル充填工法
	露筋部 (PM-※)	防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル充填工法
塗膜剥離	(PP-※)	下地調整
モルタル浮き	(PU-※)	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

3. 外壁防水改修リスト

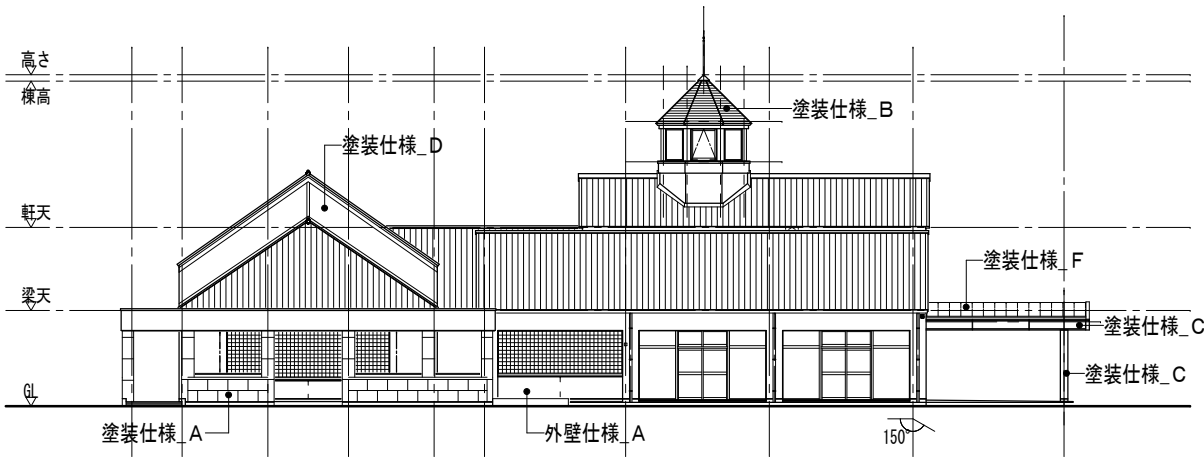
- ・外壁仕様_A : 外壁タイル（2丁・50角）面・ガラスブロック面
- ・外壁仕様_B : —

4. 防水改修リスト

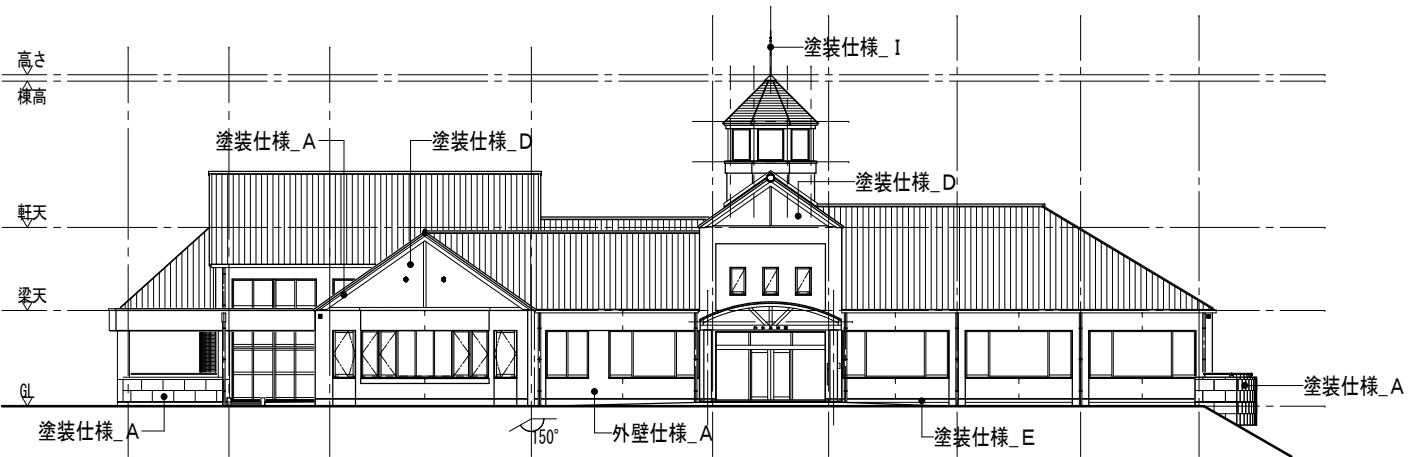
- ・塗膜仕様_A : 平場（屋上_B・D・E・G）
- ・塗膜仕様_B : 立上（屋上_B・D・E・G）
- ・ : 全面（屋上_A・C）
- ・塗膜仕様_C : —
- ・塗膜仕様_D : —
- ・塗膜仕様_E : 全面（屋上_F）

5. 塗装改修リスト

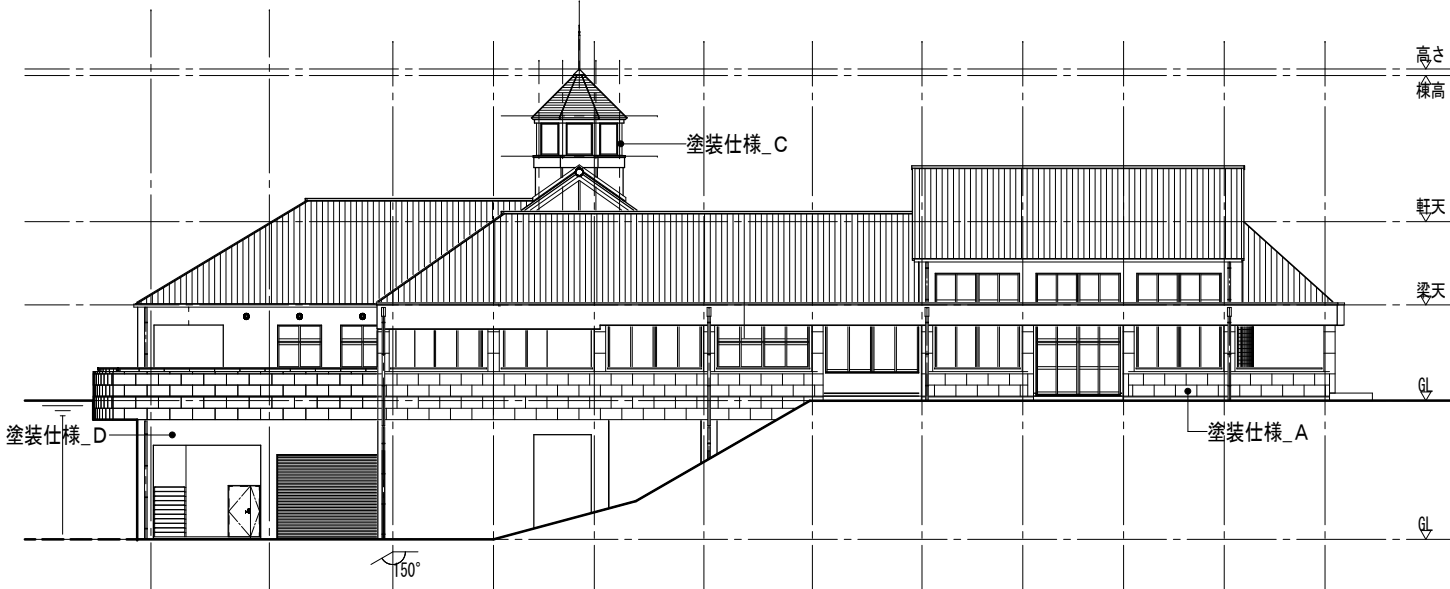
- ・塗装仕様_A : 回廊腰壁（内外共）、屋根妻面幕板
- ・塗装仕様_B : 塔屋（屋根⑨）
- ・塗装仕様_C : 外壁附属物、ポーチ（柱・幕板）、鋼製建具、
- ・塗装仕様_D : 屋根妻面、屋外階段壁面、地階外壁面
- ・塗装仕様_E : 基礎巾木
- ・塗装仕様_F : ポーチ屋根
- ・塗装仕様_G : 回廊天井面（梁型共）
- ・塗装仕様_H : 天井ボード面
- ・塗装仕様_I : 避雷針



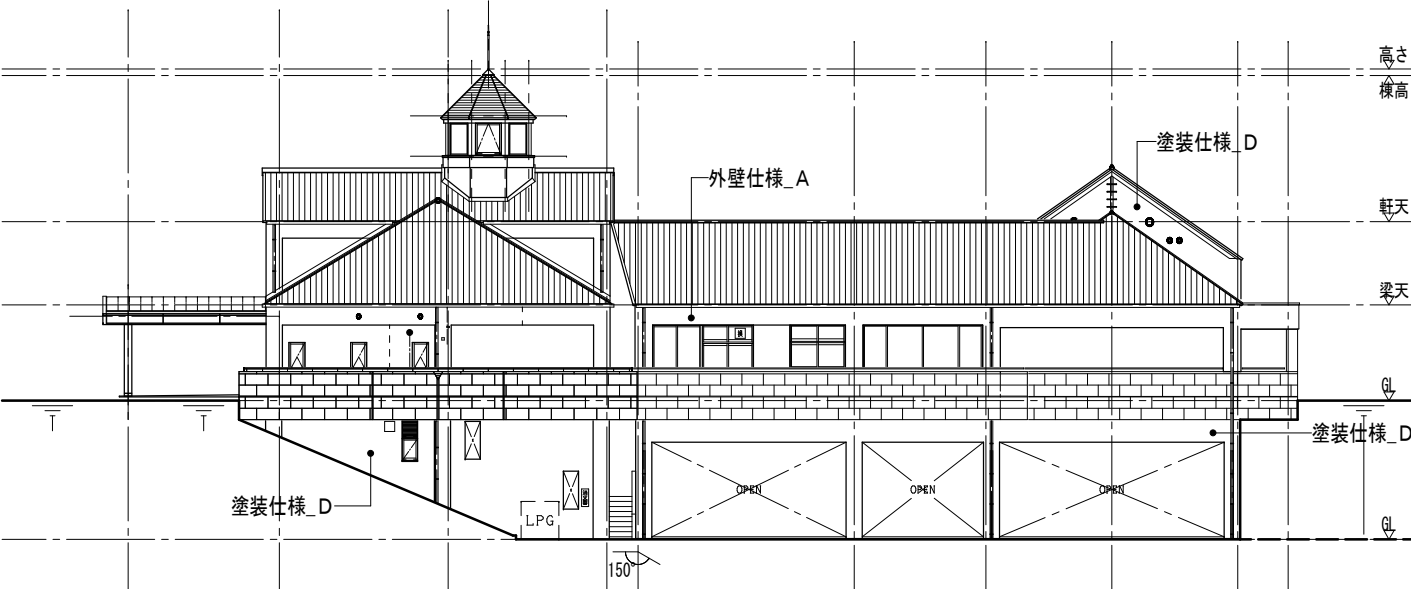
西側_建物立面図



南側_建物立面図



北側_建物立面図



東側_建物立面図

外装等改修工事の工法及び仕様

1. 打診調査
打診調査・調査図は別図参照のこと。
2. 外装材劣化部の除去
① 外壁タイル面
外壁タイル面における割れ・欠け等は撤去すること。
② 外壁塗装面
外装材及び下地調整材に石綿含有の恐れがあるため、クラック等の劣化部の除去は、下地補修に先立ち「湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法」等で除去作業を行うこと。 設計時での参考工法は「ウォータークリーニングSG工法」とし、別図の「石綿含有建材除去工事_特記仕様書」を参照すること。 工法等の変更は可能であるが、この場合、市監督員・工事監理者等の承諾を得ること。
3. 下地補修工法
塗装面における下地補修は下記に挙げる工法とする。
・クラック（0.2mm未満） シール工法
・クラック（0.2～1.0mm未満） 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
・クラック（1.0mm以上） Uカットシール材充填工法
・塗膜浮き 劣化部撤去の上、下地調整
・爆裂・欠損 欠損部 エポキシ樹脂モルタル充填工法
〃 露筋部 防錆処理の上、エポキシ樹脂モルタル充填工法
・モルタル浮き ー アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法（16穴/㎡）
※別図の「外壁下地補修要領参考図」参照のこと。 ※工法変更する場合は監督員及び監理者と協議の上決定すること。
4. 外壁改修
施設外壁の全面改修（詳細は別図参照のこと。）
・クラック等の劣化部の下地補修（上記参照のこと）
・外壁タイル面は既設類似タイル貼
・外壁、軒裏、上裏、基礎巾木などの仕上塗装
・屋外階段の外壁、内壁、上裏、階段巾木などの仕上塗装
・見掛け鉄部などの仕上塗装
5. 屋根改修
施設屋根の部分改修（詳細は別図参照のこと。）
・塔屋の屋根塗装
・中庭部の軒樋改修
・洋風S型瓦葺きの状況確認
6. 屋上防水改修
施設屋上の全面改修（詳細は別図参照のこと。）
・クラック等の劣化部の下地補修（上記参照のこと）
・平場はウレタン系塗膜防水（通気緩衝工法）
・パラペット立上等はウレタン系塗膜防水（密着補強布工法）
・見掛け鉄部などの仕上塗装
7. 見掛け鉄部などの仕上塗装
施設の屋上・外壁、屋外階段などの見え掛け鉄部などは下地処理の上、仕上塗装とする。
・施 設：屋上面 天窓類
：外壁面 スチール製建具類

8. 参考品番等について
当図面以降、参考品番・参考メーカーとして表記しているが、業者・製品・商品を指定しているものではない為、仕様材料が決定次第速やかに施工計画書・材料承諾願等の提出により、市監督員・工事監理者等の承諾を得ること。
9. 外壁塗膜防水仕様
外壁塗膜防水の仕様については下記を標準とする。
以下、参考品番は「アロンコート」東亜合成株式会社とする。
符号 一般名称 特記事項
・外壁仕様_A アロンクリアウォール工法 ローラー塗布工法
・外壁仕様_B アロンウォールST工法 吹付工法
10. 塗膜防水仕様
塗膜防水の仕様については下記を標準とする。
以下、参考品番は「アクシスコートDX」アーキヤマデ株式会社とする。
又、工法は通気緩衝工法（X－1<L4X工法））、密着補強布工法（X－2<L4X工法））とする。
符号 一般名称 特記事項
・塗膜仕様_A ウレタン系塗膜防水（t=3.0mm） 通気緩衝工法（自着シート仕様） （防水会社仕様に準じる）
・塗膜仕様_B ウレタン系塗膜防水（t=2.0mm） 密着補強布工法 （防水会社仕様に準じる）
・塗膜仕様_C ウレタン系塗膜防水（t=2.0mm） 塩ビシート複合工法 （防水会社仕様に準じる）
・塗膜仕様_D ウレタン系塗膜防水（t=3.0mm） 密着工法（防滑仕様） （防水会社仕様に準じる）
・塗膜仕様_E ウレタン系塗膜防水（t=3.0mm） 密着工法 （防水会社仕様に準じる）
11. シーリング仕様
工事範囲にあるシーリングはすべて打ち替えとする。
シーリング再充填工法とし、特記なき限り仕様は下記とする。
部位 名称 参考寸法 特記
・伸縮目地 変性シリコン系 MS－2 20×10 ノンブリード推奨
・打継目地 〃 MS－2 20×10 〃
・建具廻り 変性シリコン系 MS－2 15×10 〃
・取合部分 〃 MS－2 10×10 〃
12. 下地調整仕様
塗膜剥離部の下地調整材は下記仕様とする。
以下、名称等は参考品番（エスケー化研株式会社）とする。
・下地調整_A カチオン系CM－2とカチオン系C－2塗りとする。
参考品番
CM－2 ミラクファンドKC－3000
C－2 ミラクカチオンフィラー

13. 塗装仕様（以下、名称等は参考品番（エスケー化研株式会社）とする。
符号 一般名称 商品名称
・塗装仕様_A
部位：グラニット吹付面（コンクリート）
下地：下地劣化部補修、水洗い
上塗：超低汚染水性自然石調遮熱多彩模様塗料 グラニクイーンクール（吹付）
・塗装仕様_B
部位：塔屋屋根（石綿セメント瓦）
下地：全面目荒、下地劣化処理、洗浄
下塗：弱溶剤エポキシ樹脂下塗材 マイルドシーラーEPO
上塗：屋根用弱溶剤フッ素樹脂塗料 屋根フレッシュF
・塗装仕様_C：耐候性塗料塗り1級（ふっ素樹脂系）
部位：金属面
下地：RB種、清掃
下塗：弱溶剤エポキシ樹脂錆止め SKマイルドボーセイ
上塗：超耐久・超低汚染型弱溶剤ふっ素樹脂塗料 クリーンマイドフッソST
・塗装仕様_D
部位：外壁塗装面（コンクリート）
処理：下地劣化部補修、水洗い
下塗：可とう形改修塗材RE 厚塗り 水性ソフトサーフエポ 厚塗り
上塗：水性ハイブリッドシリコン樹脂塗料 エスケープレミアムシリコン
・塗装仕様_E：巾木用超撥水性シリコン変性樹脂塗料
部位：外壁塗装面（コンクリート）
下地：下地補修（下地補修は別図参照のこと）
下塗：水性カチオンシーラー 水性ミラクシーラーエコ
上塗：撥水性超耐候形特殊シリコン変性樹脂塗料 セラミガードNEO
・塗装仕様_F：
部位：鋼板面
下地：全面目荒し、下地劣化処理、洗浄
下塗：弱溶剤エポキシ樹脂錆止め下塗材 SKマイルドボーセイ
上塗：屋根用弱溶剤フッ素樹脂塗料 屋根フレッシュF
・塗装仕様_G：
部位：外壁塗装面（コンクリート）
下地：下地劣化部補修、水洗い
上塗：軒天用シリコン樹脂仕上塗料 ノキフレッシュセラ
・塗装仕様_H：
部位：ボード面（珪酸カルシウム板）
下地：RB種
下塗：2液弱溶剤エポキシ樹脂シーラー マイルドシーラーEPO
上塗：内外部用 EP サニービルDEX
・塗装仕様_I：
部位：避雷針
下地：下地処理 RB種
下塗：弱溶剤エポキシ樹脂錆止め SKマイルドボーセイ
上塗：高性能アルミニウムペイント SKシルバーフレッシュ

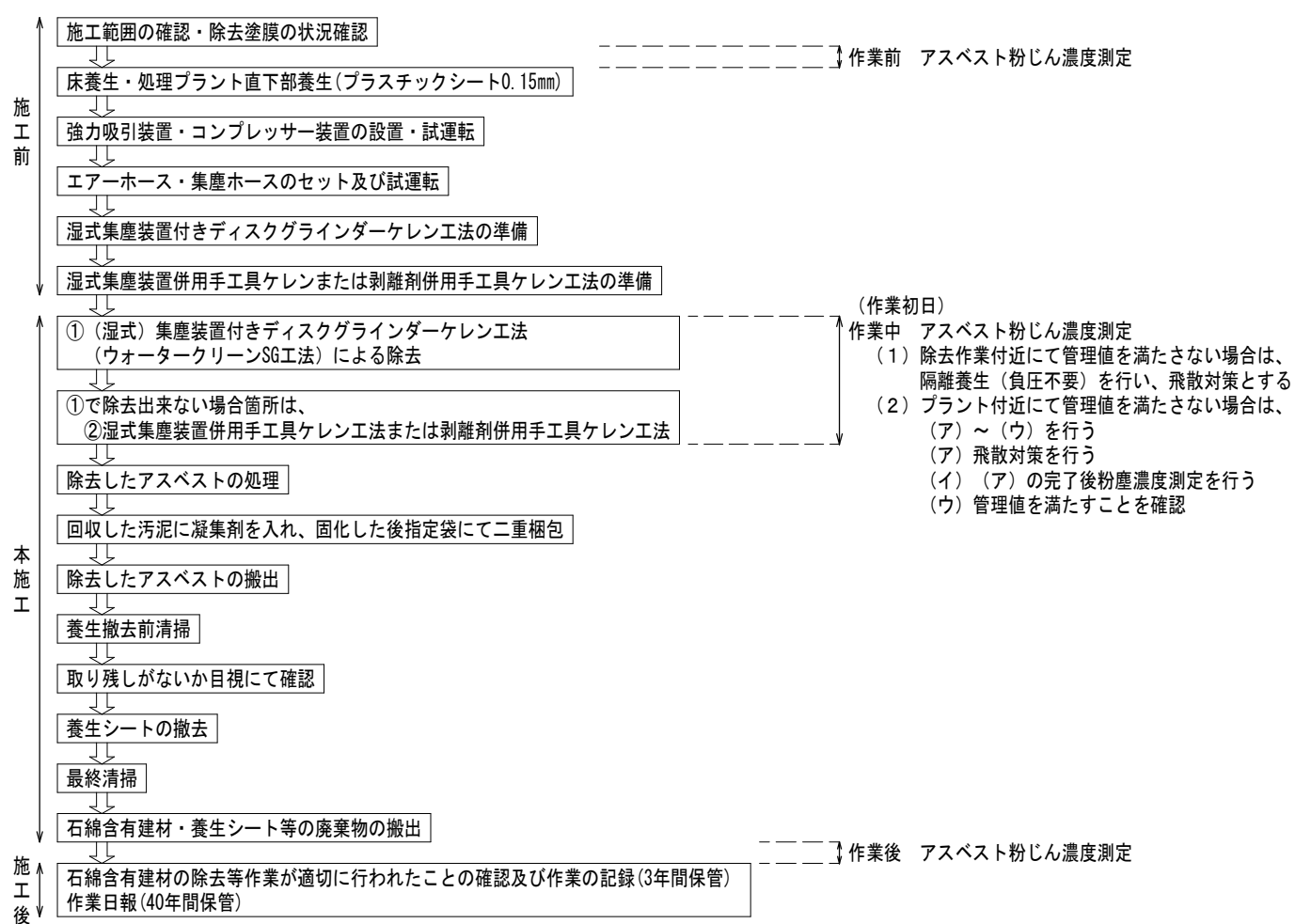
石綿含有建材除去工事_特記仕様書

- 【アスベスト含有仕上塗材・下地調整材除去工事】
- （１）令和３年３月 厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課/環境省水・大気環境局大気環境課「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（以下マニュアル）により、下記工法の併用工法とする。
[一般部] (ア) (湿式) 集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式（ウォータークリーンSG工法）
[狭あい部] (イ) (湿式) 集塵装置併用手工具ケレン工法または剥離剤併用手工具ケレン工法
- （２）石綿除去処理工事に際しては、通常の工事と異なる側面があるため、工事の特殊性を十分確認した上で、専門業者で行うこと。ここでいう専門業者とは、建設技術審査証明（（財）日本建築センター）により確立された、「石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術」を取得している業者のことを指す。
- （３）本施工は以下の項目を遵守して行うこと。

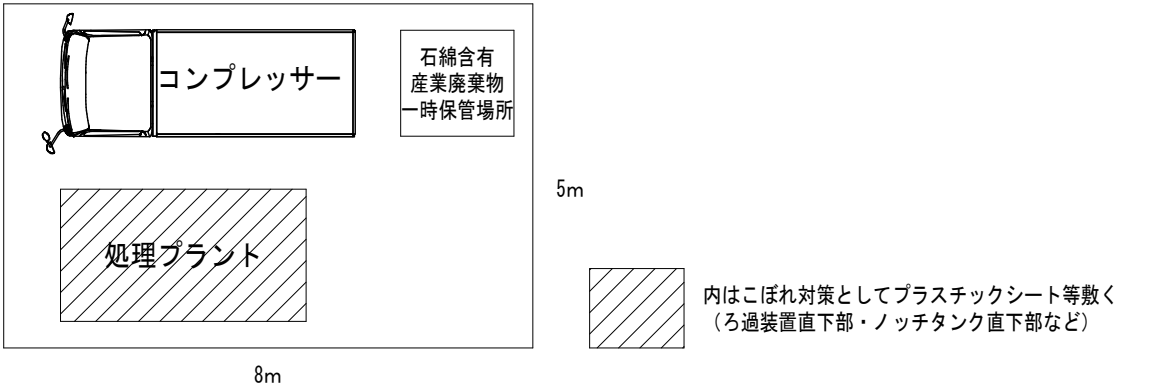
項目	特記仕様	管理方法																					
工事計画	「特定石綿含有建材調査者」の参画を前提とする。																						
吸引機の圧力と風量	吸引圧力/真空圧 風量	-20～-25kPa 3.66m3/分 撮影 臨機に仕様書提出																					
吸引時の排気濾過	HEPAフィルター	撮影																					
水処理（濁水処理内容）	凝集剤を使用し固化	撮影																					
アスベスト粉じん濃度測定	速報値で管理値（10本/L以下）を満たしていることを確認する。 <table><tr><th>測定時期</th><th>測定箇所</th><th>測定時間</th></tr><tr><td rowspan="2">作業前</td><td>敷地境界 4方向各1点</td><td>240分</td></tr><tr><td>除去作業付近 0点 計4点</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="2">作業中</td><td>敷地境界 4方向各1点</td><td>240分</td></tr><tr><td>除去作業付近 1点 計5点</td><td>120分</td></tr><tr><td rowspan="2">作業後</td><td>敷地境界 4方向各1点</td><td>240分</td></tr><tr><td>除去作業付近 0点 計4点</td><td>120分</td></tr><tr><td colspan="3">合計13点</td></tr></table> 第三者機関にて測定		測定時期	測定箇所	測定時間	作業前	敷地境界 4方向各1点	240分	除去作業付近 0点 計4点	120分	作業中	敷地境界 4方向各1点	240分	除去作業付近 1点 計5点	120分	作業後	敷地境界 4方向各1点	240分	除去作業付近 0点 計4点	120分	合計13点		
測定時期	測定箇所	測定時間																					
作業前	敷地境界 4方向各1点	240分																					
	除去作業付近 0点 計4点	120分																					
作業中	敷地境界 4方向各1点	240分																					
	除去作業付近 1点 計5点	120分																					
作業後	敷地境界 4方向各1点	240分																					
	除去作業付近 0点 計4点	120分																					
合計13点																							
廃材処理	(１) HEPAフィルター付き吸引装置を使用した同時吸引式工法により外気に触れることなく密閉状態で安全に集積する。 (２) 集積した濁水・塗膜は凝集剤を使用し固化した後、プラスチック袋（0.15mm以上）で2重梱包する。撮影																						
除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等	(１) 除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、石綿含有産業廃棄物として一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管する。 (２) 一時保管場所はシートで覆うなどの飛散対策を講じ、アスベスト含有材等の保管場所であることを掲示する。 (３) アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。 (４) 運搬車の荷台には覆いをかけるなど飛散防止措置を講じる。 (５) 除去したアスベスト含有材の処分はマニュアル基準にて適正に最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する。撮影																						

- （４）特記仕様に記載された以下の項目は施工完了後報告書として提出すること。
- | 項目 | 特記仕様 | 報告方法 |
|----------------------|--|--|
| 吸引時の圧力と風量 | 吸引圧力/真空圧
風量 | -20～-25kPa
3.66m3/分
写真
臨機に仕様書提出 |
| 吸引時の排気濾過 | HEPAフィルター | 写真 |
| 水処理（濁水処理内容） | 凝集剤を使用し固化 | 写真 |
| アスベスト粉じん濃度測定 | 管理値（10本/L）以下 | 第三者機関の報告書 |
| 廃材処理 | (1) 飛散防止状況
(2) 二重梱包状況 | 写真
写真 |
| 除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等 | (1) 一時保管庫での保管状況
(2) 一時保管庫および看板設置状況
(3) 石綿含有産業廃棄物搬出状況
(4) 石綿含有産業廃棄物シート掛け状況
(5) 石綿含有産業廃棄物最終処分場 | 写真
写真
写真
写真
写真 |
- （５）石綿含有建材の除去等作業が適切に行われたことの確認及び作業の記録
石綿の取り残しがないこと等の確認・記録の手順として、マニュアルの4.15(p.225)に従って行う。
 - 4.15.1 作業が適切に行われたことの確認の流れ
 - 4.15.2 作業の記録、確認及び記録の保存
 - 4.15.3 石綿の取り残しがないこと等の確認方法
 - 4.15.5 発注者への報告

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】



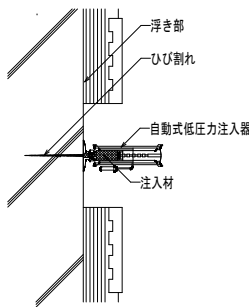
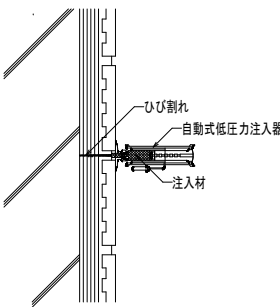
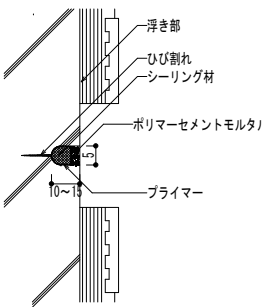
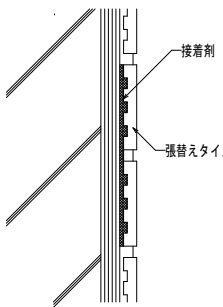
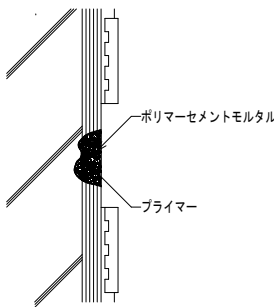
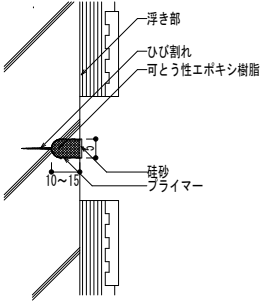
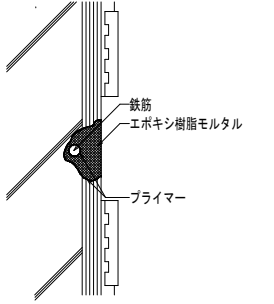
- (１) 機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
- (２) 機材設置位置は縦に１列縦列も可能。



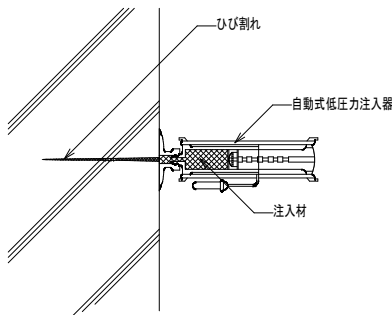
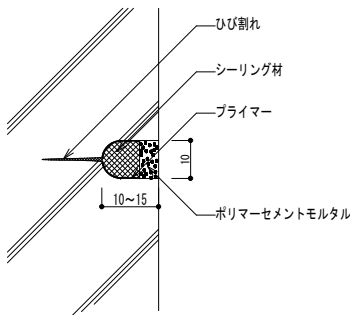
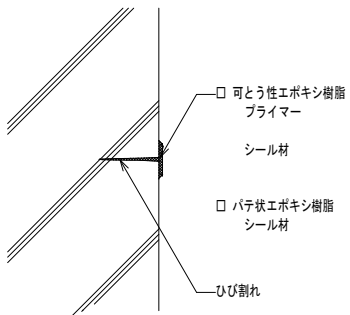
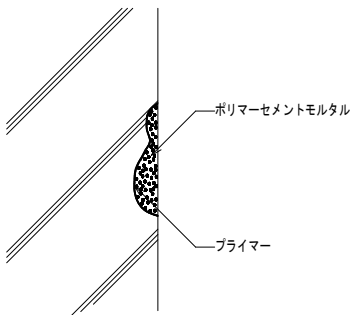
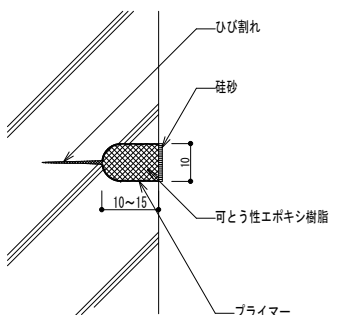
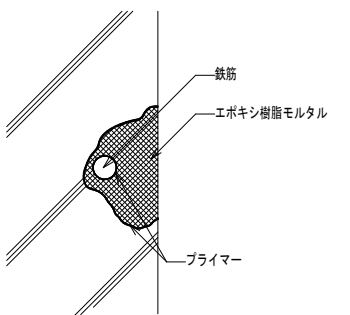
★外壁等改修工事等おける各所仕上材の石綿含有状況一覧表（設計上判断とする。）

エリア	棟別	番号	部位		設計時採用建材		調査対象建材		工事内外	調査	判定	調査要否	棟別（同材判断）				特記事項
													A棟	B棟	C棟	D棟	
外部	A棟	1	本棟-塔屋（上部）	屋根_⑨	化粧石綿セメント瓦	耐火野地板	－	－	内	未	見込	要	－	－	－	－	
		2		外壁（柱・梁型）	フッ素樹脂鋼板	－	－	－	内	－	対象外	－	－	－	－	－	
		3	本棟-塔屋（下部）	屋根_⑧	洋風S型瓦	ルーフマット工法	－	－	外	－	対象外	－	－	○	○	○	
		4		外壁	二丁掛タイル貼	コンクリート打放し			内	未	見限	－	－	－	－	－	（8）と同材料と判断
		5		切妻壁	吹付タイル（メタリック仕上）	コンクリート打放し			内	未	見限	要	－	○	○	－	
		6		切妻破風	グラニット吹付	コンクリート打放し			内	未	見限	要	－	○	○	－	
		7	本棟-1階	屋上_②	塩ビ系シート防水		FRP防水		内	未	見限	要	－	－	－	－	
		8		外壁	二丁掛タイル貼	コンクリート打放し			内	済	含無	－	－	○	○	○	
		9		巾木	モルタル鍍押さえ	コンクリート打放し			内	未	見限	－	－	○	○	○	（14）と同材料と判断
		10	本棟-地階	天井（回廊裏）	アクリルリシン吹付	コンクリート打放し			内	未	見込	－	－	－	－	－	（27）と同材料と判断
		11		外壁	吹付タイル	コンクリート打放し			内	済	含有	－	－	－	－	○	
		12		巾木	吹付タイル	コンクリート打放し			内	未	見込	－	－	－	－	○	（11）と同材料と判断
		13	回廊	腰壁	グラニット吹付	コンクリート打放し			内	未	見限	－	－	－	○	○	（6）と同材料と判断
		14		巾木	モルタル鍍押さえ	コンクリート打放し			内	済	含無	－	－	－	○	○	
		15		床	モルタル鍍押さえ				外	未	見限	－	－	－	○	○	
		16	屋外階段	外壁（側壁）	吹付タイル	コンクリート打放し			内	済	含有	－	－	－	－	－	
		17		天井（階段裏）	アクリルリシン吹付	コンクリート打放し			内	未	見込	－	－	－	－	－	（27）と同材料と判断
		18		天井（BF）	アクリルリシン吹付	コンクリート打放し			内	未	見込	－	－	－	－	－	（27）と同材料と判断
		19		天井（1・BF）	仕上塗装_VP塗	珪酸カルシウム板			内	未	見込	要	－	－	－	－	
		20	ポーチ	屋根_⑩	フッ素鋼板(t=0.45mm)	フラット屋根パネル工法			内	－	対象外	－	－	－	－	－	
		21		柱型	フッ素鋼板(t=1.2mm)				内	－	対象外	－	－	－	－	－	
		22		床	磁器質タイル	モルタル下地			外	未	見限	－	－	－	－	－	
	B棟	23	本棟-1階	屋上_③	防水モルタル		FRP防水		内	未	見限	要	－	－	－	－	
		24		外壁（R部）	50角モザイクタイル	モルタル下地			内	未	見限	－	－	－	○	－	（8）と同材料と判断
	C棟	25	本棟-1階	屋上_④	塩ビシート		塩ビシート		内	未	見限	要	－	－	－	－	
		26		屋上_⑤	塩ビシート		塩ビシート		内	未	見限	要	－	－	－	－	
		27	回廊	天井	アクリルリシン吹付	コンクリート打放し			内	済	含有	－	－	－	－	－	
	D棟	28	本棟-地階	車庫（内壁・柱型）	モルタル塗				外	未	見限	－	－	－	－	－	
		29		天井	仕上塗装_VP塗	珪酸カルシウム板			内	未	見込	要	－	－	－	－	

注）含有：含有建材（含有分析実施済）、含無：含無建材（含有分析実施済）、見込：見込建材（設計上含有建材と判断するが含有分析は未実施）、見限：見限建材（設計上含無建材と判断し含有分析は未実施）、対象外：一般建材（対象外建材）

外 壁 補 修 要 領 参 考 図：タイル張り仕上げ外壁（１）													
ひび割れ部改修工法					欠損部改修工法								
樹脂注入工法（構造体までひび割れがある場合）		樹脂注入工法（構造体までひび割れない場合）		シーリング工法	タイル部分張替え工法		タイル部分張替え工法						
自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		Ｕカットシーリング材充填工法（シーリング材）	－		エポキシ樹脂モルタル充てん工法						
													
補 修 範 囲 の 確 認 ↓ ひ び 割 れ 部 の 清 掃 ↓ 注 入 孔 の 位 置 決 め ↓ 注 入 孔 用 座 金 の 取 付 け 及 び ひ び 割 れ の シ ー ル ↓ シ ー ル 材 の 養 生 ↓ 注 入 用 エ ポ キ シ 樹 脂 の 計 量 ・ 混 練 ↓ エ ポ キ シ 樹 脂 の 注 入 ↓ 養 生 ↓ 仕 上 げ ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れに沿って、ひび割れを中心に幅１００mm程度のモルタル及びタイルをダイヤモンドカッター等で健全部と縁切りを行いはつり撤去する。 ・ひび割れ部に沿って幅５０mm程度の汚れをワイヤーブラシなどで除去し清掃する。 ・注入孔位置をチョーク等でマーキングする。（標準４ヶ所／m） ・注入孔位置に座金をシーリング材にて取付け、ひび割れをシーリング材で幅３０mm、厚さ２mm程度に塗布し、確実にシーリングする。 ・裏面に注入材が漏れるおそれのある場合は、裏面に仮止めシーリング材を施工するか、又は表面より流出しない粘度の注入材を使用する。 ・シーリング材が硬化するまでは、損傷、衝撃や振動を与えないようにし、また雨水等からも養生する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。 ・エポキシ樹脂を注入器具に入れ、座金にセットし、ゴムの圧力により注入する。（注入圧：０．４N/mm²以下） ・注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して足りない場合は補充する。 ・注入したエポキシ樹脂が硬化するまで注入器具を取付けたままの状態で、衝撃や振動を与えないように養生する。 ・注入したエポキシ樹脂の硬化後、注入器具及びシーリング材を除去し、モルタル撤去部の補修及びタイルの張り付けを行う。 ・補修部以外に付着した樹脂汚れ等を除去し、清掃する。 ・注入状態及びあとかたづけを確認する。		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ ひ び 割 れ 部 の 清 掃 ↓ 注 入 孔 の 位 置 決 め ↓ 注 入 孔 用 座 金 の 取 付 け 及 び ひ び 割 れ の シ ー ル ↓ シ ー ル 材 の 養 生 ↓ 注 入 用 エ ポ キ シ 樹 脂 の 計 量 ・ 混 練 ↓ エ ポ キ シ 樹 脂 の 注 入 ↓ 養 生 ↓ 仕 上 げ ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れ部に沿って幅５０mm程度の汚れをワイヤーブラシなどで除去し清掃する。 ・注入孔位置をチョーク等でマーキングする。（標準４ヶ所／m） ・注入孔位置に座金をシーリング材にて取付け、ひび割れをシーリング材で幅３０mm、厚さ２mm程度に塗布し、確実にシーリングする。 ・裏面に注入材が漏れるおそれのある場合は、裏面に仮止めシーリング材を施工するか、又は裏面より流出しない粘度の注入材を使用する。 ・シーリング材が硬化するまでは、損傷、衝撃や振動を与えないようにし、また雨水等からも養生する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。 ・エポキシ樹脂を注入器具に入れ、座金にセットし、ゴムの圧力により注入する。（注入圧：０．４N/mm²以下） ・注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して足りない場合は補充する。 ・注入したエポキシ樹脂が硬化するまで注入器具を取付けたままの状態で、衝撃や振動を与えないように養生する。 ・注入したエポキシ樹脂の硬化後、注入器具及びシーリング材を除去し、仕上げを行う。 ・補修部以外に付着した樹脂汚れ等を除去し、清掃する。 ・注入状態及びあとかたづけを確認する。		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ Ｕ カ ッ ト ↓ 溝 内 の 清 掃 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ シ ー ル 材 の 混 合 ↓ シ ー ル 材 の 充 て ん 及 び 仕 上 げ ↓ シ ー ル 材 の 養 生 ↓ 仕 上 げ ↓ 撤 去 部 の 修 復 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れに沿って、ひび割れを中心に幅１００mm程度のモルタル及びタイルをダイヤモンドカッター等で健全部と縁切りを行いはつり撤去する。 ・ひび割れ部に沿って、幅１０mm、深さ１０mm～１５mm程度のＵ字型に溝を設ける。 ・Ｕカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、剛毛、圧搾空気等で除去し、清掃する。 ・専用プライマーを剛毛等で溝内部に塗り残しの無いように均一に塗布する。 ・シーリング材専用混合機にて、基剤・硬化剤が均一になるまで１５分以上混合する。 ・未硬化になりやし混合容器の壁・底部などは、ヘラ等でかき落としした後に再度混合する。 ・Ｕカット溝内へシーリング材をコーキングガン等で空隙や打ち残し等の無いように加圧しながら充てんし、コンクリート表面から３mm～５mm低めに充てんし、仕上げる。 ・シーリング材が硬化するまでは、損傷等がないようにし、また雨水等からも養生する。 ・ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 ・モルタル撤去部の修復及び、タイルの張付けを行う。 ・シーリング部以外の樹脂汚れ等を除去し、清掃する。 ・仕上がり状態の確認、及びあとかたづけを確認する。		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ 補 修 範 囲 の 確 認 ↓ タ イ ル 陶 片 の 除 去 ↓ タ イ ル 陶 片 の 張 付 け ↓ 養 生 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・テストハンマー等で打診し、浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。 ・張替え部と健全部の縁切りの為に、張替え部周囲の目地部からカッターで切断する。 ・張替え部のタイル陶片及び張付けモルタルを除去し清掃する。 ・下地施工面に選定した接着剤をクシ目ゴテ等で塗布、タイル陶片をもみ込むようにして張付ける。 ・タイル張り完了後は、２４時間以上は衝撃を与えないようにし、又降雨等からも養生する。 ・接着剤硬化後、目地モルタルで目地詰めを行う。 ・タイル表面や張替え部以外に付着した樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・タイル陶片張替え状態及びあとかたづけを確認する。		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ 下 地 処 理 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ ポ リ マ ー セ メ ン ト モ ル タ ル の 計 量 ・ 混 練 ↓ ポ リ マ ー セ メ ン ト モ ル タ ル の 充 て ん ↓ 仕 上 げ ↓ 養 生 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ↓ タ イ ル 張 り ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分をはつり取った後、ほこり等を除去、清掃し強固なコンクリート下地を出す。 ・発錆している鉄筋は、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去する。 ・下地が濡れている場合は充分乾燥させる。 ・防錆剤入りのプライマーを剛毛等で被着面に塗り残しの無いように塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使用時間内に使い切る量とする。 ・各層塗り厚は7mm程度とする。 ・プライマーの粘着のあるうちに、ポリマーセメントモルタルを充分押さえ込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押さえ、平滑に仕上げる。 ・ポリマーセメントモルタルが硬化するまで（夏期１５時間、冬期２４時間以上）損傷、汚染等のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・ポリマーセメントモルタルの仕上がり状態、硬化状態及びあとかたづけを確認する。 ・タイル部分貼替え工法					
													
補 修 範 囲 の 確 認 ↓ 下 地 処 理 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ エ ポ キ シ 樹 脂 モ ル タ ル の 計 量 ・ 混 練 ↓ エ ポ キ シ 樹 脂 モ ル タ ル の 充 て ん ↓ 仕 上 げ ↓ 養 生 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ↓ タ イ ル 張 り ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分をはつり取った後、ほこり等を除去、清掃し強固なコンクリート下地を出す。 ・発錆している鉄筋は、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去する。 ・下地が濡れている場合は充分乾燥させる。 ・防錆剤入りの専用プライマーを剛毛等で被着面に塗り残しの無いように塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使用時間内に使い切る量とする。 ・プライマーの粘着のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押さえ込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押さえ、平滑に仕上げる。 ・エポキシ樹脂モルタルが硬化するまで（夏期１５時間、冬期２４時間以上）損傷、汚染等のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・エポキシ樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態及びあとかたづけを確認する。 ・タイル部分貼替え工法													
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園						工事名 令和７年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事		縮尺 －	図面サイズ A3版(100%)				
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671						図 名 外壁補修参考図（１）		日付 令和 年 月 日	図面番号 B-8				

外 壁 補 修 要 領 参 考 図：タイル張り仕上げ外壁（２）																																															
浮き部改修工法																																															
アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法		アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法		注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法		注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法																																									
補 修 範 囲 の 確 認 ↓ アンカーピンニングの本数と配置の決定 ↓ アンカーピン挿入口のせん孔 ↓ 孔内の清掃 ↓ エポキシ樹脂の計量・混練 ↓ エポキシ樹脂の注入 ↓ アンカーピンの挿入 ↓ 養生 ↓ 残存浮き部への注入孔位置決め ↓ 注入孔のせん孔 ↓ 孔内の清掃 ↓ 注入用エポキシ樹脂量の計測・混練 ↓ 残存浮き部への注入 ↓ 養生 ↓ 仕 上 げ ↓ 清 掃 ↓ 自主検査		・テストハンマー等で打診し、浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。 ・アンカーピンニング孔のせん孔位置を下表に準じて、チョーク等でマーキングする。 ・位置は目地部に決定する。 <table><tr><th colspan="3">アンカーピン本数</th><th colspan="3">注入孔の本数 (本/㎡)</th></tr><tr><th>一般部分 (本/㎡)</th><th>指定部分 (本/㎡)</th><th>狭幅部 (㎡)</th><th>一般部分 (本/㎡)</th><th>指定部分 (本/㎡)</th><th>狭幅部 (㎡)</th></tr><tr><td>13</td><td>20</td><td>5</td><td>12</td><td>20</td><td>5</td></tr></table> ※指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ隅角部分等を言う ・コンクリート用振動ドリル等を用いて壁面に対し直角にせん孔する。 ・アンカーピンニング用のせん孔深さは、構造体コンクリートに30mm程度、せん孔径はアンカーピンの直径より1～2mm程度大きい直径とする。 ・孔内をブラシ等で清掃後、圧搾空気等で切粉等を除去する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。 ・グリスポンプを用いて、せん孔部の最深部から適切な圧力を保ち徐々に注入する。充てん量は指定がある場合を除き、25ml（約30g）／1ヶ所とする。 ・アンカーピンの挿入 ・モルタルの厚さに合わせ適切な長さの全ネジ切りアンカーピン（SUS304）を選定し、ネジ切り部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻き込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。 ・アンカーピンの頭は仕上げ面から5mm程度引っ込むようにし、孔内からはみ出したエポキシ樹脂は除去する。 ・アンカーピン固定部は、夏期15時間、冬期24時間以上は衝撃を与えないようにし、雨水等からも養生する。 ・テストハンマー等で打診して、残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。 ・アンカーピン固定用エポキシ樹脂の硬化後、構造体コンクリートに対し5mm程度の深さまでせん孔する。 ・孔内をブラシで清掃後、圧搾空気等で切粉等を除去する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に、計量し、充分に混練する。 ・グリスポンプを用いて、エポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入する。 ・注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部に全面注入する。 ・注入後、注入孔をパッキン、ウエス等でふさぐ。 ・注入後、夏期15時間、冬期24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、雨水等からも養生する。 ・表面に目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂等で充てんし、仕上げを行う。 ・注入部以外に付着した樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・テストハンマー等で打診して注入状態を確認するとともに、後かたづけを確認する。残存浮き部が確認されたならば、再度注入する。		アンカーピン本数			注入孔の本数 (本/㎡)			一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)	一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)	13	20	5	12	20	5	補 修 範 囲 の 確 認 ↓ アンカーピンニングの本数と配置の決定 ↓ アンカーピンの決定 ↓ アンカーピン挿入口のせん孔 ↓ 孔内の清掃 ↓ ピンの挿入・開脚 ↓ 注入用エポキシ樹脂の計量・混合 ↓ エポキシ樹脂の注入 ↓ 養生 ↓ 仕 上 げ ↓ 清 掃 ↓ 自主検査		・テストハンマー等で打診し、浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。 ・注入口付アンカーピン本数 <table><tr><th colspan="3">注入口付アンカーピン本数</th><th colspan="3">注入孔の本数 (本/㎡)</th></tr><tr><th>一般部分 (本/㎡)</th><th>指定部分 (本/㎡)</th><th>狭幅部 (㎡)</th><th>一般部分 (本/㎡)</th><th>指定部分 (本/㎡)</th><th>狭幅部 (㎡)</th></tr><tr><td>9</td><td>16</td><td>5</td><td>9</td><td>16</td><td>5</td></tr></table> ※指定部分とは、見上げ面、ひさしのはな、まぐさ、隅角部分等を言う。 ・アンカーピンの種類はモルタルの厚さにより決定する。（躯体に20mm以上の深さとする） CPアンカーピンE650 φ6mm 長さ 50mm CPアンカーピンE670 φ6mm 長さ 70mm CPアンカーピンE610 φ6mm 長さ 100mm ・アンカーピンの種類はモルタルの厚さにより決定する。（躯体に20mm以上の深さとする） ・専用のドリルビット（φ6.6mm）を用いたコンクリート用振動ドリルで壁面に対し直角にせん孔する。せん孔の深さは、選定したピンの長さより5mm程深くせん孔する。 ・孔内の切粉等をブラシや圧搾空気等で除去する。 ・アンカーピンを孔に挿入し、ハンマーで軽く叩いてモルタルの面まで打ち込んだ後、専用の打ち込み棒で先端の開脚部を拡張し固着する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。 ・グリスポンプに専用ノズルを装着して、アンカーピンの注入孔から適切な圧力を保ち、徐々に注入する。充てん量は指定がある場合を除き25ml（約30g）／1ヶ所とする。 ・エポキシ樹脂注入後（夏期15時間、冬期24時間以上）衝撃を与えないようにし、また雨水等からも養生する。 ・テストハンマー等で打診して、残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。 ・アンカーピン固定用エポキシ樹脂の硬化後、構造体コンクリートに対し5mm程度の深さまでせん孔する。 ・孔内をブラシで清掃後、圧搾空気等で切粉等を除去する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に、計量し、充分に混練する。 ・グリスポンプを用いて、エポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入する。 ・注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部に全面注入する。 ・注入後、注入孔をパッキン、ウエス等でふさぐ。 ・注入後、夏期15時間、冬期24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、雨水等からも養生する。 ・表面に目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂等で充てんし、仕上げを行う。 ・注入部以外に付着した樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・テストハンマー等で打診して注入状態を確認するとともに、後かたづけを確認する。残存浮き部が確認されたならば、再度注入する。		注入口付アンカーピン本数			注入孔の本数 (本/㎡)			一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)	一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)	9	16	5	9	16	5	補 修 範 囲 の 確 認 ↓ アンカーピンニングの本数と配置の決定 ↓ アンカーピンの決定 ↓ アンカーピン挿入口のせん孔 ↓ 孔内の清掃 ↓ ピンの挿入・開脚 ↓ 注入用エポキシ樹脂の計量・混合 ↓ エポキシ樹脂の注入 ↓ 養生 ↓ 仕 上 げ ↓ 清 掃 ↓ 自主検査		・テストハンマー等で打診し、浮きの状況と範囲を調べてマーキングする。 ・アンカーピンニングのせん孔位置を決定し、チョーク等でマーキングする。 ・アンカーピンの標準本数は一般部分は9本/㎡、指定部分（見上げ面、ひさしのはな、まぐさ、隅内部分等をいう）は16本/㎡とする。 ・狭幅部は、幅中央に200mmピッチとする。 ・マーキング箇所は基本的に目地部とする。 ・アンカーピンの種類はモルタルの厚さにより決定する。（躯体に20mm以上の深さとする） CPアンカーピンE650 φ6mm 長さ 50mm CPアンカーピンE670 φ6mm 長さ 70mm CPアンカーピンE610 φ6mm 長さ 100mm ・専用のドリルビット（φ6.6mm）を用いたコンクリート用振動ドリルで壁面に対し直角にせん孔する。せん孔の深さは、選定したピンの長さより5mm程深くせん孔する。 ・孔内の切粉等をブラシや圧搾空気等で除去する。 ・アンカーピンを孔に挿入し、ハンマーで軽く叩いてモルタルの面まで打ち込んだ後、専用の打ち込み棒で先端の開脚部を拡張し固着する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。 ・グリスポンプに専用ノズルを装着して、アンカーピンの注入孔から適切な圧力を保ち、徐々に注入する。充てん量は指定がある場合を除き25ml（約30g）／1ヶ所とする。 ・エポキシ樹脂注入後（夏期15時間、冬期24時間以上）衝撃を与えないようにし、また雨水等からも養生する。 ・注入部以外に付着した樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・テストハンマー等で打診して注入状態を確認するとともに、後片付けを確認する。	
アンカーピン本数			注入孔の本数 (本/㎡)																																												
一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)	一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)																																										
13	20	5	12	20	5																																										
注入口付アンカーピン本数			注入孔の本数 (本/㎡)																																												
一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)	一般部分 (本/㎡)	指定部分 (本/㎡)	狭幅部 (㎡)																																										
9	16	5	9	16	5																																										
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園		設計者		法適合確認欄		検証者		工事名	令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事																																						
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671								図 名	外壁補修参考図（２）																																						
								縮尺	—																																						
								図面サイズ	A3版(100%)																																						
								日付	令和 年 月 日																																						
								図面番号	B-9																																						

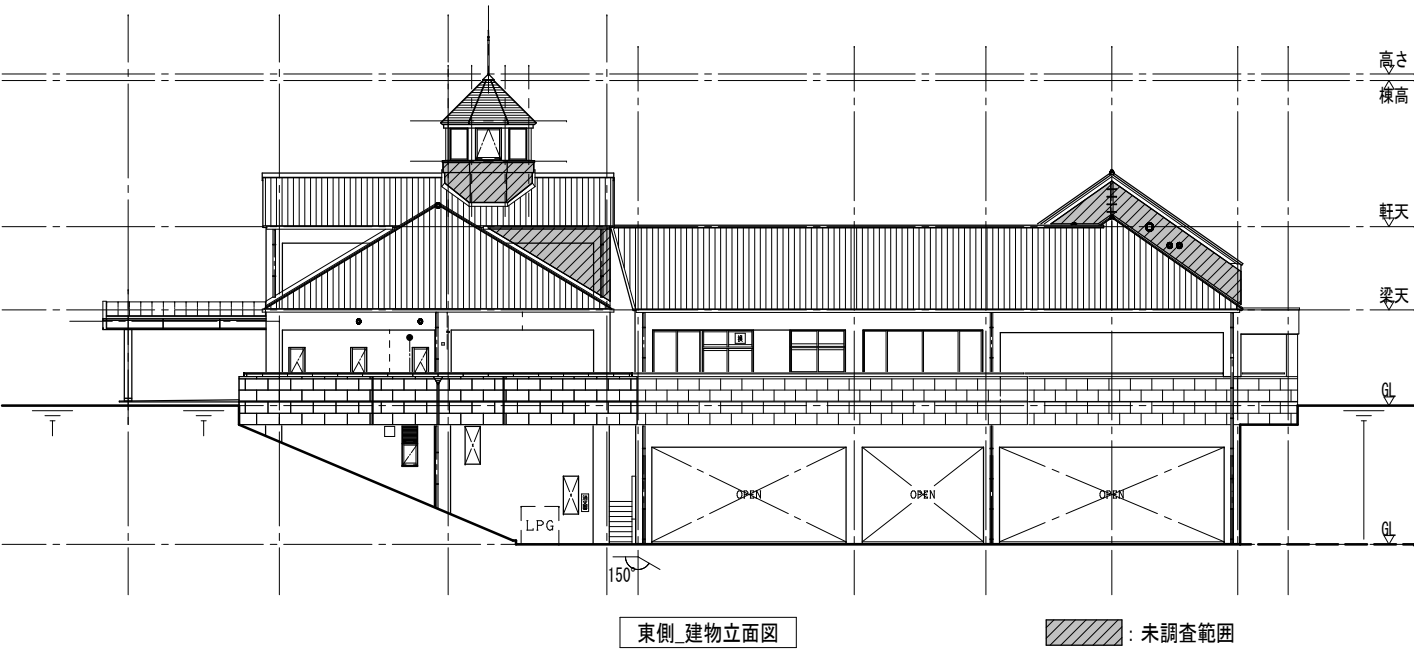
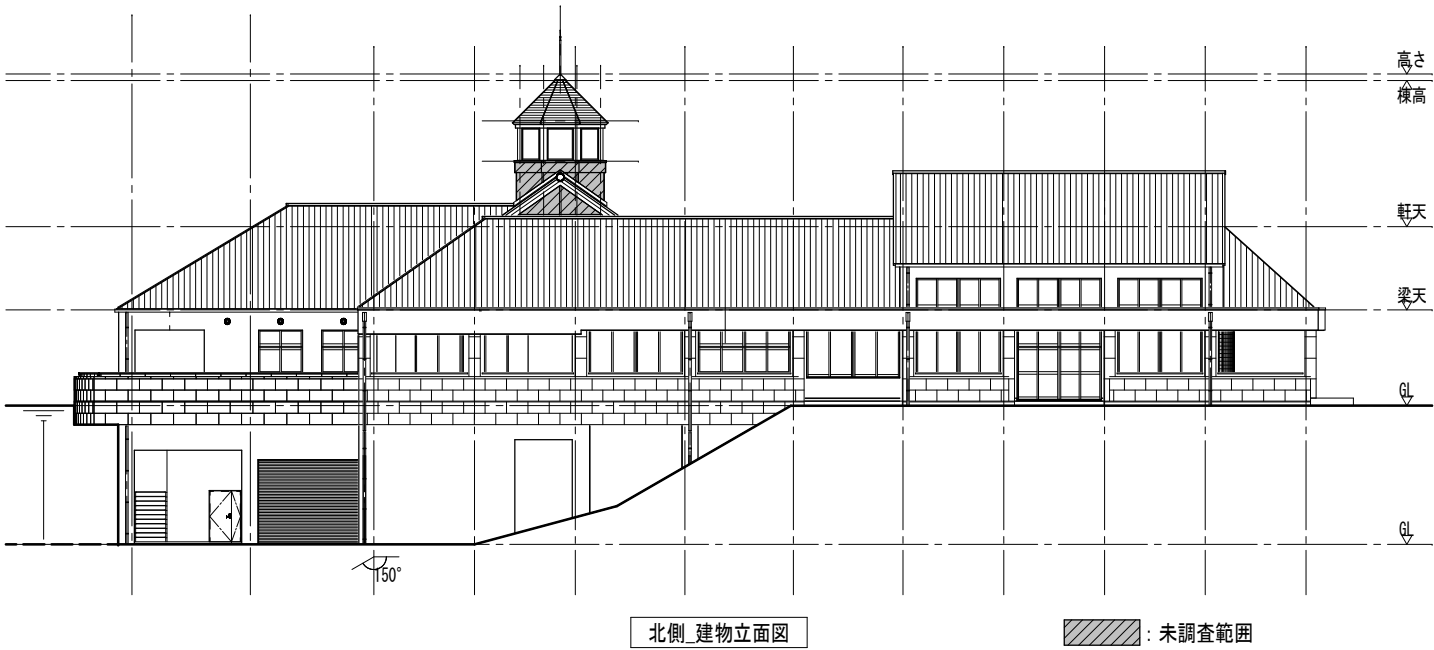
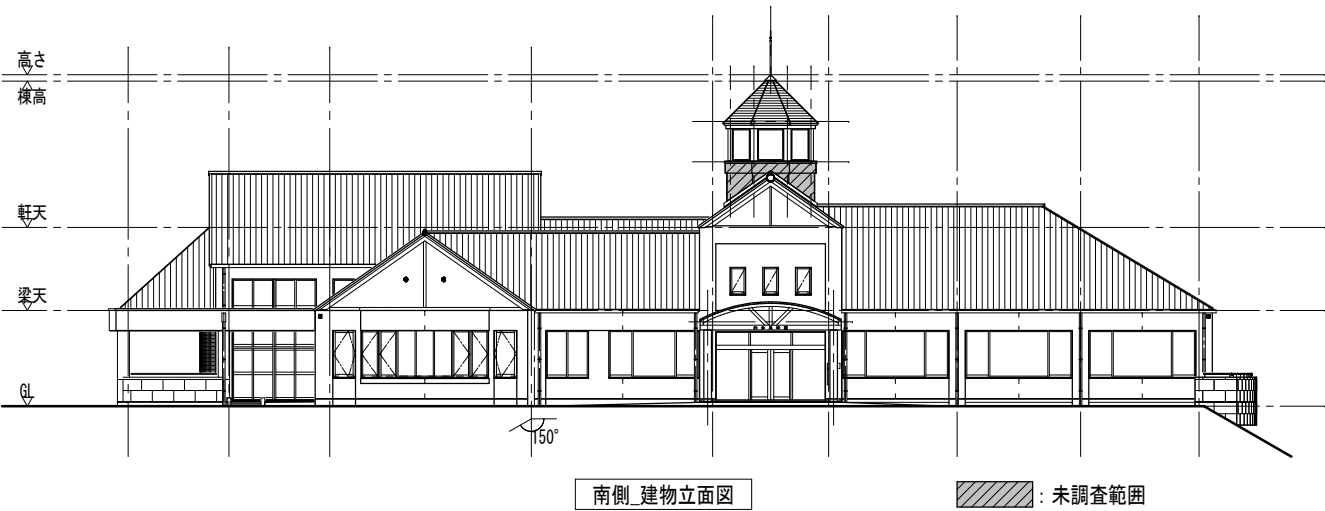
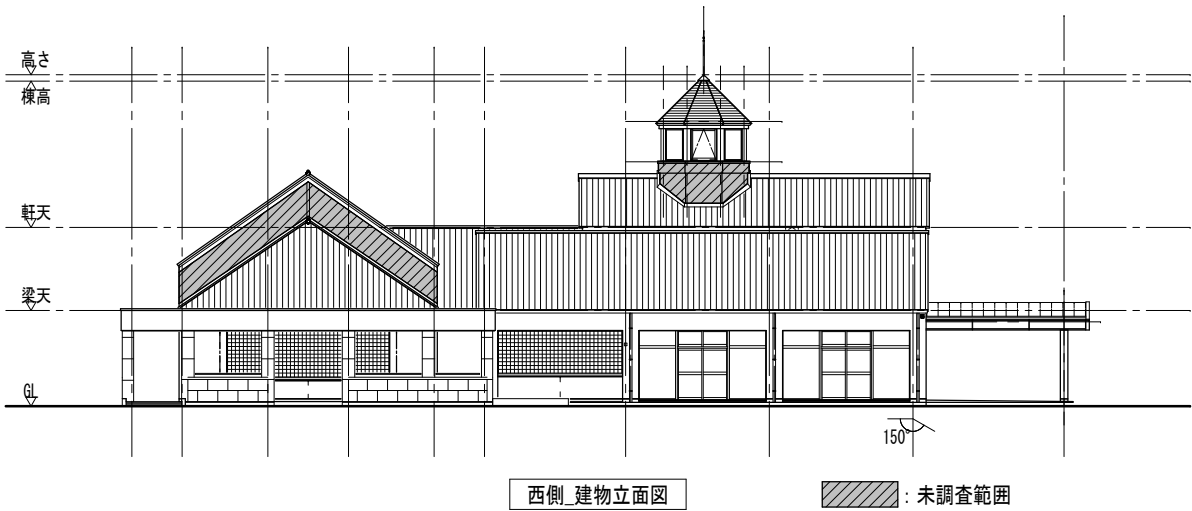
外 壁 補 修 要 領 参 考 図：コンクリート打ち放し仕上げ外壁									
ひび割れ部改修工法				欠損部改修工法					
樹脂注入工法		Ｕカットシール材充填工法		シール工法		－			
ひび割れ部自動式低圧エポキシ樹脂注入工法		シーリング材				欠損部ポリマーセメントモルタル充てん工法			
									
補 修 範 囲 の 確 認 ↓ ひ び 割 れ 部 の 清 掃 ↓ 注 入 孔 の 位 置 決 め ↓ 注入孔用座金の取付け 及びひび割れのシール ↓ シ ー ル 材 の 養 生 ↓ 注入用エポキシ樹脂の 計 量 ・ 混 練 ↓ エポキシ樹脂の注入 ↓ 養 生 ↓ 仕 上 げ ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れ部に沿って幅5 0mm程度の汚れをワイヤーブラシなどで除去し清掃する。 ・注入孔位置をチョーク等でマーキングする。（標準4ヶ所/m） ・注入孔位置に座金をシール材にて取付け、ひび割れをシール材で幅3 0mm、厚さ2mm程度に塗布し、確実にシールする。 ・裏面に注入材が漏れるおそれのある場合は、裏面に仮止めシール材を施工するか、又は裏面より流出しない粘度の注入材を使用する。 ・シール材が硬化するまでは、損傷等がないようにし、また雨水等からも養生する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。 ・エポキシ樹脂を注入器具に入れ、座金にセットし、ゴムの圧力により注入する。（注入圧：0.4N/mm²以下） ・注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して足りない場合は補充する。 ・注入したエポキシ樹脂が硬化するまで注入器具を取付けたままの状態で、衝撃や振動を与えないように養生する。 ・注入したエポキシ樹脂の硬化後、注入器具及びシール材を除去し、仕上げを行う。 ・補修部以外に付着した樹脂汚れ等を除去し、清掃する。 ・注入状態及びあとかたづけを確認する。		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ Ｕ カ ッ ト ↓ 溝 内 の 清 掃 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ シ ー ル 材 の 混 合 ↓ シール材の充てん及び 仕 上 げ ↓ シ ー ル 材 の 養 生 ↓ 仕 上 げ ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れ部に沿って、幅1 0mm、深さ1 0mm～1 5mm程度のU字型に溝を設ける。 ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛、圧搾空気等で除去し清掃する。 ・専用プライマーを刷毛等で溝内部に塗布し、均一に塗布する。 ・シーリング材専用混合機にて、基剤・硬化剤が均一になるまで1 5分以上混合する。 ・未硬化になりやすい混合容器の壁・底部などは、ヘラ等でかき落とした後に再度混合する。 ・Uカット溝内へシール材をコーキングガン等で空隙や打ち残し等の無いように加圧しながら充填し、コンクリート表面から3mm～5mm低めに充填し、仕上げる。 ・シール材が硬化するまでは、損傷等がないようにし、また雨水等からも養生する。 ・ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 ・シール部以外の樹脂汚れ等を除去し、清掃する。 ・仕上がり状態の確認、及びあとかたづけを確認する。		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ ひ び 割 れ 部 の 清 掃 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ シール材の計量混練 及 び 塗 布 ↓ 養 生 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れ部を中心に表面を清掃する。 ・専用プライマーを刷毛等で被着面に塗布し、均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。 ※1成分系のシール材使用時は、同作業は不要 ・シール材をバテペラ等で幅1 0mm、厚さ2mm程度に塗布し、その表面を平滑に仕上げる。 ・エポキシ樹脂が硬化する前に珪砂を散布して粗面に仕上げを行っておく。 ・シール材の硬化養生を行う。 ・シール材の硬化後、シール部以外の樹脂汚れ等を除去する。 ・シール材の仕上がり状態及びあとかたづけを確認する。		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ 下 地 処 理 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ ポリマーセメントモルタルの計量・混練 ↓ ポリマーセメントモルタルの充てん ↓ 仕 上 げ ↓ 養 生 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分をはつり取った後、ほこり等を除去、清掃し強度なコンクリート下地を出す。 ・露錆している鉄筋は、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去する。 ・下地が濡れている場合は充分乾燥させる。 ・防錆剤入りのプライマーを刷毛等で被着面に塗布し、均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。 ・プライマーの粘着のあるうちに、ポリマーセメントモルタルを充分押さえ込みながら充てんする。各層塗り厚は7mm程度とする。 ・表面を金ゴテ等で充分押さえ、平滑に仕上げる。 ・ポリマーセメントモルタルが硬化するまで（夏期1 5時間、冬期2 4時間以上）損傷、汚染等のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・ポリマーセメントモルタルの仕上がり状態、硬化状態及びあとかたづけを確認する。			
		可とう性エポキシ樹脂				欠損部エポキシ樹脂モルタル充てん工法			
		補 修 範 囲 の 確 認 ↓ Ｕ カ ッ ト ↓ 溝 内 の 清 掃 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ シール材の計量・混合 ↓ シール材の充てん及び 仕 上 げ ↓ シ ー ル 材 の 養 生 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れ部に沿って、幅1 0mm、深さ1 0mm～1 5mm程度のU字型に溝を設ける。 ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛、圧搾空気等で除去し、清掃する。 ・専用プライマーを刷毛等で溝内部に塗布し、均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、気泡を巻き込まないように充分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。 ※1成分形のシール材使用時は、同作業は不要。 ・Uカット溝内へシール材をカートリッジガンで空隙や打ち残し等の無いように加圧しながら充てんし、コンクリート表面にあわせて仕上げる。 ・硬化する前に珪砂を散布して粗面に仕上げしておく。 ・シール材が硬化するまでは、損傷等がないようにし、また雨水等からも養生する。 ・シール部以外の樹脂汚れ等を除去し、清掃する。 ・仕上がり状態の確認、及びあとかたづけを確認する。				補 修 範 囲 の 確 認 ↓ 下 地 処 理 ↓ プ ラ イ マ ー の 塗 布 ↓ エポキシ樹脂モルタルの計量・混練 ↓ エポキシ樹脂モルタルの充てん ↓ 仕 上 げ ↓ 養 生 ↓ 清 掃 ↓ 自 主 検 査 ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分をはつり取った後、ほこり等を除去、清掃し強度なコンクリート下地を出す。 ・露錆している鉄筋は、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去する。 ・下地が濡れている場合は充分乾燥させる。 ・防錆剤入りの専用プライマーを刷毛等で被着面に塗布し、均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。計量は可使時間内に使い切る量とする。 ・プライマーの粘着のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押さえ込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押さえ、平滑に仕上げる。 ・エポキシ樹脂モルタルが硬化するまで（夏期1 5時間、冬期2 4時間以上）損傷、汚染等のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の樹脂汚れを除去し、清掃する。 ・エポキシ樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態及びあとかたづけを確認する。			
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671		設 計 者		法適合確認欄	検 証 者	工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事		縮尺 －	図面サイズ A3版(100%)
						図 名 外壁補修参考図（3）		日付 令和 年 月 日	図面番号 B-10

★外壁面_打診調査参考図

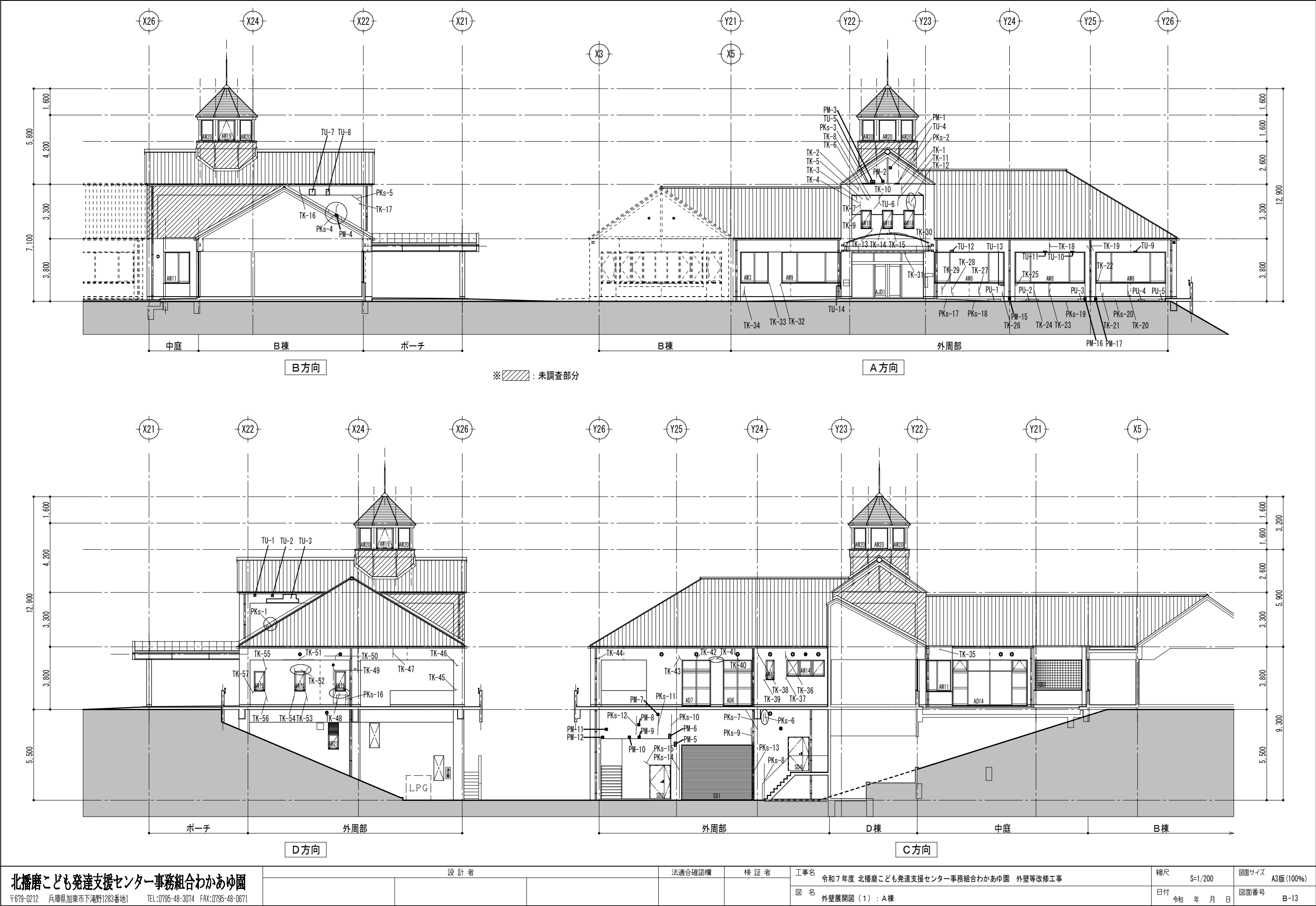
1. 打診調査
- ・外壁面（タイル面・塗装面）の調査を実施している。
但し、下図（斜線部）においては未調査である。
2. 調査範囲（打診調査）
- ・屋上面 塔屋部（斜線範囲）においては未調査である。
- ・外壁面 西面 高所作業車により打診調査。
南面 "
東面 "
北面 "
・屋外階段室 全面調査
3. 調査参考図
- ・外壁展開図は別図参照のこと。

3. 参考調査図の凡例

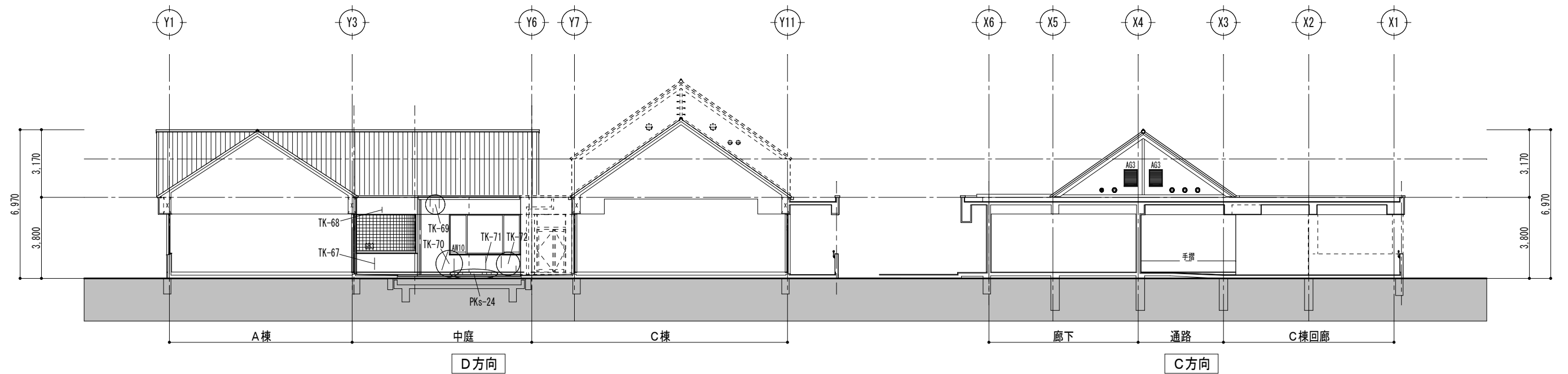
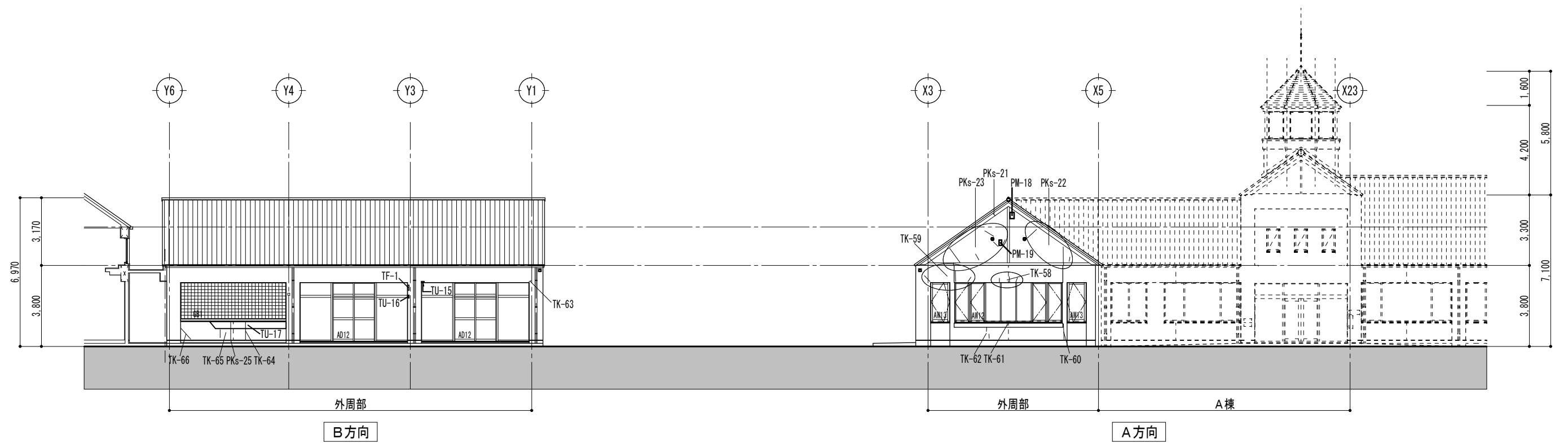
タイル面（T*~※）			塗装面（P*~※）		
符号	内容	想定数量	符号	内容	想定数量
TK-※	割れ欠け	5.2 m ²	PKs-※	割れ(小)	79.0 m
TF-※	陶片浮き	0.1 m ²	PKm-※	割れ(中)	0.0 m
			PKl-※	割れ(大)	0.0 m
TU-※	下地浮き	12.2 m ²	PF-※	塗膜浮き	0.0 m ²
			PM-※	欠損露筋	45.0 ヶ所
			PP-※	塗膜剥離	0.0 ヶ所
			PU-※	下地浮き	5.8 m ²
特記事項	・上記数量は想定数量の為、施工完了時には数量清算を行うものとする。				
	・				
	・				
	・				

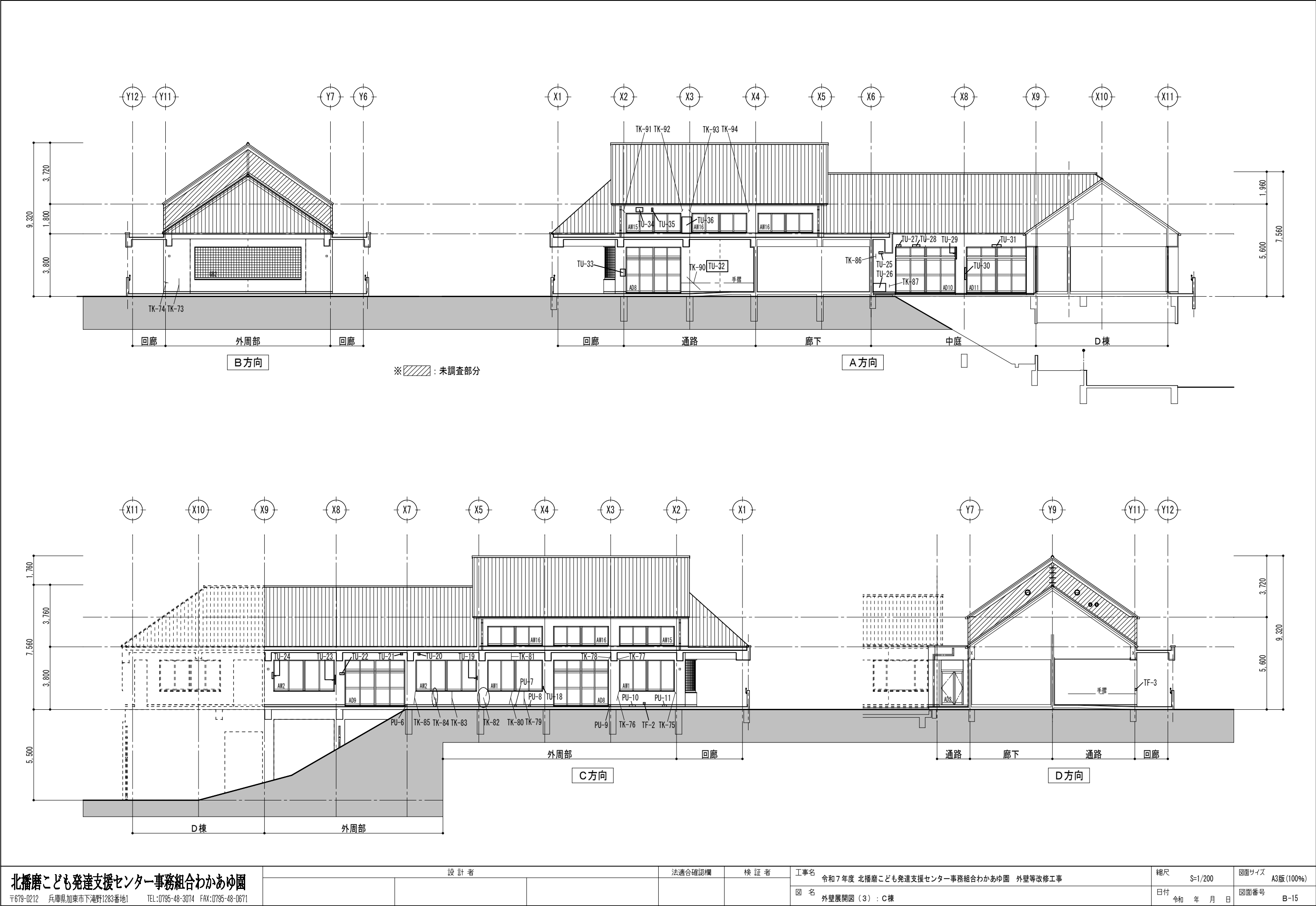


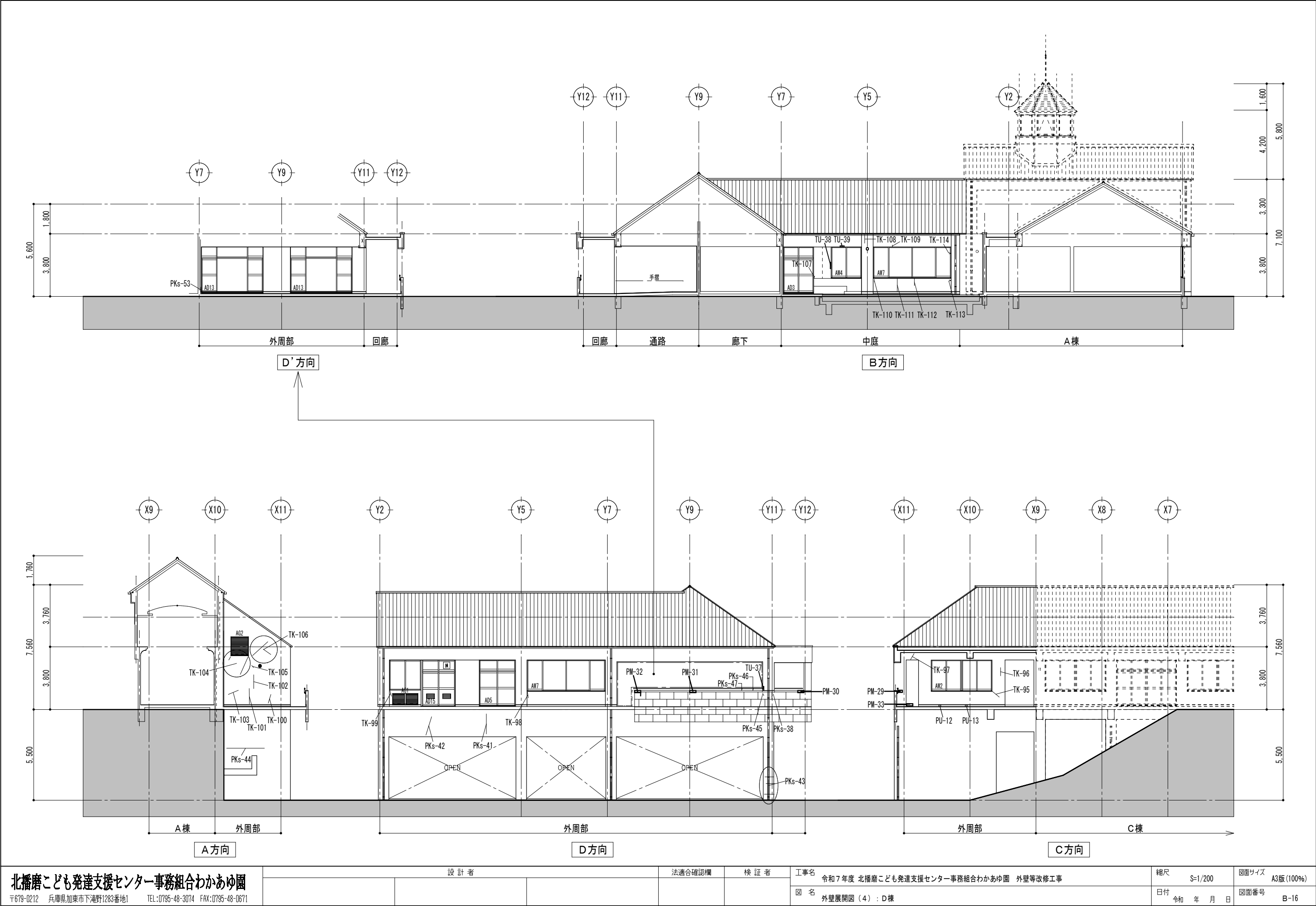


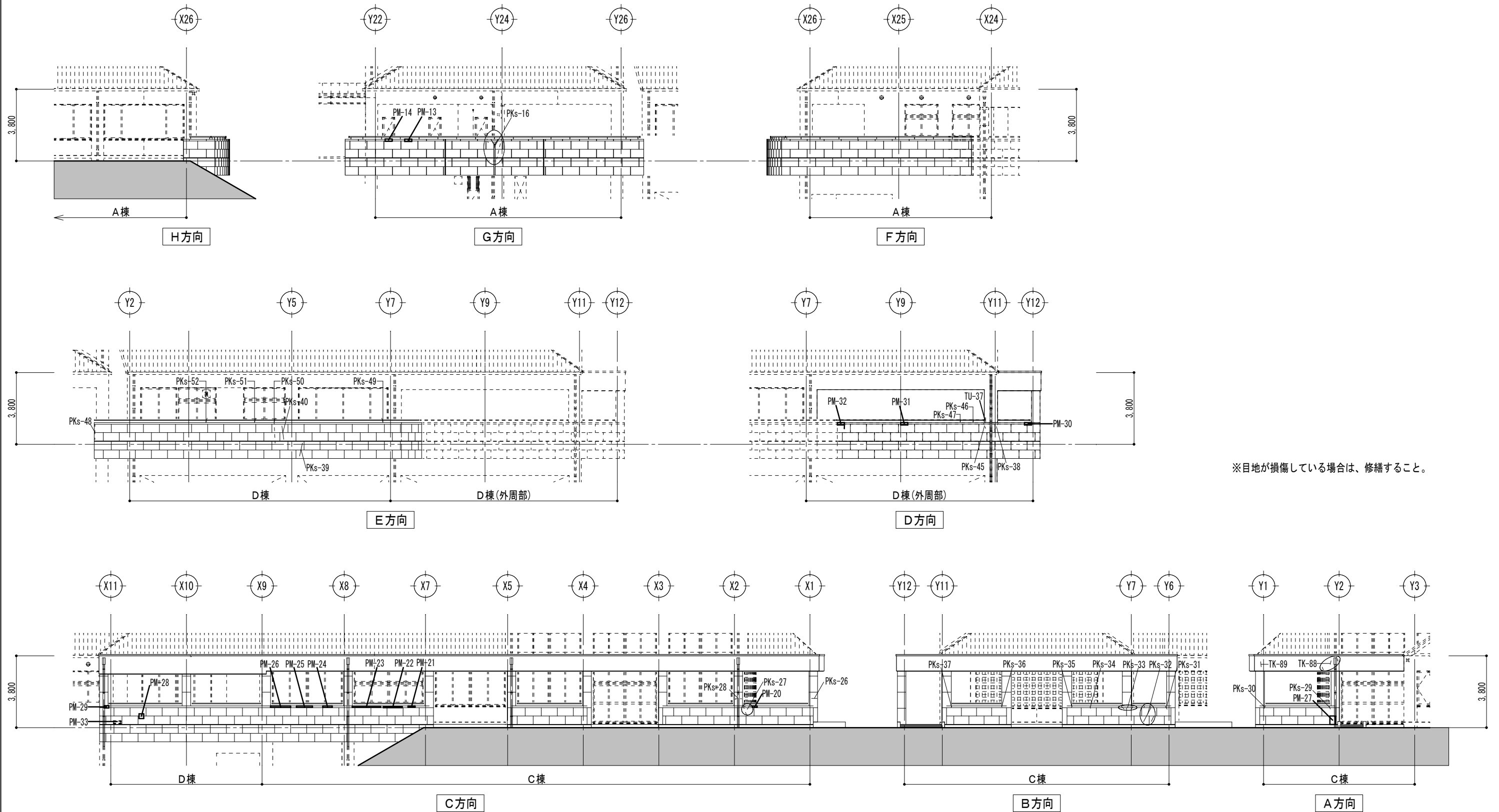


北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671	設計者	法適合確認欄	検証者	工事名	縮尺	図面サイズ
				令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事 図名 外壁展開図(1): A棟	S=1/200 日付 令和 年 月 日	A3版(100%) 図面番号 B-13

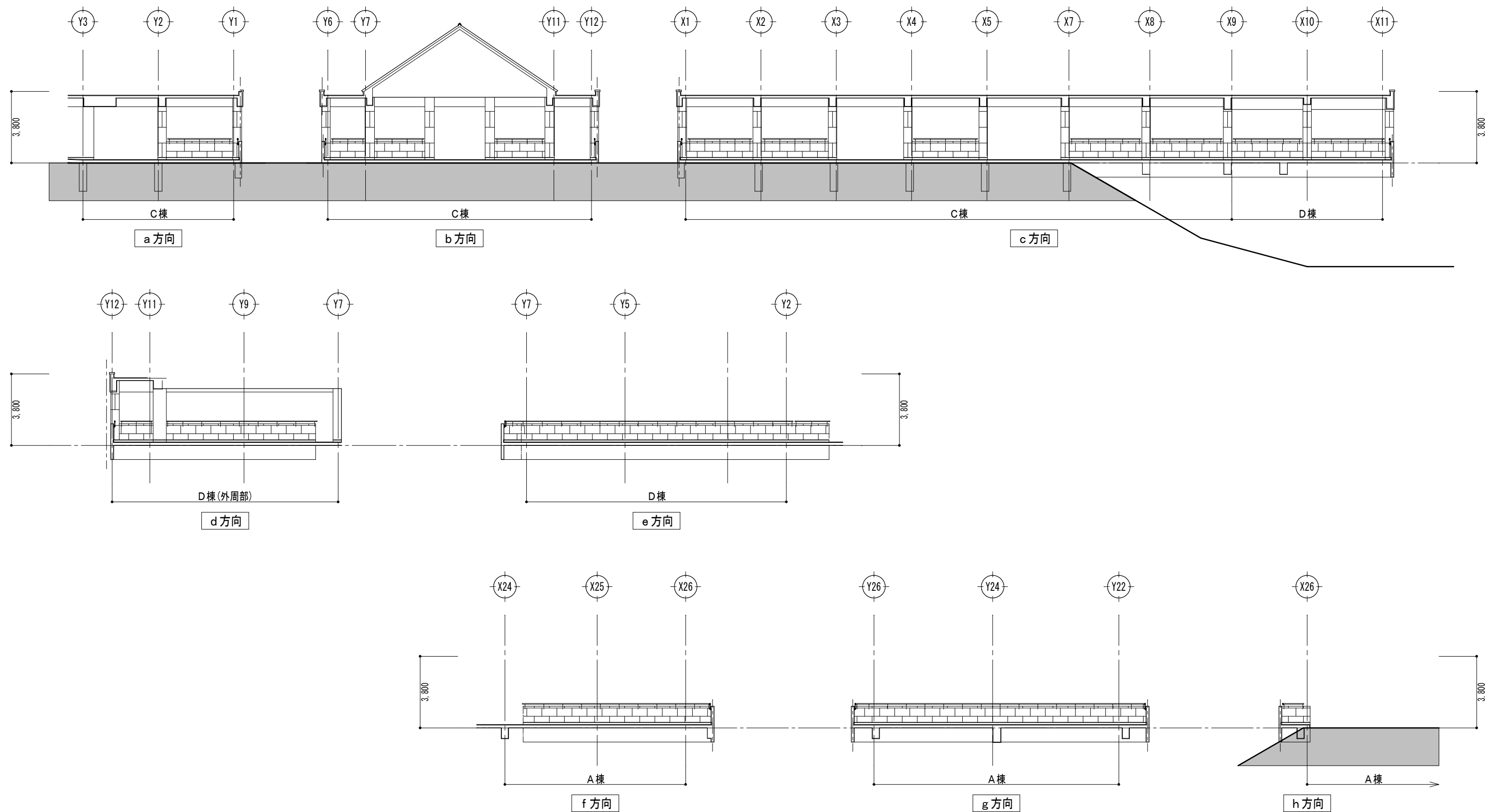






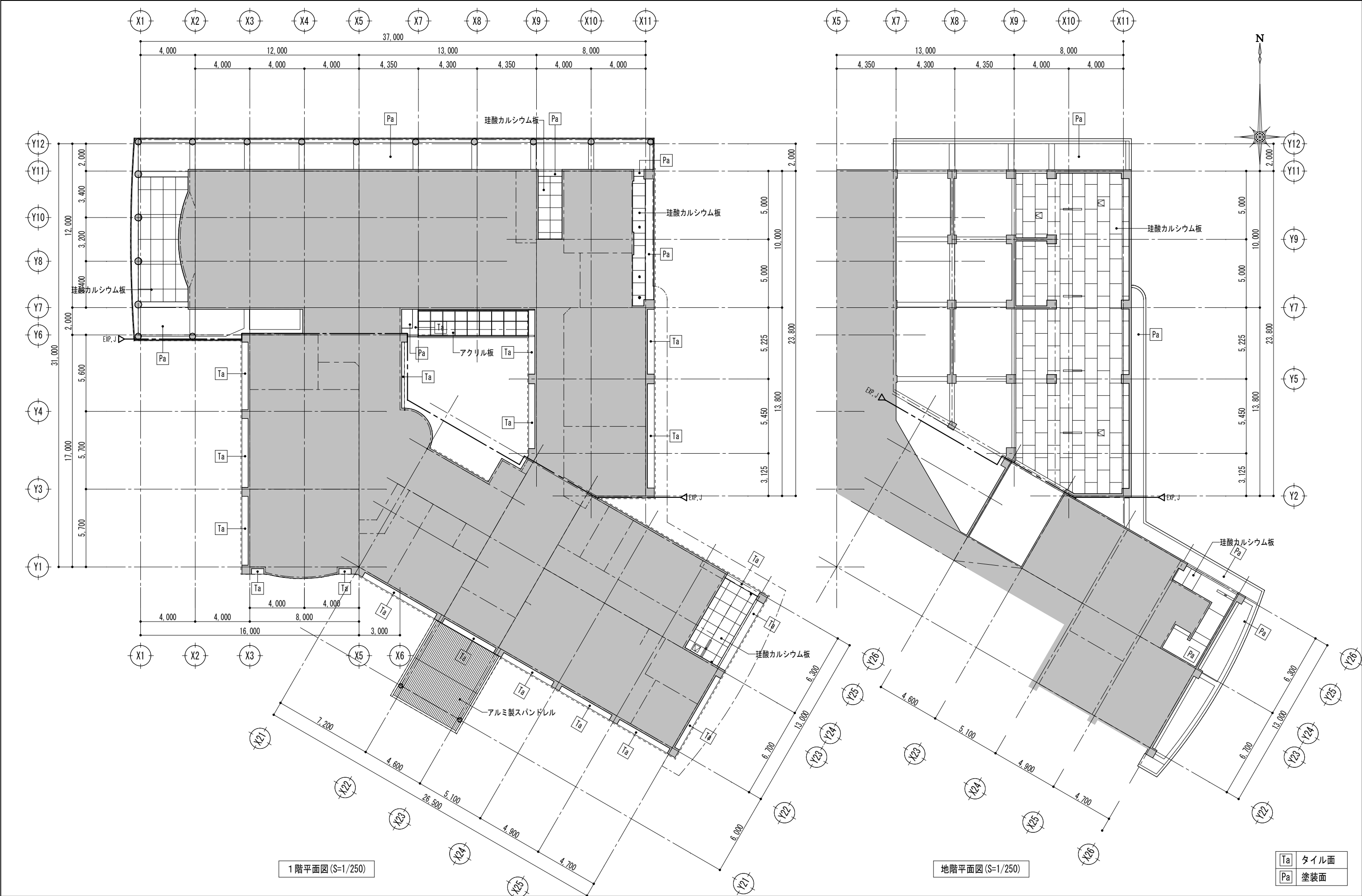


北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671	設計者		法適合確認欄	検証者	工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	縮尺 S=1/200	図面サイズ A3版(100%)
					図名 外壁展開図(5):回廊・外面	日付 令和 年 月 日	図面番号 B-17



※目地が損傷している場合は、修繕すること。

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671	設計者		法適合確認欄	検証者	工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事	縮尺 S=1/200	図面サイズ A3版(100%)
					図名 外壁展開図(6)_回廊_内面	日付 令和 年 月 日	図面番号 B-18





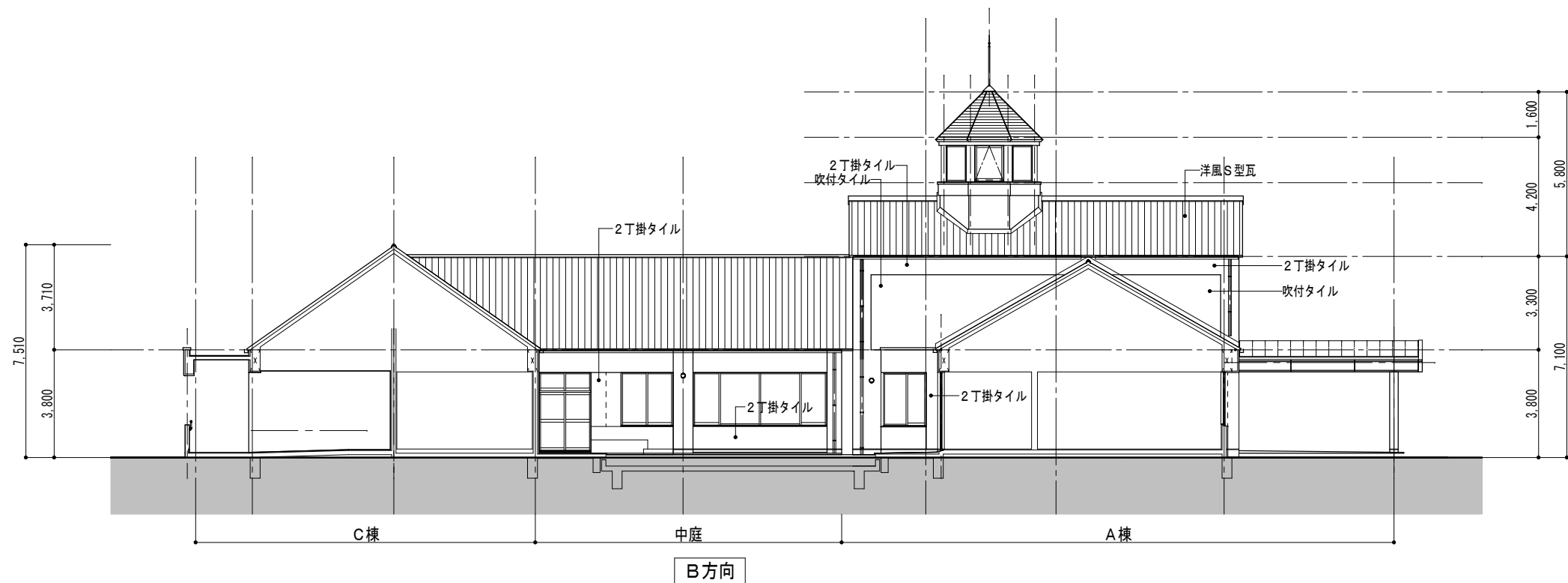
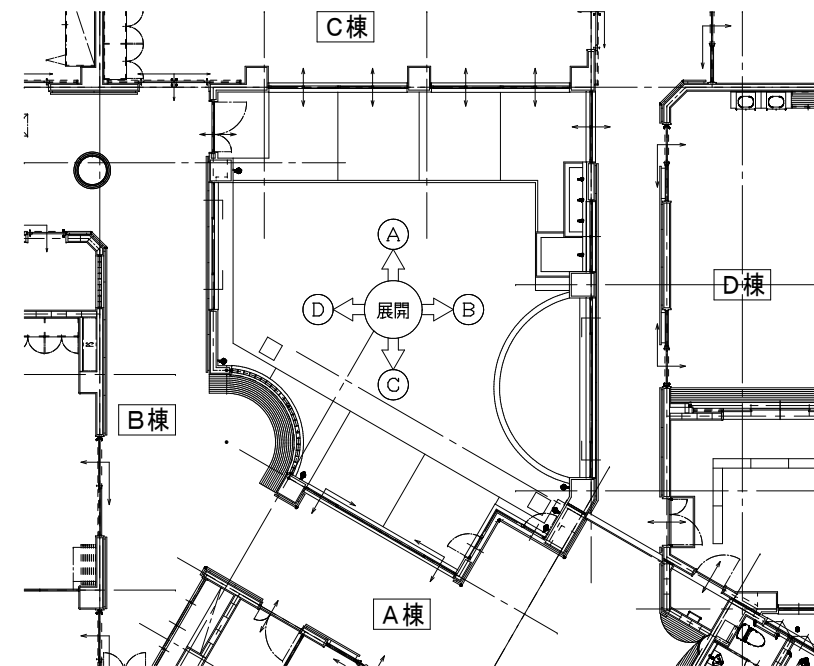
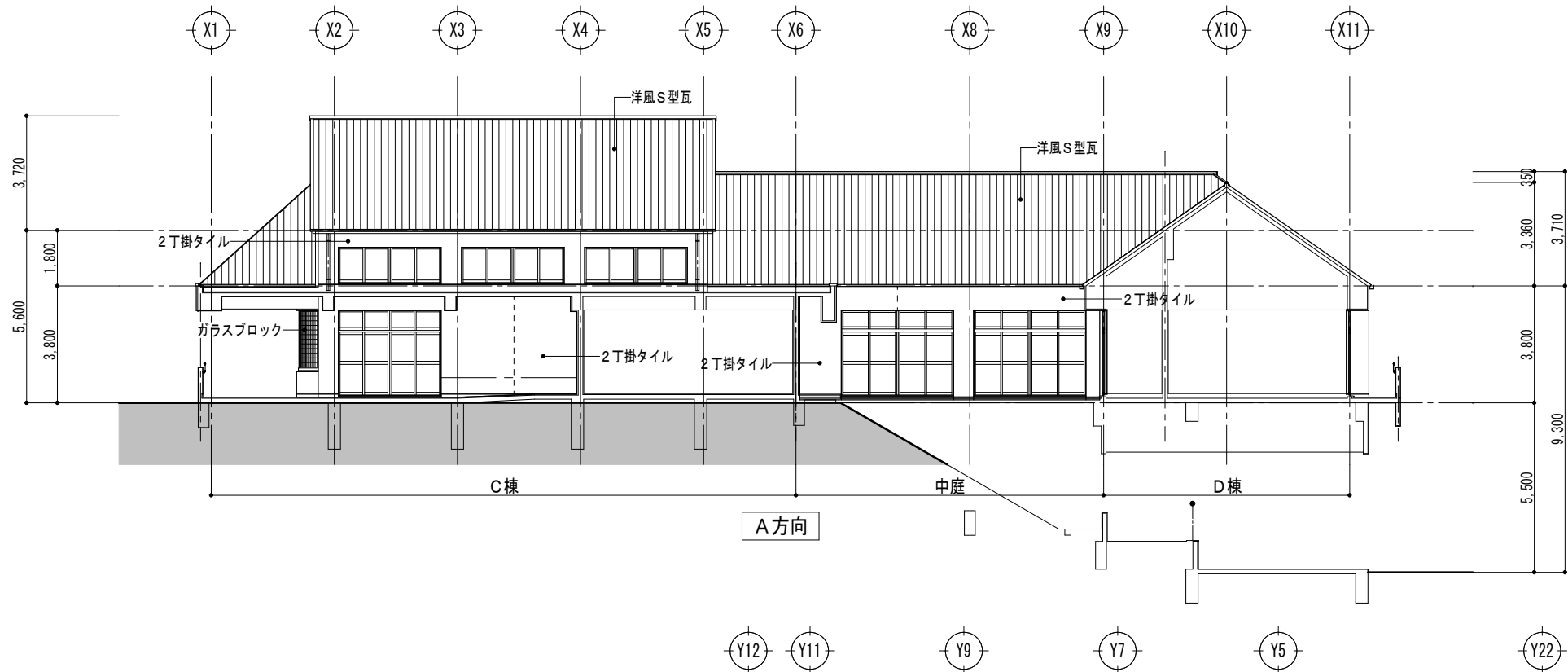
東側_建物立面図 (S=1/200)



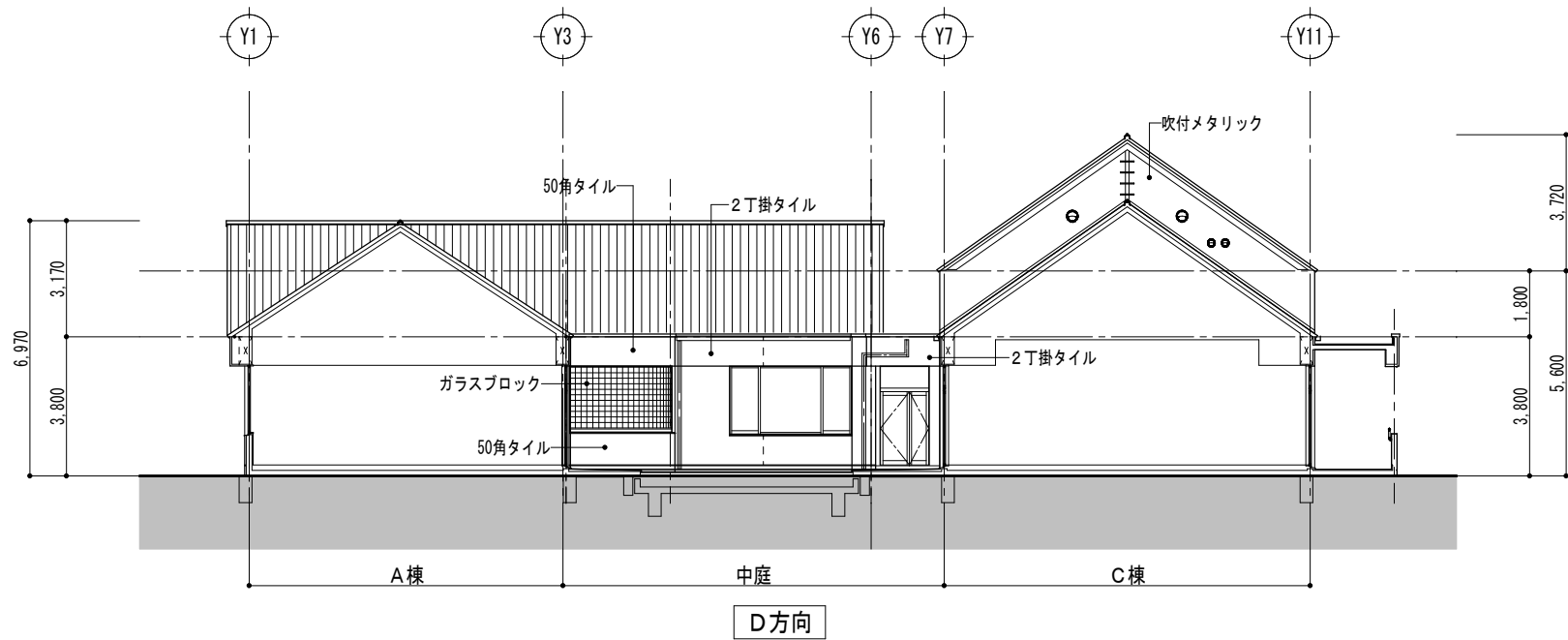
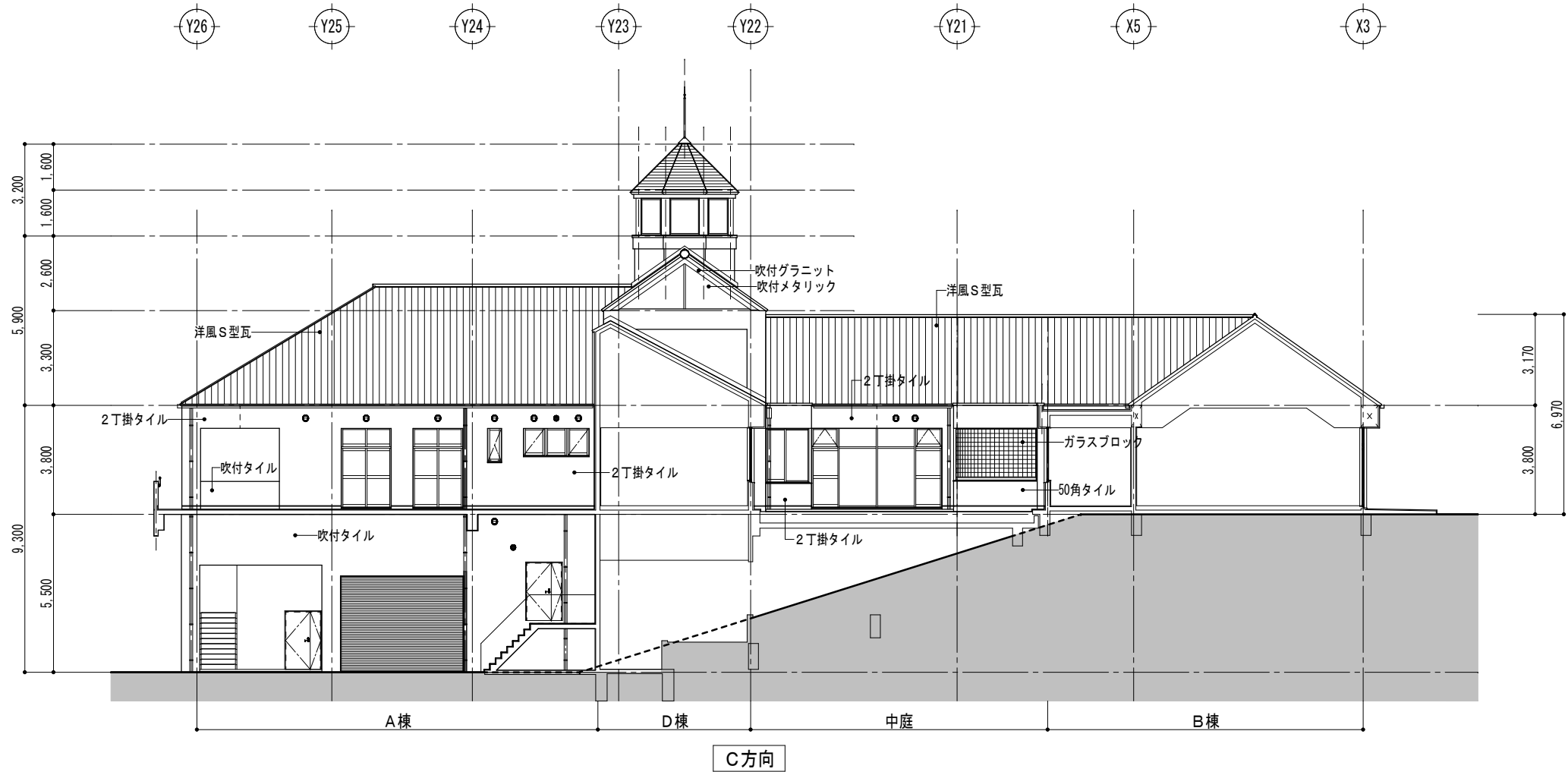
Architectural elevation drawing of a building facade, showing a cross-section with a central tower and multiple levels. The drawing includes labels for materials like "洋風S型瓦" (Western-style S-shaped tiles), "吹付グラニト" (Applied Granite), and "2丁掛タイル" (2-bay hanging tiles). It also features a height scale on the right side, ranging from 0 to 13,158, and a 150-degree angle indicator at the bottom left.

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

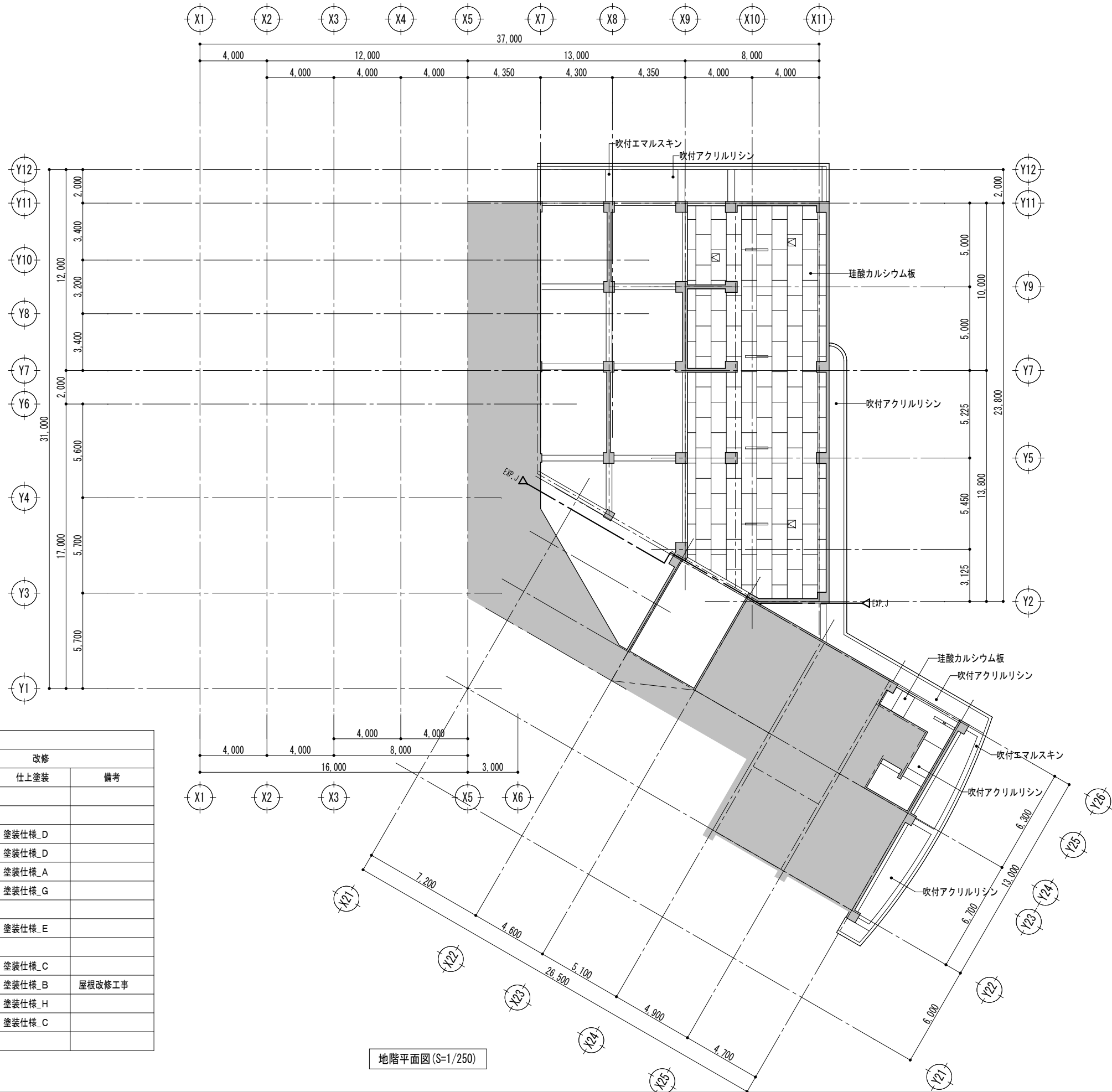
図面番号 B-22



外装改修仕上一覧表			
現況	改修		
仕上種	外壁防水	仕上塗装	備考
2丁掛タイル	外壁仕様_A		
50角タイル	外壁仕様_A		
吹付タイル		塗装仕様_D	
吹付メタリック		塗装仕様_D	
吹付グラニット		塗装仕様_A	
吹付アクリルリシン		塗装仕様_G	
モルタル塗		塗装仕様_E	
ガラスブロック	外壁仕様_A		
フッ素樹脂銅板		塗装仕様_C	
化粧石綿セメント板		塗装仕様_B	屋根改修工事
珪酸カルシウム板		塗装仕様_H	
アルミ製スパンドレル		塗装仕様_C	

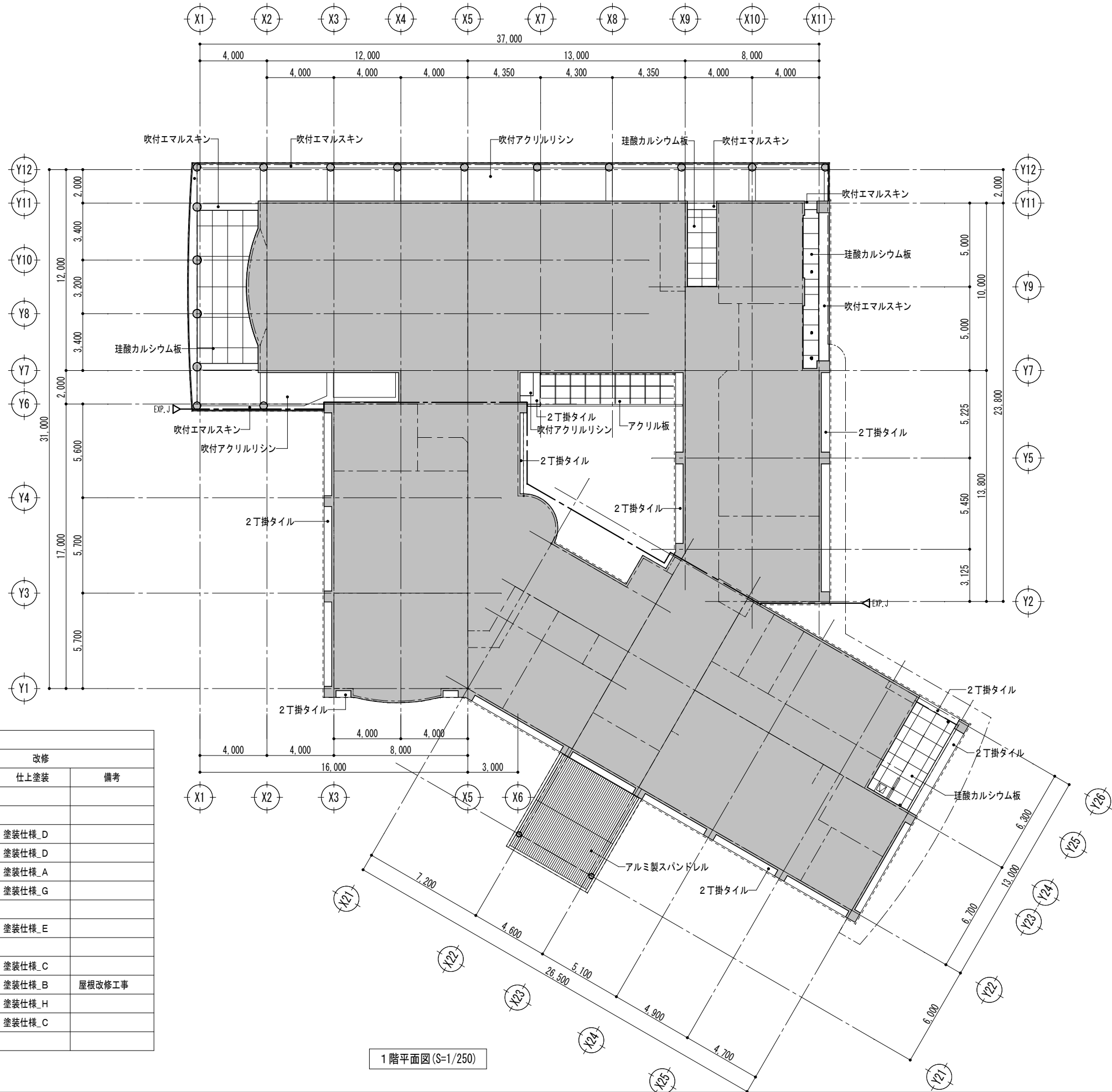


外装改修仕上一覧表			
現況	改修		
仕上種	外壁防水	仕上塗装	備考
2丁掛タイル	外壁仕様_A		
50角タイル	外壁仕様_A		
吹付タイル		塗装仕様_D	
吹付メタリック		塗装仕様_D	
吹付グラニット		塗装仕様_A	
吹付アクリルリシン		塗装仕様_G	
モルタル塗		塗装仕様_E	
ガラスブロック	外壁仕様_A		
フッ素樹脂銅板		塗装仕様_C	
化粧石綿セメント板		塗装仕様_B	屋根改修工事
珪酸カルシウム板		塗装仕様_H	
アルミ製スパンドレル		塗装仕様_C	

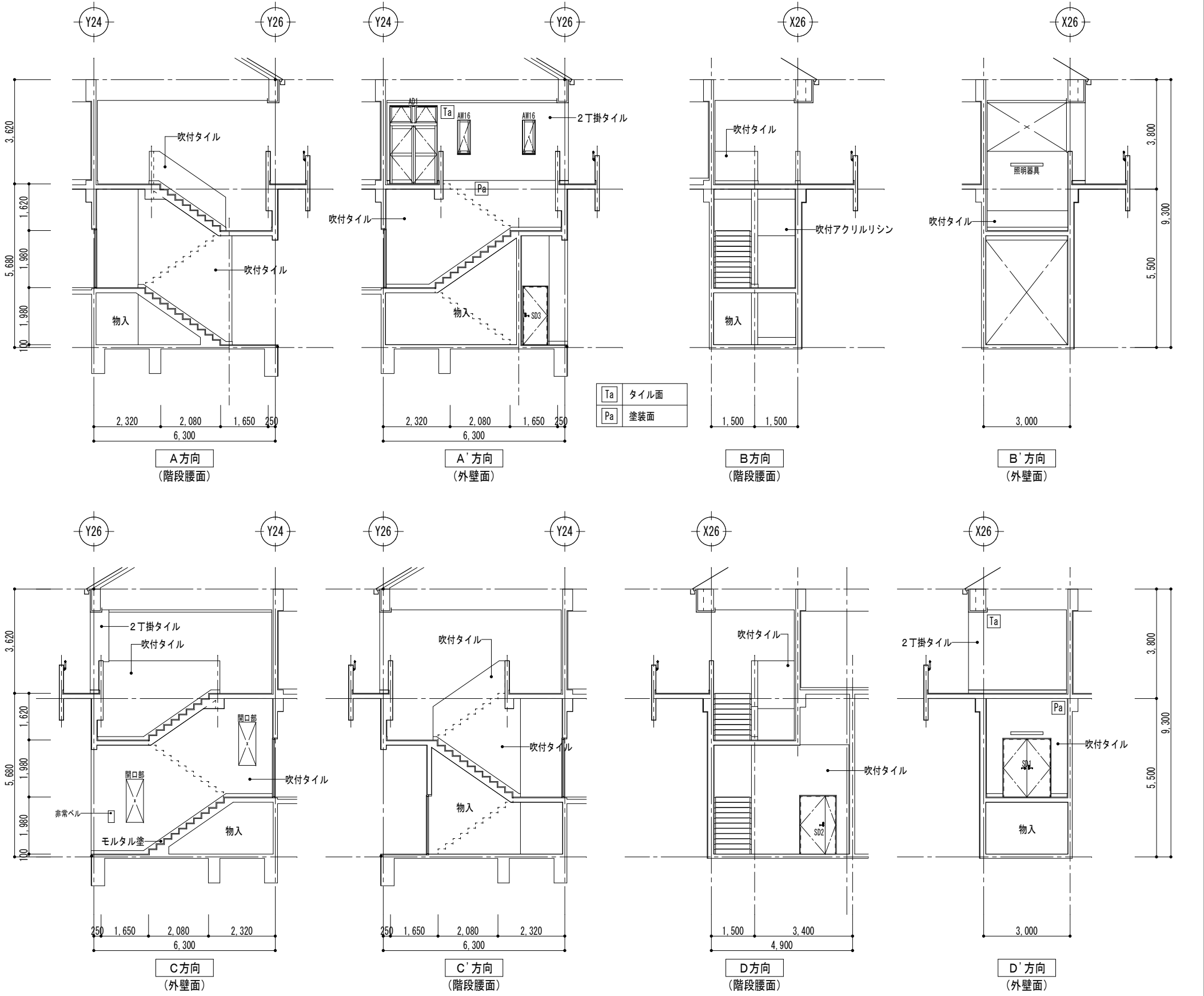
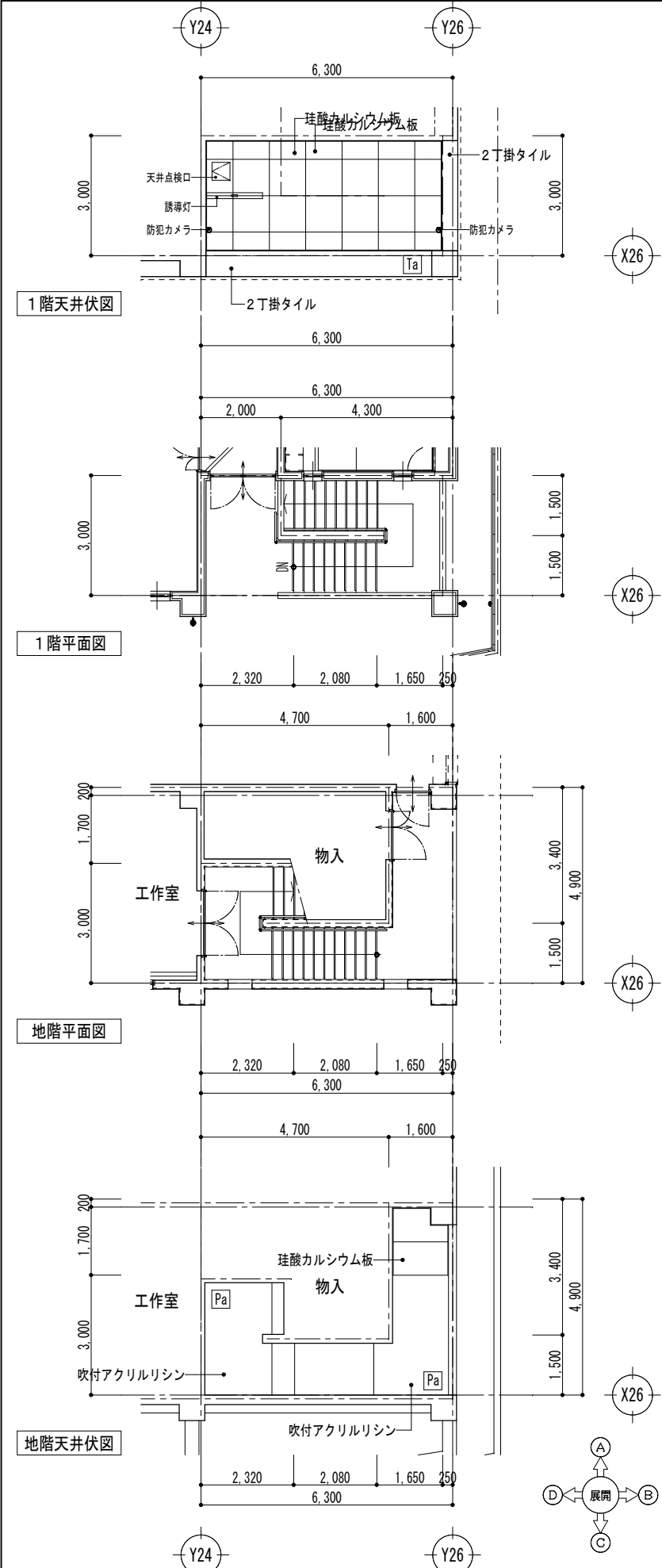


外装改修仕上一覧表			
現況	改修		
仕上種	外壁防水	仕上塗装	備考
2丁掛タイル	外壁仕様_A		
50角タイル	外壁仕様_A		
吹付タイル		塗装仕様_D	
吹付メタリック		塗装仕様_D	
吹付グラニット		塗装仕様_A	
吹付アクリルリシン		塗装仕様_G	
モルタル塗		塗装仕様_E	
ガラスブロック	外壁仕様_A		
フッ素樹脂銅板		塗装仕様_C	
化粧石綿セメント板		塗装仕様_B	屋根改修工事
珪酸カルシウム板		塗装仕様_H	
アルミ製スパンドレル		塗装仕様_C	

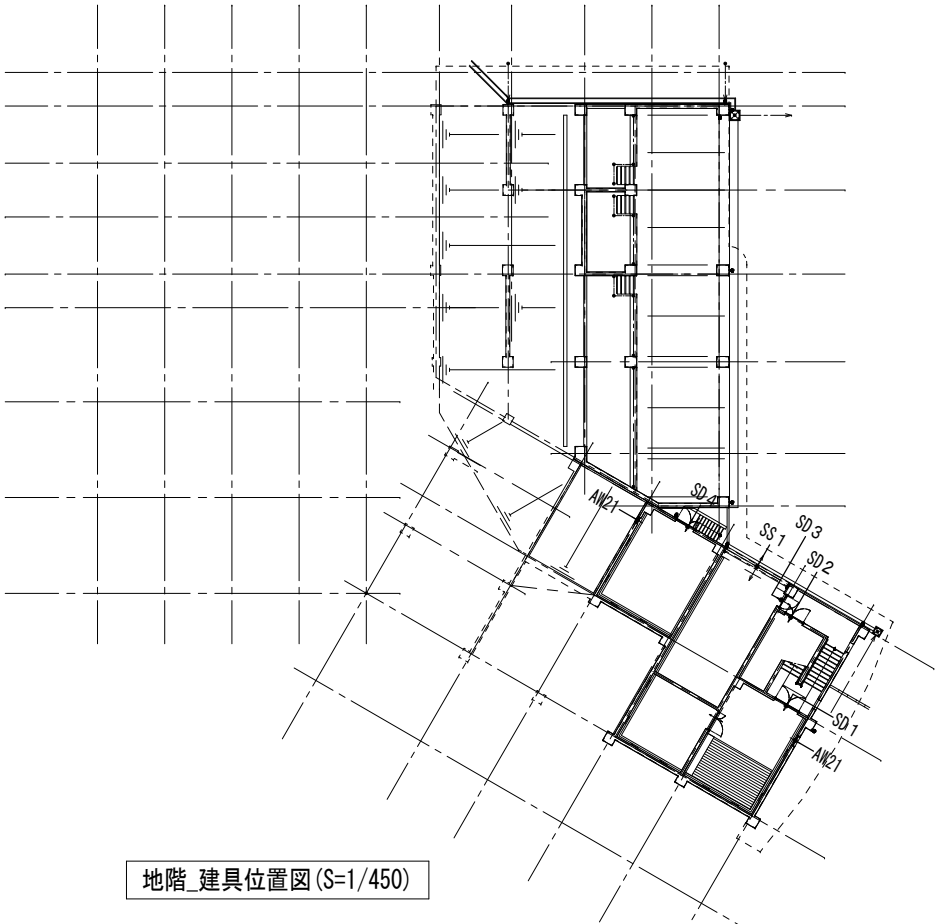
地階平面図 (S=1/250)



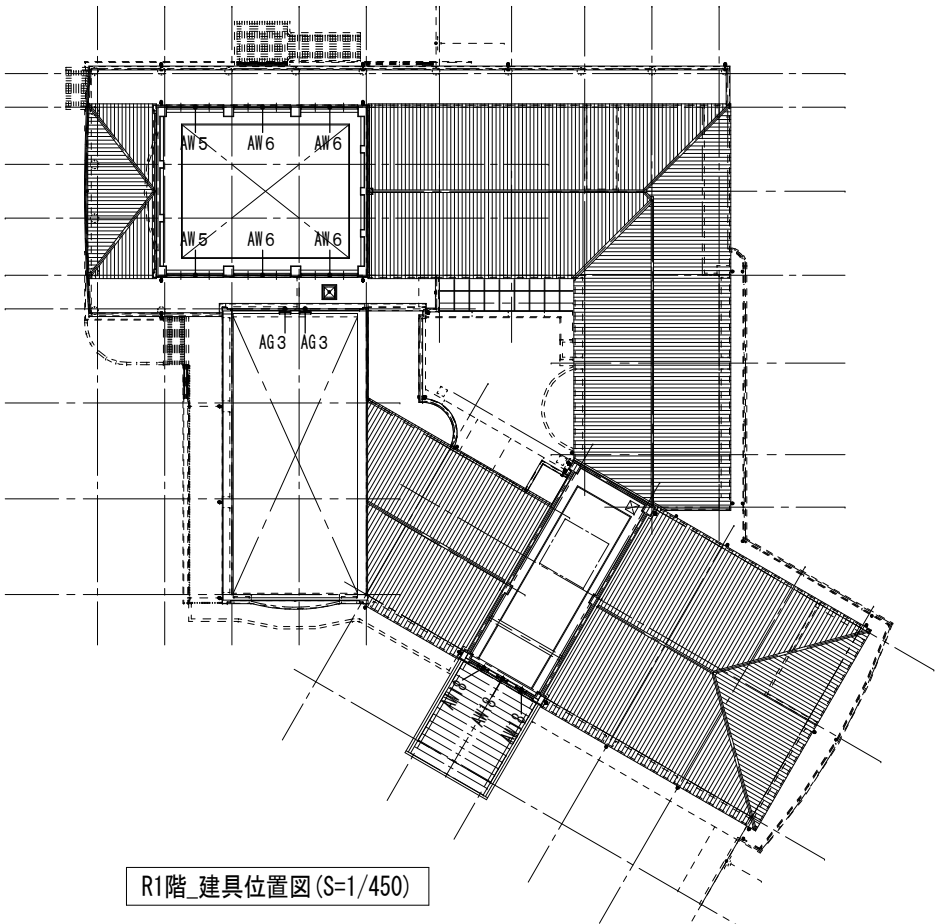
外装改修仕上一覧表			
現況	改修		
仕上種	外壁防水	仕上塗装	備考
2丁掛タイル	外壁仕様_A		
50角タイル	外壁仕様_A		
吹付タイル		塗装仕様_D	
吹付メタリック		塗装仕様_D	
吹付グラニット		塗装仕様_A	
吹付アクリルリシン		塗装仕様_G	
モルタル塗		塗装仕様_E	
ガラスブロック	外壁仕様_A		
フッ素樹脂銅板		塗装仕様_C	
化粧石綿セメント板		塗装仕様_B	屋根改修工事
珪酸カルシウム板		塗装仕様_H	
アルミ製スパンデレル		塗装仕様_C	



外装改修仕上一覧表			
仕上種	外壁防水	仕上塗装	特記事項
2丁掛タイル	外壁仕様_A		
吹付タイル		塗装仕様_D	
吹付アクリルリシン		塗装仕様_G	
モルタル塗		塗装仕様_E	
珪酸カルシウム板		塗装仕様_H	

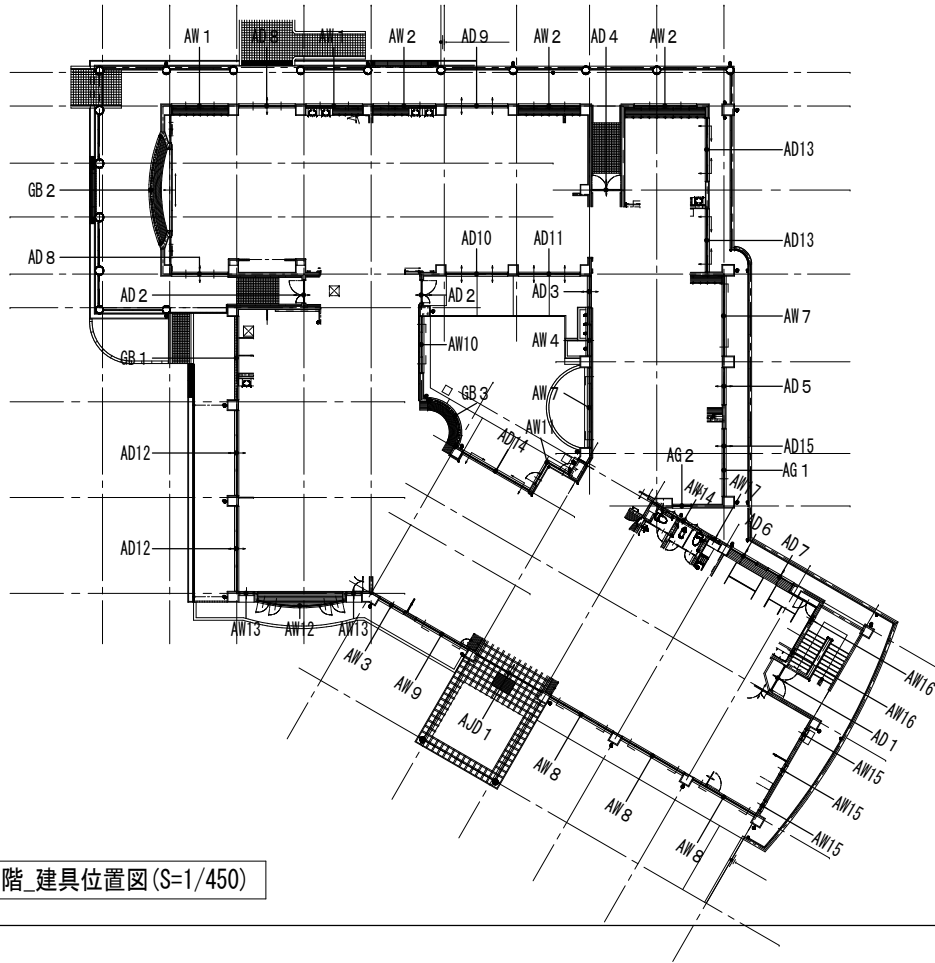


地階_建具位置図 (S=1/450)

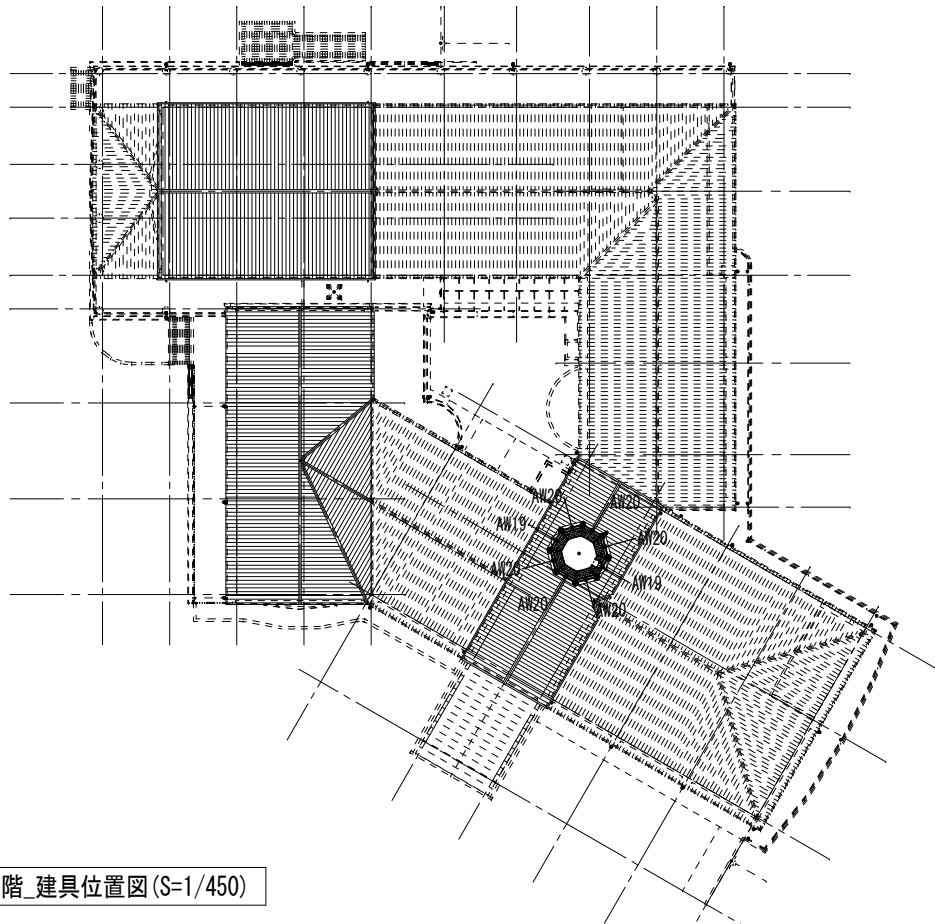


R1階_建具位置図 (S=1/450)

建具寸法一覧表			
符号	寸法	数量	特記事項
AJD_ 1	4,320×2,690	1	—
AD_ 1	1,620×2,690	1	排煙窓付
2	1,320×2,690	2	—
3	1,820×2,690	1	—
4	1,720×2,690	1	—
5	2,170×2,690	1	—
6	1,720×2,690	1	—
7	1,720×2,690	1	排煙窓付
8	3,320×2,690	2	—
9	3,620×2,690	1	排煙窓付
10	3,620×2,690	1	—
11	3,670×2,690	1	—
12	5,020×2,690	2	排煙窓付
13	3,720×2,690	2	—
14	4,520×2,690	1	排煙窓付
15	3,970×2,720	1	—
AW_ 1	3,320×1,800	2	—
2	3,670×1,800	3	—
3	1,670×1,800	1	—
4	1,820×1,800	1	—
5	3,320×1,090	2	排煙窓付
6	3,320×1,090	4	—
7	4,720×1,800	2	—
8	4,220×1,800	3	—
9	3,570×1,800	1	—
10	3,320×1,800	1	—
11	2,920×1,800	1	L型窓
12	5,020×1,800	1	曲面 (r=10,000)
13	870×1,800	2	—
14	2,270× 890	1	—
15	620×1,100	3	—
16	420×1,100	2	—
17	470×1,100	1	—
18	620×1,000	3	排煙窓付
19	920×1,200	2	排煙窓付
20	920×1,200	6	—
21	600×1,500	2	—
AG_ 1	1,520× 600	1	—
2	1,050×1,050	1	—
3	600× 700	2	—
GB_ 1	4,950×1,840	1	—
2	6,458×2,000	1	曲面 (r=9,000)
3	3,720×1,840	1	曲面 (r=1,900)
SS_ 1	4,240×3,270	1	—
SD_ 1	1,600×2,000	1	特定防火設備
2	1,200×2,000	1	特定防火設備
3	800×2,000	1	特定防火設備
4	1,200×2,000	1	—



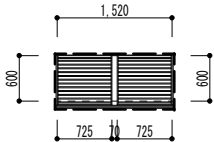
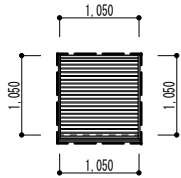
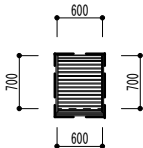
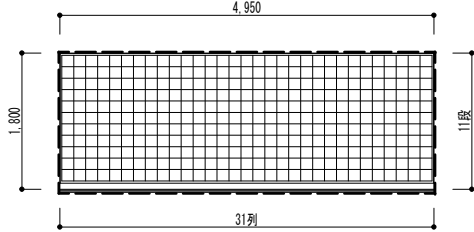
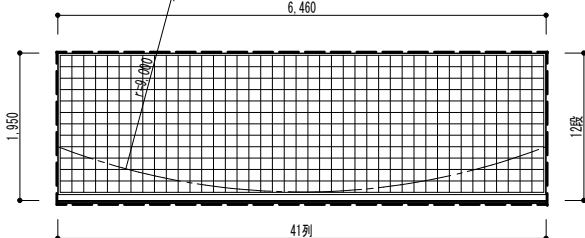
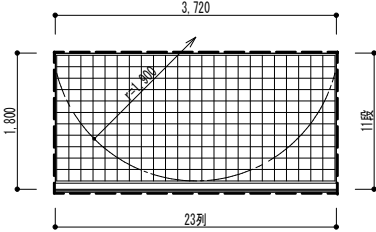
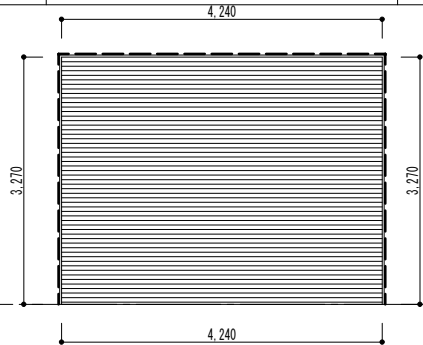
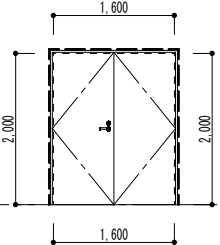
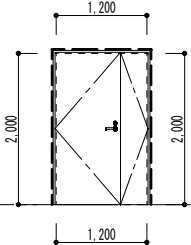
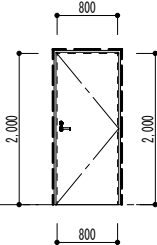
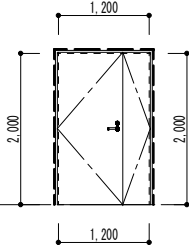
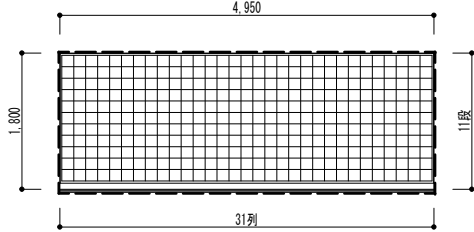
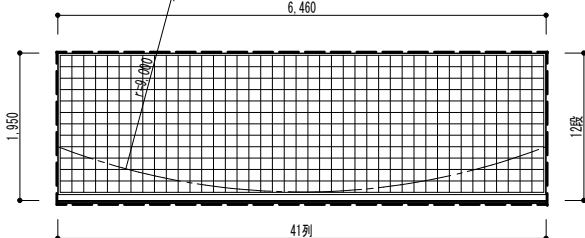
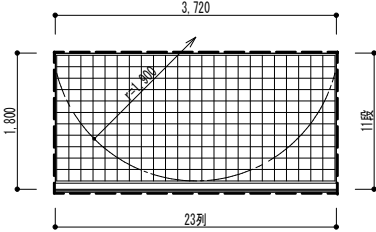
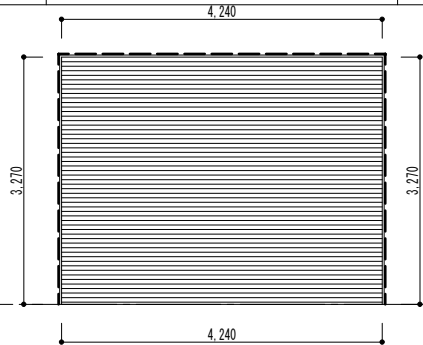
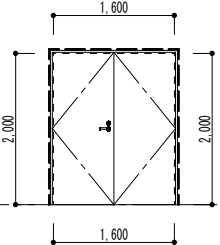
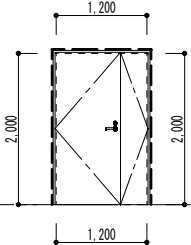
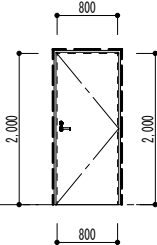
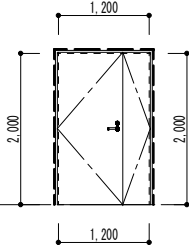
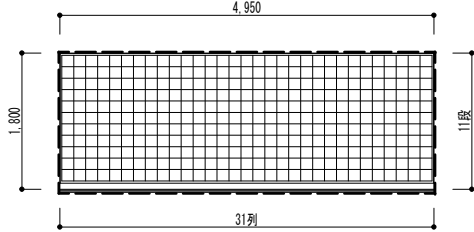
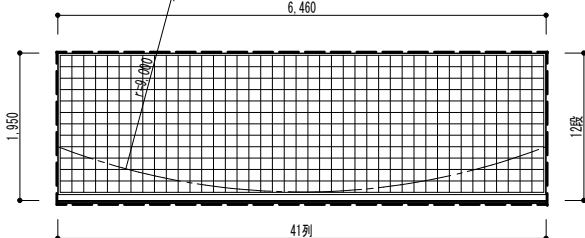
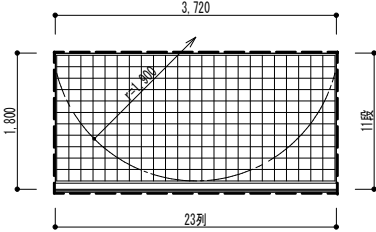
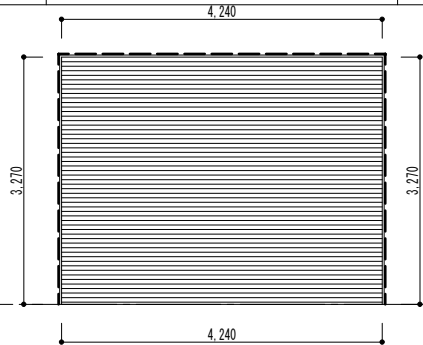
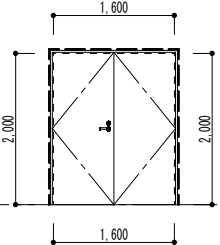
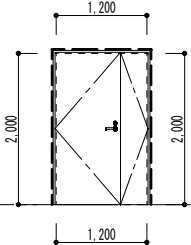
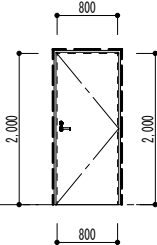
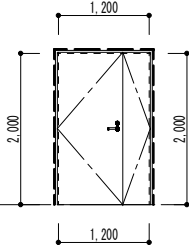
1階_建具位置図 (S=1/450)

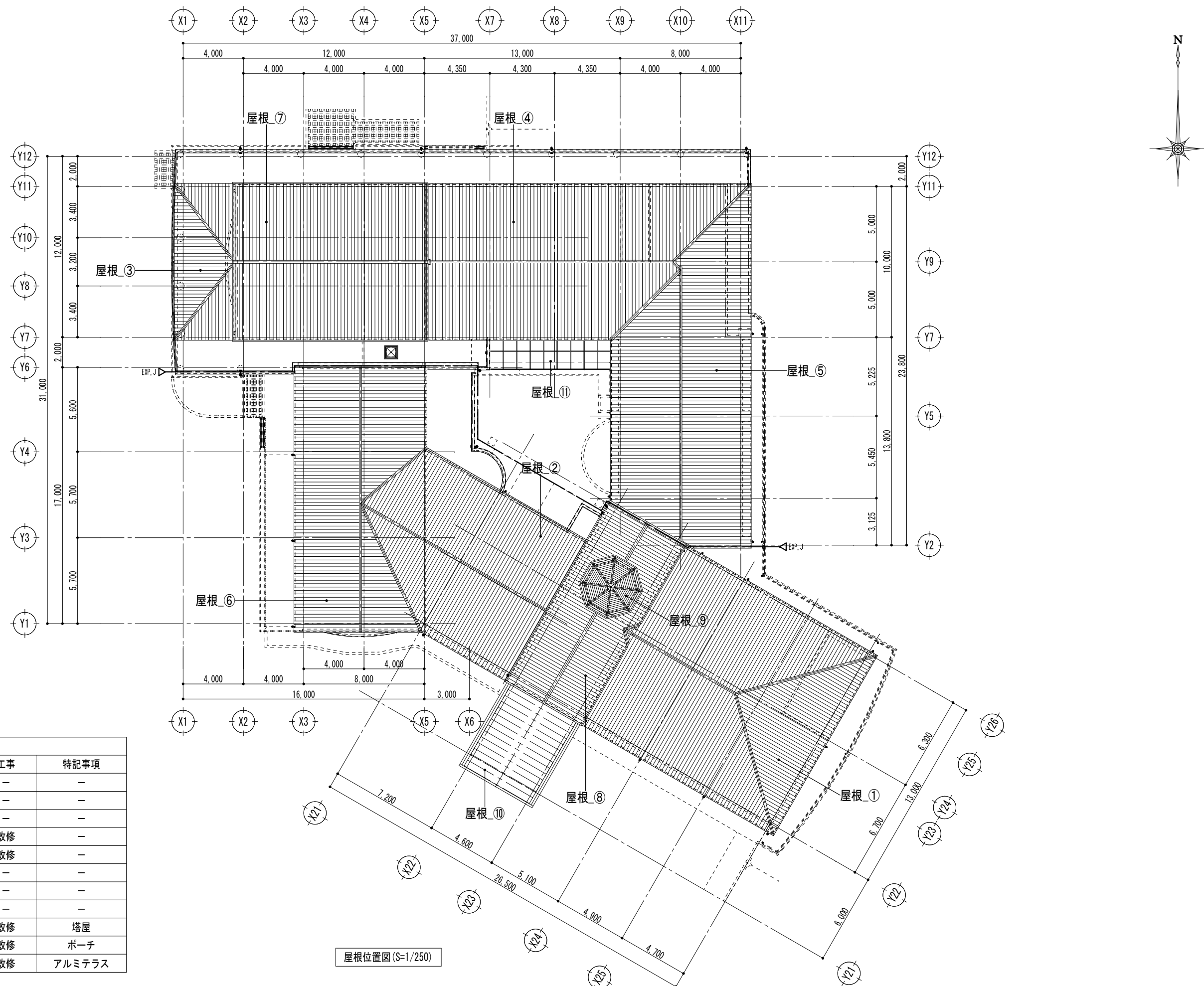


R2階_建具位置図 (S=1/450)

番号	形式・種類	数量	1	1	1																					
符号	建具寸法	—	AJD	4,320×2,690	改修																					
A：アルミ製 S：スチール製 LS：軽量スチール製 Su：ステンレス製 W：木製 W：窓 D：戸 G：ガラリ S：シャッター F：三方枠 JD：自動 外観姿図 SG：透明ガラス FG：型板ガラス TG：強化ガラス PG：ペアガラス PSG：磨きガラス ALP：アルミパネル PWG：磨き網入ガラス FWG：網入型板ガラス HG：熱線吸収ガラス HWG：熱線吸収線入ガラス CHG：熱線反射ガラス					改修内容（AJD・AD・AWIに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 サッシ3：サッシ周囲-3方 サッシ4：サッシ周囲-4方 水切：水切下部・水切端部																					
ガラス（厚み）		その他		HG5／HG5		タッチ式・エンジンドア																				
特記事項①		特記事項②		—		防改（サッシ3）																				
1	外倒排煙窓付き 両開框戸	1	2	嵌殺窓欄間付き 両開親子戸	2	3	引違窓欄間付き 引違戸	1	4	引違窓欄間付き 両開框戸	1	5	引違窓欄間付き 引違戸	1	6	引違窓欄間付き 引違戸	1									
AD	1,620×2,690	改修	AD	1,320×2,690	改修	AD	1,820×2,690	改修	AD	1,720×2,690	改修	AD	2,170×2,690	改修	AD	1,720×2,690	改修									
PWG6.8／PWG6.8		—		PWG6.8／PWG6.8		—		PWG6.8／PWG6.8		水切		PWG6.8／FL5		水切		PWG6.8／FL5		水切								
排煙オペレーター		防改（サッシ3）		—		防改（サッシ3）		—		防改（サッシ4・水切）		—		防改（サッシ3）		—		防改（サッシ4・水切）								
7	引違窓欄間付き 引違戸	1	8	引違窓欄間付き 4枚引違戸	2	9	引違窓欄間付き 2連引違戸	1	10	引違窓欄間付き 2連引違戸	1	11	引違窓欄間付き 2連引違戸	1	12	引違窓欄間・嵌殺窓両袖付き 引違戸	2									
AD	1,720×2,690	改修	AD	3,320×2,690	改修	AD	3,620×2,690	改修	AD	3,620×2,690	改修	AD	3,670×2,690	改修	AD	5,020×2,690	改修									
PWG6.8／FL5		水切		PWG6.8／FL5		水切		PWG6.8／FL5		水切		PWG6.8／FL5		水切		PWG6.8／FL5		水切								
排煙オペレーター		防改（サッシ4・水切）		—		防改（サッシ4・水切）		排煙オペレーター		防改（サッシ4・水切）		—		防改（サッシ4・水切）		排煙オペレーター		防改（サッシ4・水切）								
13	嵌殺窓欄間・嵌殺窓両袖付き 引違戸	2	14	外倒窓欄間・嵌殺窓付き 片引戸	1	15	引違窓付き 引違戸	1																		
AD	3,720×2,690	改修	AD	4,520×2,690	改修	AD	3,970×2,720	改修																		
PWG6.8／FL5		水切		PWG6.8／FL5		FL5		換気ガラリ、水切																		
—		防改（サッシ4・水切）		排煙オペレーター		—		防改（サッシ4・水切）																		
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園					設 計 者					法適合確認欄		検 証 者		工事名 令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事				縮尺 S=1/100		図面サイズ A3版(100%)						
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671														図 名 [改修] 建具リスト表（1）				日付 令和 年 月 日		図面番号 B-29						

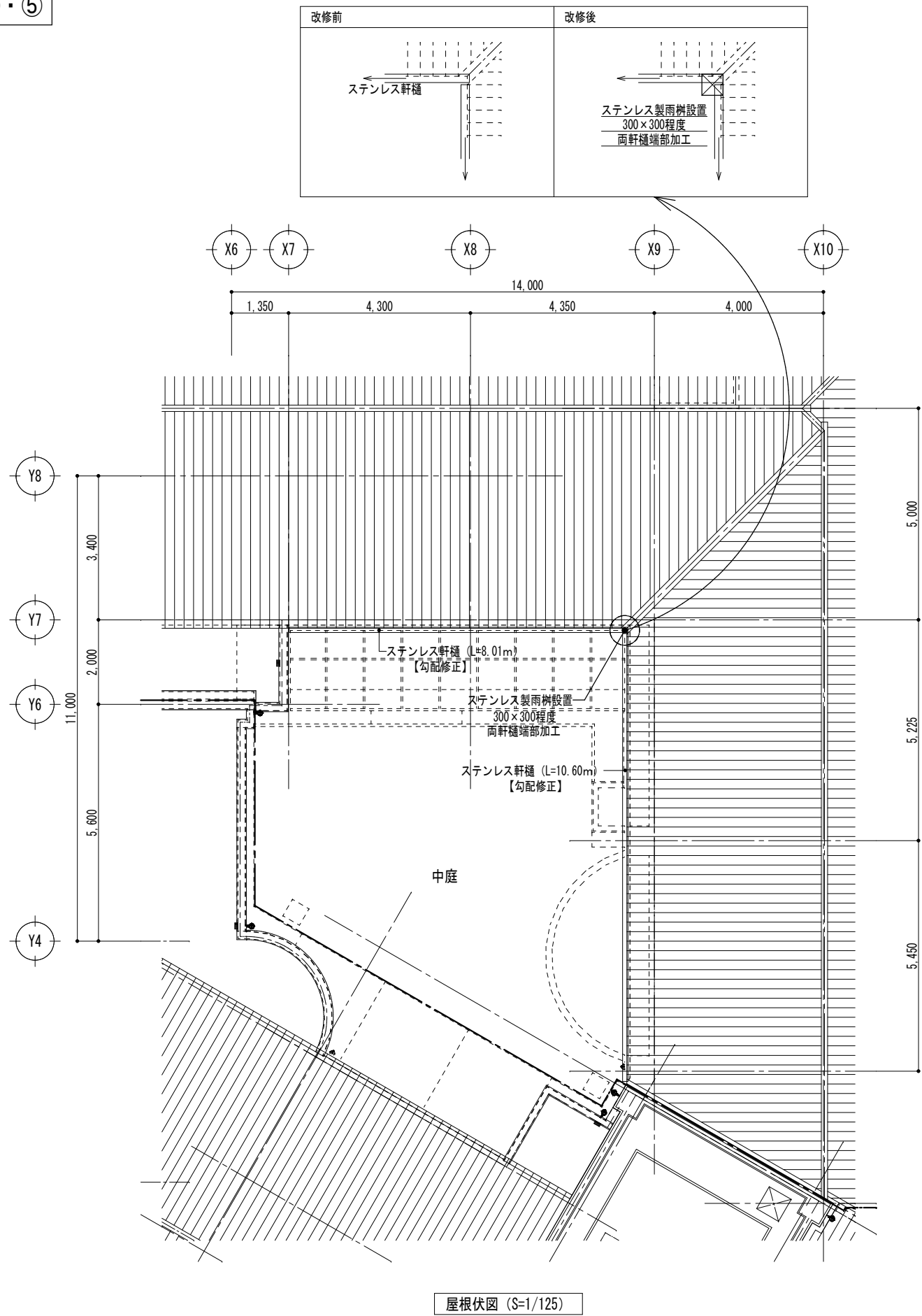
番号	形式・種類	数量	1	2連引違戸	2	2	2連引違戸	3	3	引違窓	1	4	引違窓	1	5	2連引違窓	2
符号	建具寸法	－	AW	3,320×1,800	改修	AW	3,670×1,800	改修	AW	1,670×1,800	改修	AW	1,820×1,800	改修	AW	3,320×1,090	改修
A：アルミ製 S：スチール製 LS：軽量スチール製 Su：ステンレス製 W：木製 W：窓 D：戸 G：ガラリ S：シャッター F：三方枠 JD：自動 外観姿図 SG：透明ガラス FG：型板ガラス TG：強化ガラス PG：ペアガラス PSG：磨きガラス ALP：アルミパネル PWG：磨き網入ガラス FWG：網入型板ガラス HG：熱線吸収ガラス HWG：熱線吸収線入ガラス CHG：熱線反射ガラス																	
ガラス（厚み）		その他		F L 5	水切	F L 5	水切	F L 5	水切	F L 5	水切	F L 5	水切	F L 5	水切	F L 5	水切
特記事項①		特記事項②		－	防改（サッシ4・水切）	－	防改（サッシ4・水切）	－	防改（サッシ4・水切）	－	防改（サッシ4・水切）	－	防改（サッシ4・水切）	－	防改（サッシ4・水切）	排煙オペレーター	防改（サッシ4・水切）
6	2連引違窓	4	7	嵌殺窓付 片引窓	2	8	嵌殺窓付 片引窓	3	9	嵌殺窓付 片引窓	1	10	嵌殺窓付 片引窓	1	11	嵌殺窓付 片開窓	1
AW	3,320×1,090	改修	AW	4,720×1,800	改修	AW	4,220×1,800	改修	AW	3,570×1,800	改修	AW	3,320×1,800	改修	AW	2,920×1,800	改修
F L 5		水切	F L 5		水切	H G 5		水切	H G 5		水切	F L 5		水切	F L 5		水切
－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	L型窓		防改（サッシ4・水切）
12	嵌殺窓付 片開窓	1	13	縦軸回転窓	2	14	3連横込出窓	1	15	縦込出窓	3	16	縦込出窓	2	17	縦込出窓	1
AW	5,020×1,800	改修	AW	870×1,800	改修	AW	2,270×890	改修	AW	620×1,100	改修	AW	420×1,100	改修	AW	470×1,100	改修
H G 5		水切	F L 5		水切	F 4		水切	F 4		水切	F 4		水切	F 4		水切
r=10,000		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）
18	突出し窓	3	19	横軸回転窓	2	20	嵌殺窓	6	21	ガラリ欄間付 込出窓	2						
AW	600×1,000	改修	AW	920×1,200	改修	AW	920×1,200	改修	AW	600×1,500	改修						
															改修内容（A・J・D・A・D・A・Wに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 サッシ3：サッシ周囲-3方 サッシ4：サッシ周囲-4方 水切：水切下部・水切端部		
PWG 6.8		水切	PWG 6.8		水切	PWG 6.8		水切	FWG 6.8		水切						
3連排煙オペレーター		防改（サッシ4・水切）	排煙オペレーター		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）	－		防改（サッシ4・水切）						
北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園			設 計 者			法適合確認欄			検 証 者		工事名 令和7年度 北播磨子ども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事			縮尺 S=1/100		図面サイズ A3版(100%)	
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671											図 名 [改修] 建具リスト表（2）			日付 令和 年 月 日		図面番号 B-30	

番号	形式・種類	数量	1	2連可動ガラリ	1	2	固定ガラリ	1	3	固定ガラリ	2																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
符号	建具寸法	—	AG	1,520×600	改修	AG	1,050×1,050	改修	AG	600×700	改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
A：アルミ製 S：スチール製 LS：軽量スチール製 Su：ステンレス製 W：木製 W：窓 D：戸 G：ガラリ S：シャッター F：三方枠 JD：自動 外観姿図 SG：透明ガラス FG：型板ガラス TG：強化ガラス PG：ペアガラス PSG：磨きガラス ALP：アルミパネル PWG：磨き網入ガラス FWG：網入型板ガラス HG：熱線吸収ガラス HWG：熱線吸収線入ガラス CHG：熱線反射ガラス    改修内容（AGに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 サッシ3：サッシ周囲-3方 サッシ4：サッシ周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・塗装仕様_C（仕上塗装・下地調整共） <tr><td colspan="2">ガラス（厚み）</td><td>その他</td><td>—</td><td>水切</td><td>—</td><td>水切</td><td>—</td><td>水切</td><td>—</td><td>水切</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">特記事項①</td><td>特記事項②</td><td>防改（サッシ4・水切）</td><td>塗装（片面・建具枠）</td><td>防改（サッシ4・水切）</td><td>塗装（片面・建具枠）</td><td>防改（サッシ4・水切）</td><td>塗装（片面・建具枠）</td><td>防改（サッシ4・水切）</td><td>塗装（片面・建具枠）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>嵌殺窓（ガラスブロック）</td><td>1</td><td>2</td><td>嵌殺窓（ガラスブロック）</td><td>1</td><td>3</td><td>嵌殺窓（ガラスブロック）</td><td>1</td><td>GB</td><td>4,950×1,800</td><td>改修</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>GB</td><td>4,950×1,800</td><td>改修</td><td>GB</td><td>6,460×1,950</td><td>改修</td><td>GB</td><td>3,720×1,800</td><td>改修</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"> 改修内容（GBに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 サッシ3：サッシ周囲-3方 サッシ4：サッシ周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・外壁仕様_A（上塗・中塗・下塗共） </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">190×150×95</td><td>水切</td><td>150×150×95（r=9,000）</td><td>水切</td><td>—</td><td>—</td><td>150×150×95（r=1,900）</td><td>水切</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">防改（サッシ4・水切）</td><td>塗装（ガラスブロック面）</td><td>—</td><td>—</td><td>防改（サッシ4・水切）</td><td>塗装（ガラスブロック面）</td><td>防改（サッシ4・水切）</td><td>塗装（ガラスブロック面）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>シャッター（電動）</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>SS</td><td>4,240×3,270</td><td>改修</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"> 改修内容（SSに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 建具枠3：建具枠周囲-3方 建具枠4：建具枠周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・塗装仕様_C（仕上塗装・下地調整共） </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">スラット（t=1.0mm）</td><td>シャッターケース付</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">防改（建具枠3）</td><td>塗装（スラット両面・枠）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>1</td><td>両開戸</td><td>1</td><td>2</td><td>親子戸</td><td>1</td><td>3</td><td>片開戸</td><td>1</td><td>4</td><td>親子戸</td><td>1</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>SD</td><td>1,600×2,000</td><td>改修</td><td>SD</td><td>1,200×2,000</td><td>改修</td><td>SD</td><td>800×2,000</td><td>改修</td><td>SD</td><td>1,200×2,000</td><td>改修</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"> 改修内容（SDに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 建具枠3：建具枠周囲-3方 建具枠4：建具枠周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・塗装仕様_C（仕上塗装・下地調整共） 扉-両面：扉外面・内面共 扉-片面：扉外面 建具枠：建具枠（3方・4方） </td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td colspan="3"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">—</td><td>特定防火設備</td><td>—</td><td>特定防火設備</td><td>—</td><td>特定防火設備</td><td>FWG6.8</td><td>—</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="2">防改（建具枠3）</td><td>塗装（扉-両面・建具枠）</td><td>防改（建具枠3）</td><td>塗装（扉-両面・建具枠）</td><td>防改（建具枠3）</td><td>塗装（扉-両面・建具枠）</td><td>防改（建具枠3）</td><td>塗装（扉-両面・建具枠）</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td colspan="4">北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園</td><td colspan="4">設計者</td><td>法適合確認欄</td><td>検証者</td><td>工事名</td><td colspan="4">令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事</td><td>縮尺</td><td>S=1/100</td><td>図面サイズ</td><td>A3版(100%)</td></tr> <tr><td colspan="4">〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>図名</td><td colspan="4">[改修] 建具リスト表（3）</td><td>日付</td><td>令和 年 月 日</td><td>図面番号</td><td>B-31</td></tr>			ガラス（厚み）		その他	—	水切	—	水切	—	水切	—	水切								特記事項①		特記事項②	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）								1	嵌殺窓（ガラスブロック）	1	2	嵌殺窓（ガラスブロック）	1	3	嵌殺窓（ガラスブロック）	1	GB	4,950×1,800	改修							GB	4,950×1,800	改修	GB	6,460×1,950	改修	GB	3,720×1,800	改修																			改修内容（GBに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 サッシ3：サッシ周囲-3方 サッシ4：サッシ周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・外壁仕様_A（上塗・中塗・下塗共）																												190×150×95		水切	150×150×95（r=9,000）	水切	—	—	150×150×95（r=1,900）	水切										防改（サッシ4・水切）		塗装（ガラスブロック面）	—	—	防改（サッシ4・水切）	塗装（ガラスブロック面）	防改（サッシ4・水切）	塗装（ガラスブロック面）										1	シャッター（電動）	1																SS	4,240×3,270	改修																									改修内容（SSに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 建具枠3：建具枠周囲-3方 建具枠4：建具枠周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・塗装仕様_C（仕上塗装・下地調整共）																												スラット（t=1.0mm）		シャッターケース付																防改（建具枠3）		塗装（スラット両面・枠）																1	両開戸	1	2	親子戸	1	3	片開戸	1	4	親子戸	1							SD	1,600×2,000	改修	SD	1,200×2,000	改修	SD	800×2,000	改修	SD	1,200×2,000	改修																			改修内容（SDに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 建具枠3：建具枠周囲-3方 建具枠4：建具枠周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・塗装仕様_C（仕上塗装・下地調整共） 扉-両面：扉外面・内面共 扉-片面：扉外面 建具枠：建具枠（3方・4方）																												—		特定防火設備	—	特定防火設備	—	特定防火設備	FWG6.8	—										防改（建具枠3）		塗装（扉-両面・建具枠）	防改（建具枠3）	塗装（扉-両面・建具枠）	防改（建具枠3）	塗装（扉-両面・建具枠）	防改（建具枠3）	塗装（扉-両面・建具枠）										北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園				設計者				法適合確認欄	検証者	工事名	令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事				縮尺	S=1/100	図面サイズ	A3版(100%)	〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671										図名	[改修] 建具リスト表（3）				日付	令和 年 月 日	図面番号	B-31
ガラス（厚み）		その他	—	水切	—	水切	—	水切	—	水切																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
特記事項①		特記事項②	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）	防改（サッシ4・水切）	塗装（片面・建具枠）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1	嵌殺窓（ガラスブロック）	1	2	嵌殺窓（ガラスブロック）	1	3	嵌殺窓（ガラスブロック）	1	GB	4,950×1,800	改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
GB	4,950×1,800	改修	GB	6,460×1,950	改修	GB	3,720×1,800	改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
									改修内容（GBに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 サッシ3：サッシ周囲-3方 サッシ4：サッシ周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・外壁仕様_A（上塗・中塗・下塗共）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
190×150×95		水切	150×150×95（r=9,000）	水切	—	—	150×150×95（r=1,900）	水切																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
防改（サッシ4・水切）		塗装（ガラスブロック面）	—	—	防改（サッシ4・水切）	塗装（ガラスブロック面）	防改（サッシ4・水切）	塗装（ガラスブロック面）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
1	シャッター（電動）	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
SS	4,240×3,270	改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
									改修内容（SSに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 建具枠3：建具枠周囲-3方 建具枠4：建具枠周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・塗装仕様_C（仕上塗装・下地調整共）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
スラット（t=1.0mm）		シャッターケース付																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
防改（建具枠3）		塗装（スラット両面・枠）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
1	両開戸	1	2	親子戸	1	3	片開戸	1	4	親子戸	1																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
SD	1,600×2,000	改修	SD	1,200×2,000	改修	SD	800×2,000	改修	SD	1,200×2,000	改修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
												改修内容（SDに適用） ★防改：シーリング改修 ・シーリング再充填工法 凡例 建具枠3：建具枠周囲-3方 建具枠4：建具枠周囲-4方 水切：水切下部・水切端部 ★塗装：塗装改修 ・塗装仕様_C（仕上塗装・下地調整共） 扉-両面：扉外面・内面共 扉-片面：扉外面 建具枠：建具枠（3方・4方）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
—		特定防火設備	—	特定防火設備	—	特定防火設備	FWG6.8	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
防改（建具枠3）		塗装（扉-両面・建具枠）	防改（建具枠3）	塗装（扉-両面・建具枠）	防改（建具枠3）	塗装（扉-両面・建具枠）	防改（建具枠3）	塗装（扉-両面・建具枠）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園				設計者				法適合確認欄	検証者	工事名	令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事				縮尺	S=1/100	図面サイズ	A3版(100%)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671										図名	[改修] 建具リスト表（3）				日付	令和 年 月 日	図面番号	B-31																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				

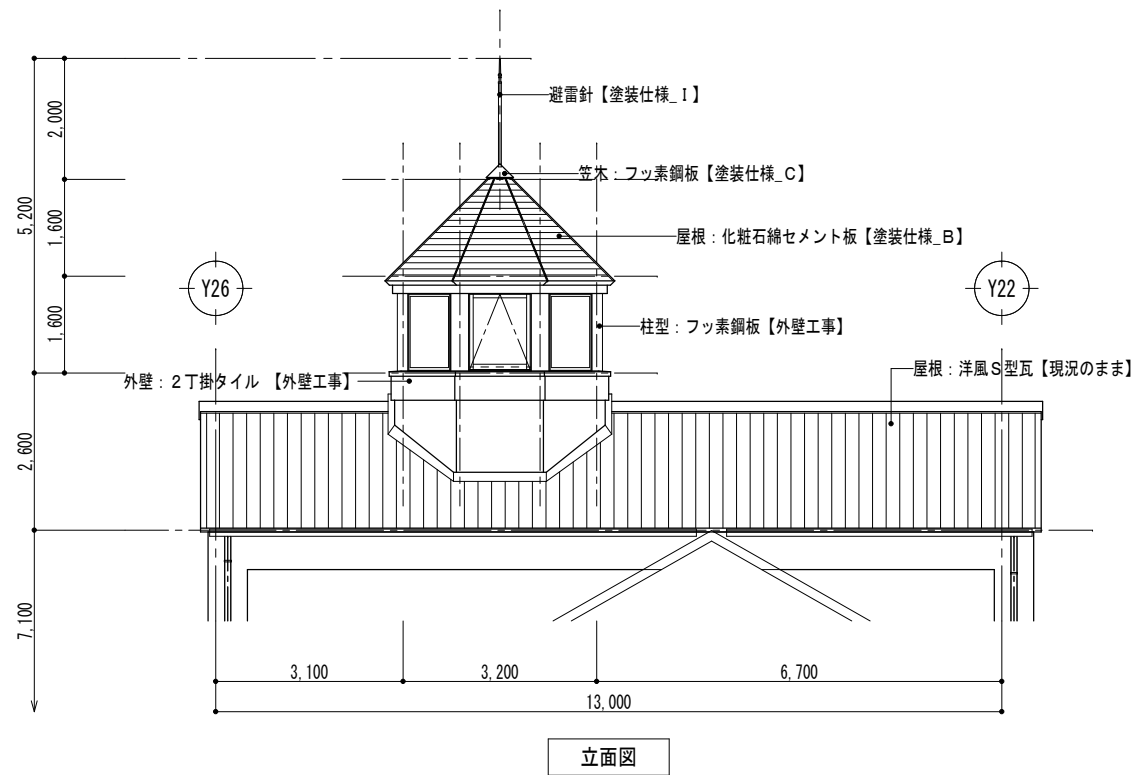
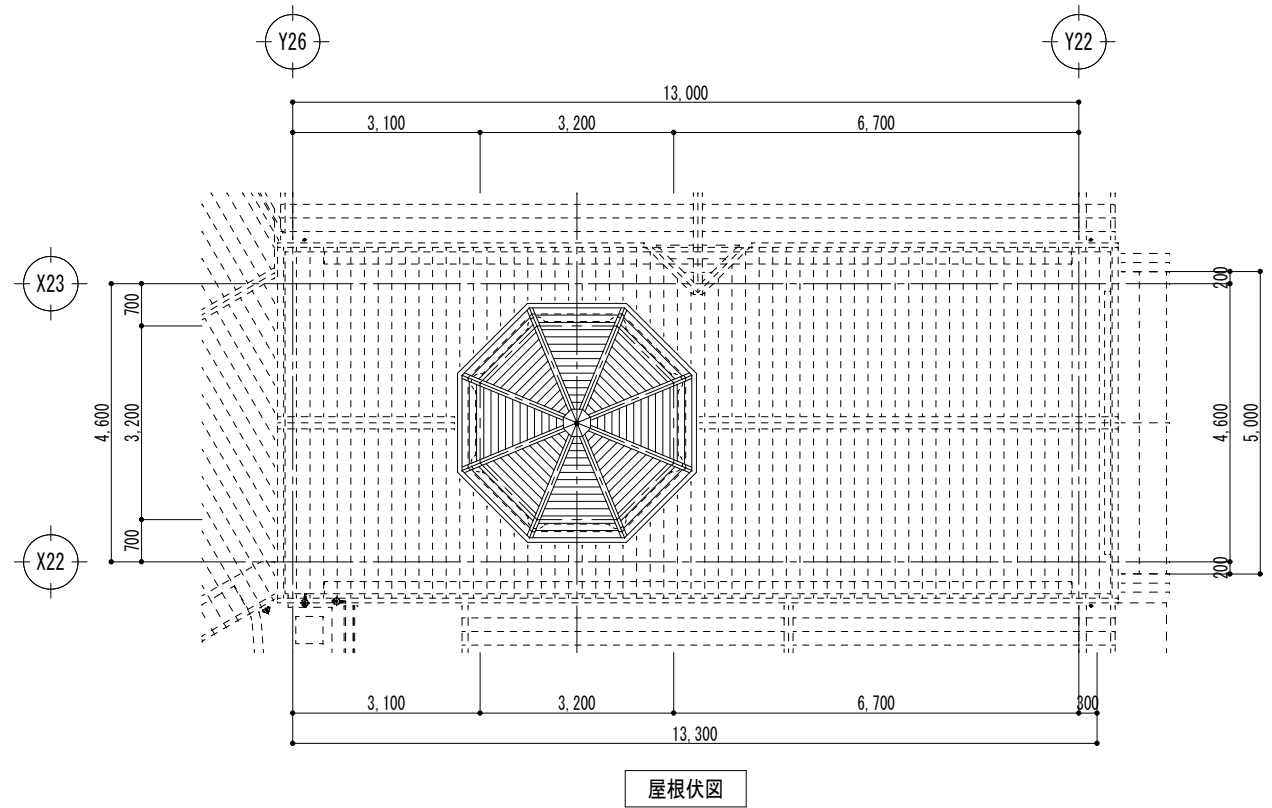


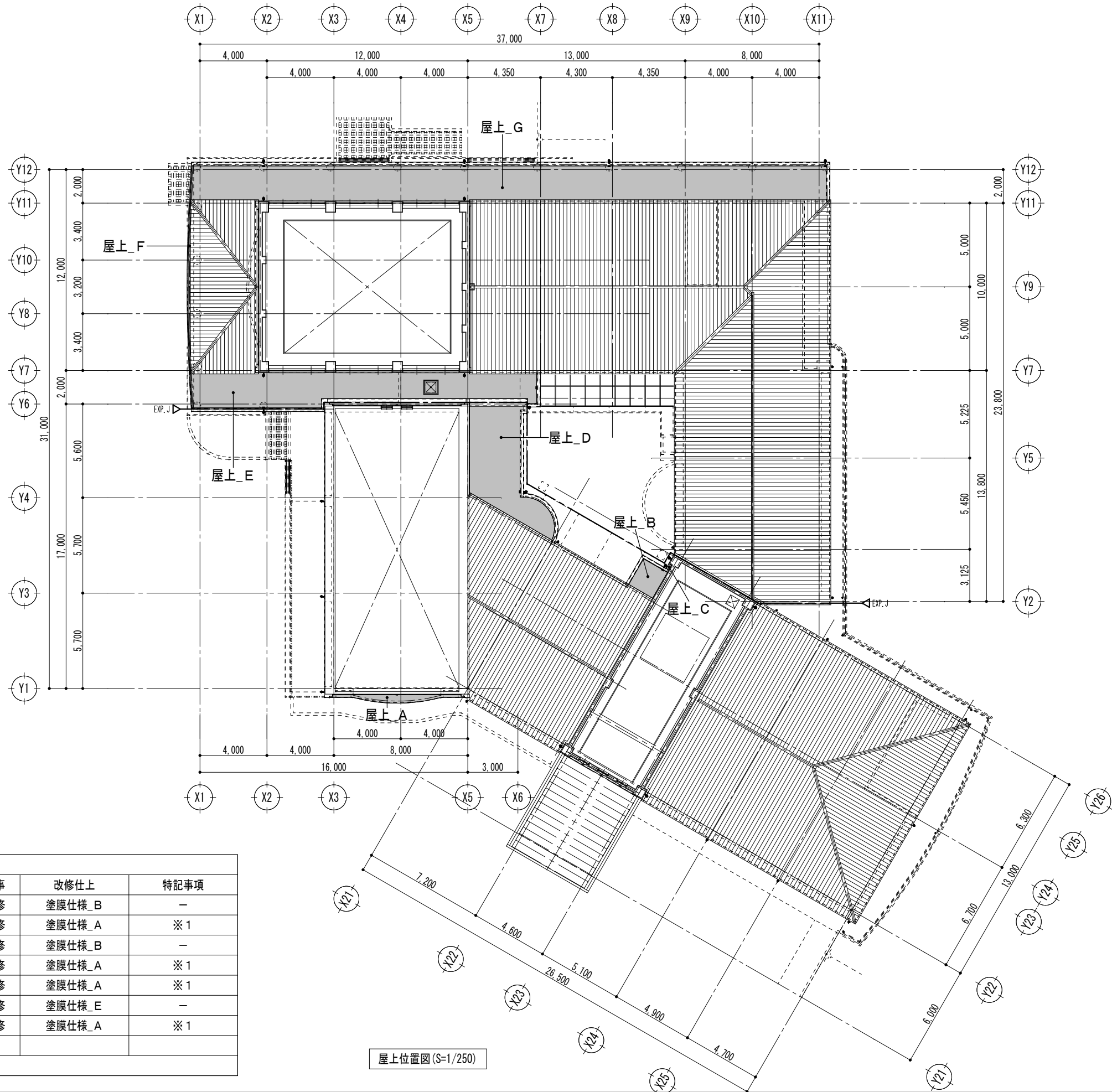
屋根一覧表				
屋根	仕上	勾配	工事	特記事項
①	洋風瓦（S型）	1/6	—	—
②	〃	1/5.7	—	—
③	〃	1/7	—	—
④	〃	1/7	改修	—
⑤	〃	1/7	改修	—
⑥	〃	1/7	—	—
⑦	〃	1/7	—	—
⑧	〃	1/7	—	—
⑨	化粧石綿セメント瓦	1/10	改修	塔屋
⑩	フッ素樹脂鋼板	R屋根	改修	ポーチ
⑪	アクリル板	片流屋根	改修	アルミテラス

屋根_④・⑤



屋根_⑨





屋上一覧表					
屋上	現況仕上	勾配	工事	改修仕上	特記事項
A	FRP防水	—	改修	塗膜仕様_B	—
B	FRP防水	—	改修	塗膜仕様_A	※1
C	防水モルタル	—	改修	塗膜仕様_B	—
D	FRP防水	—	改修	塗膜仕様_A	※1
E	シート防水	—	改修	塗膜仕様_A	※1
F	防水モルタル	—	改修	塗膜仕様_E	—
G	シート防水	—	改修	塗膜仕様_A	※1
※1 立上面は「塗膜仕様_B」とする。					

屋上_A

屋上_A：防水改修要領

現況 防水仕様：FRP防水		
平場	防水モルタルの上、FRP防水	[調整]
立上	防水モルタルの上、FRP防水	[調整]
笠木	－	[ー]
EXP.J	－	[ー]
その他	立上見切金物	[撤去]

⇩

改修 防水仕様：ウレタン系塗膜防水

平場	塗膜仕様_B（密着補強布工法）	[改修]
立上	塗膜仕様_B（密着補強布工法）	[改修]
笠木	－	[ー]
EXP.J	－	[ー]
その他	アルミ水切金物	[新設]

正面図

平面図

屋上_B

屋上_B：防水改修要領

現況 防水仕様：FRP防水		
平場	FRP防水	[調整]
立上	FRP防水	[調整]
笠木	アルミ製	[調整]
EXP.J	－	[ー]
DR	横引ドレイン	[撤去]

⇩

改修 防水仕様：ウレタン系塗膜防水

平場	塗膜仕様_A（通気緩衝工法）	[改修]
立上	塗膜仕様_B（密着補強布工法）	[改修]
笠木	塗装仕様_C	[改修]
EXP.J	－	[ー]
DR	改修用 横引ドレイン	[新設]

平面図

断面図

屋上_C

屋上_C：防水改修要領

現況 防水仕様：防水モルタル		
平場	防水モルタル	[調整]
立上	－	[ー]
笠木	－	[ー]
EXP.J	－	[ー]

⇩

改修 防水仕様：ウレタン系塗膜防水

平場	塗膜仕様_B（密着補強布工法）	[改修]
立上	－	
笠木	－	
EXP.J	－	

断面図

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

設計者

法適合確認欄

検証者

工事名
令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事

図名
[改修] 屋上平面図（1）：屋上A～C

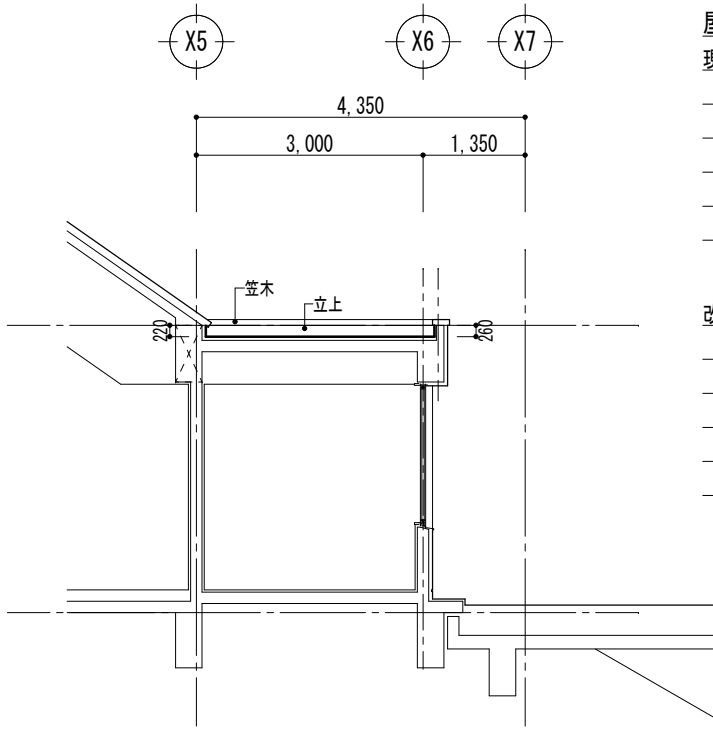
縮尺
S=1/100

日付
令和 年 月 日

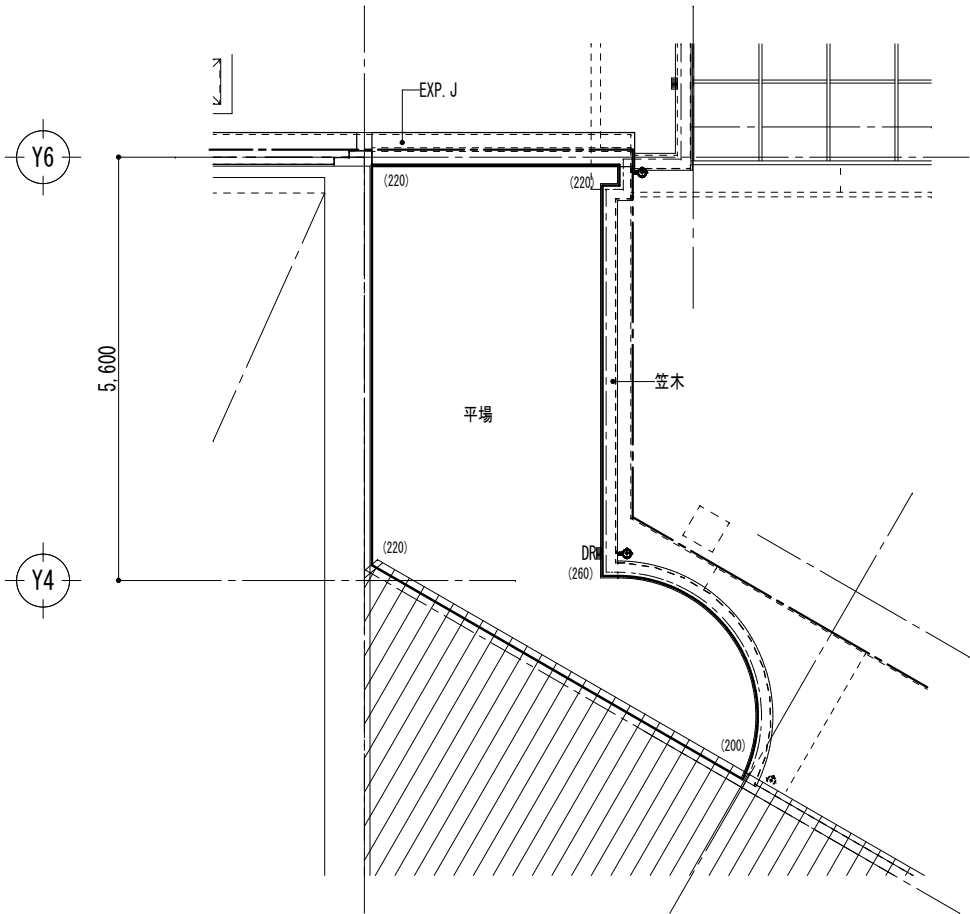
図面サイズ
A3版(100%)

図面番号
B-36

屋上_D



断面図



平面図

屋上_D：防水改修要領

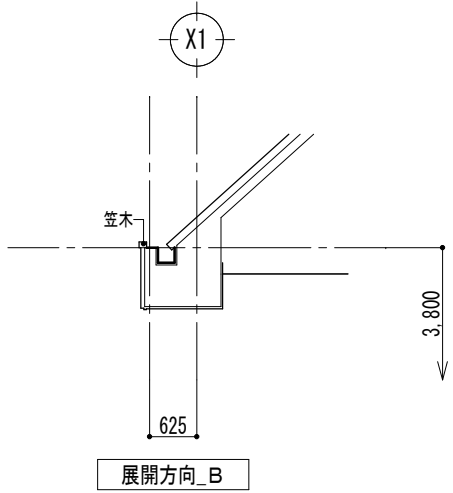
現況 防水仕様：FRP防水		
平場	FRP防水	[調整]
立上	FRP防水	[調整]
笠木	アルミ製	[調整]
EXP. J	－	[ー]
DR	横引ドレイン	[撤去]

改修 防水仕様：ウレタン系塗膜防水

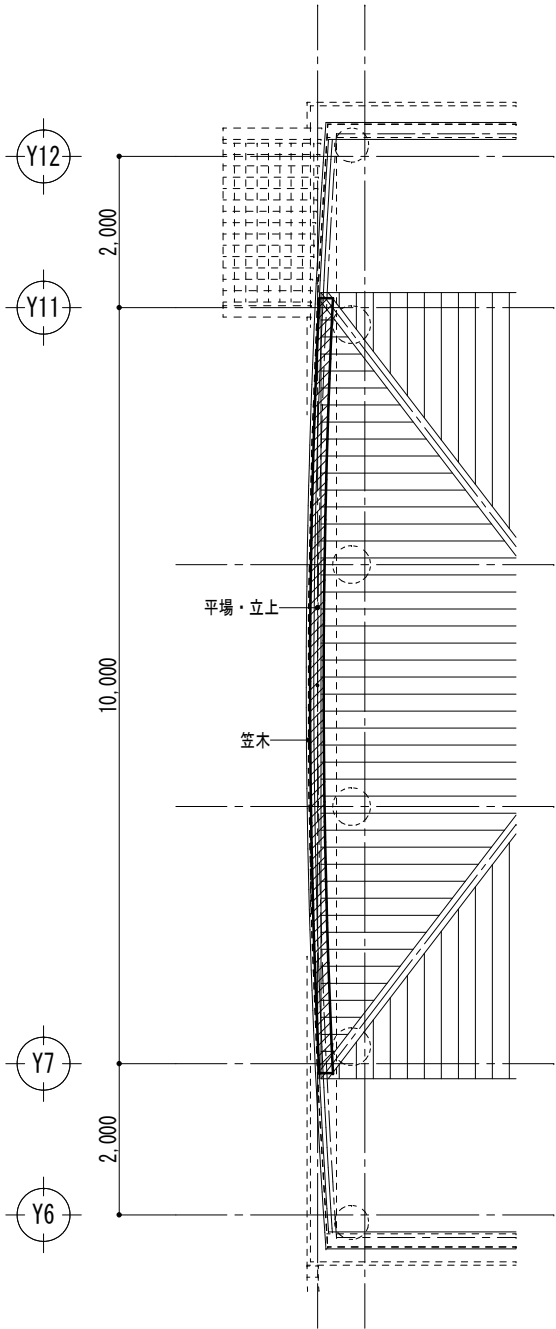
平場	塗膜仕様_A (通気緩衝工法)	[改修]
立上	塗膜仕様_B (密着補強布工法)	[改修]
笠木	塗装仕様_C	[改修]
EXP. J	－	[ー]
DR	改修用_横引ドレイン	[新設]

(***)：笠木下端～平場までの高さを示す。

屋上_F



展開方向_B



平面図

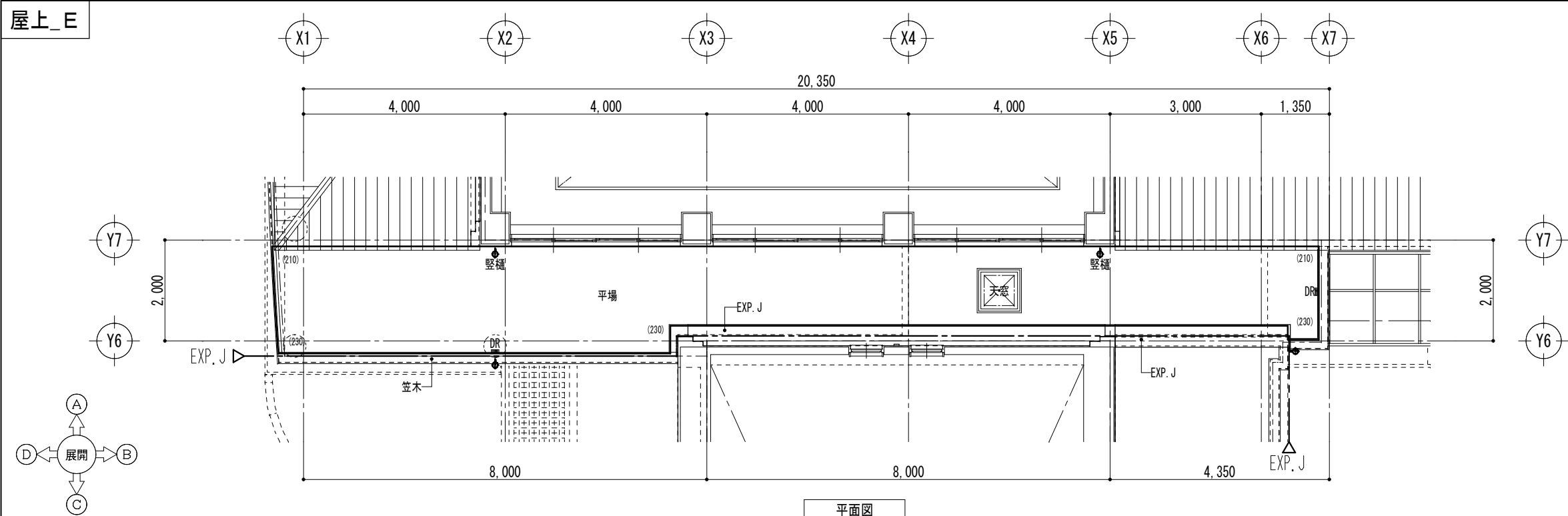
屋上_F：防水改修要領

現況 防水仕様：防水モルタル		
平場	防水モルタル	[調整]
立上	防水モルタル	[調整]
笠木	アルミ製	[調整]
EXP. J	－	[ー]
DR	－	[ー]

改修 防水仕様：ウレタン系塗膜防水

平場	塗膜仕様_E (密着工法)	[改修]
立上	塗膜仕様_E (密着工法)	[改修]
笠木	塗装仕様_C	[改修]
EXP. J	－	[ー]
DR	－	[ー]

屋上_E



屋上_E：防水改修要領

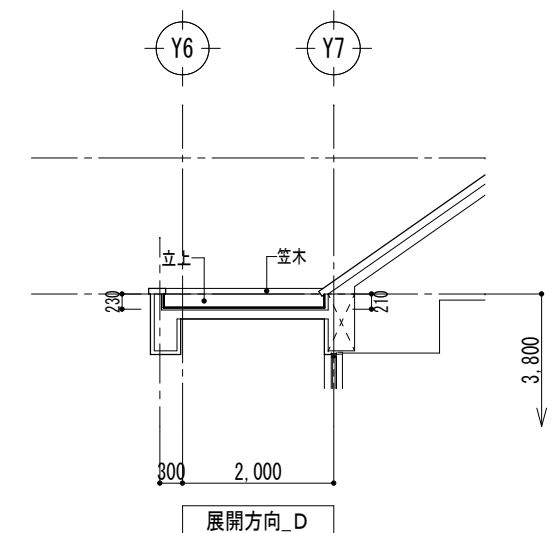
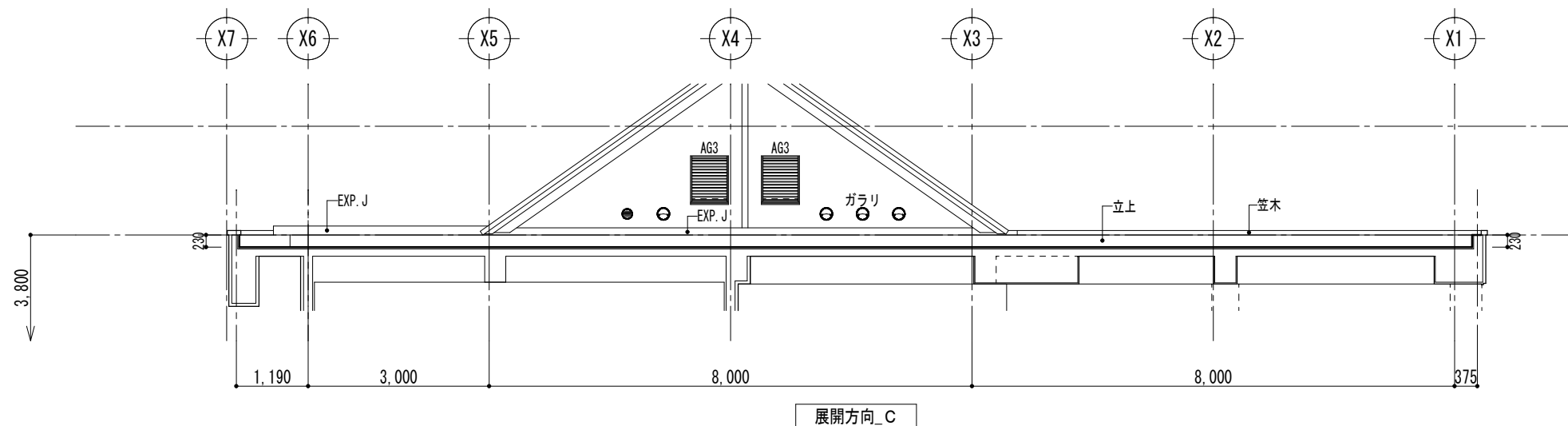
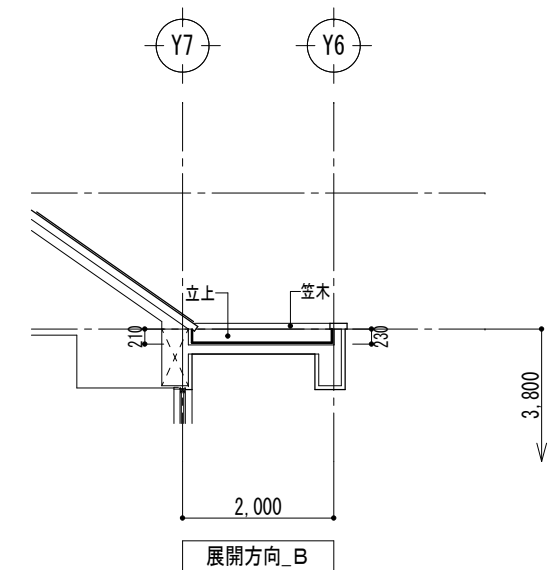
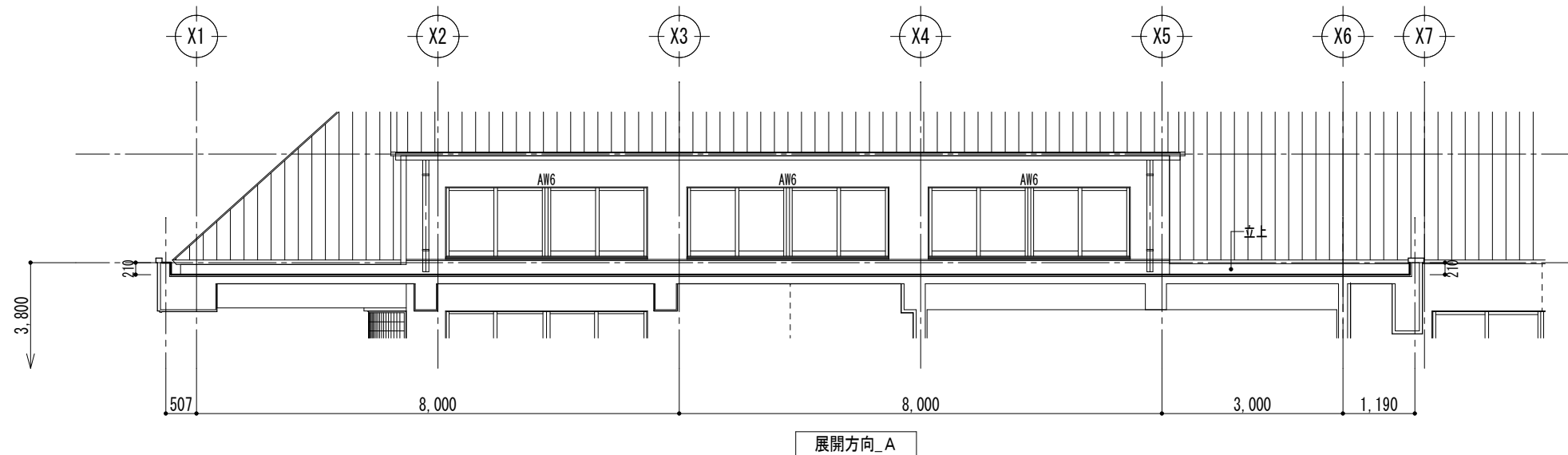
現況 防水仕様：シート防水

平場	合成高分子系塩ビシート防水（二重）	〔撤去〕
立上	合成高分子系塩ビシート防水（二重）	〔撤去〕
笠木	アルミ製	〔存置〕
EXP. J	アルミ製	〔存置〕
天窓	ポリカーボネートドーム	〔撤去〕
D R	横引ドレイン	〔撤去〕

改修 防水仕様：ウレタン系塗膜防水

平場	塗膜仕様 A (通気緩衝工法)	[改修]
立上	塗膜仕様 B (密着補強布工法)	[改修]
笠木	塗装仕様 C	[改修]
EXP. J	塗装仕様 C	[改修]
天窓	ポリカーボネート製樹脂製ドーム(角型)	[新設]
D R	改修用 横引ドレイン	[新設]

(***) : 笠木下端～平場までの高さを示す



北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

設計者

法適合確認欄

検証者

工事名	令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合かあゆ園 外壁等改修工事
-----	--------------------------------------

縮尺	0.1/100
----	---------

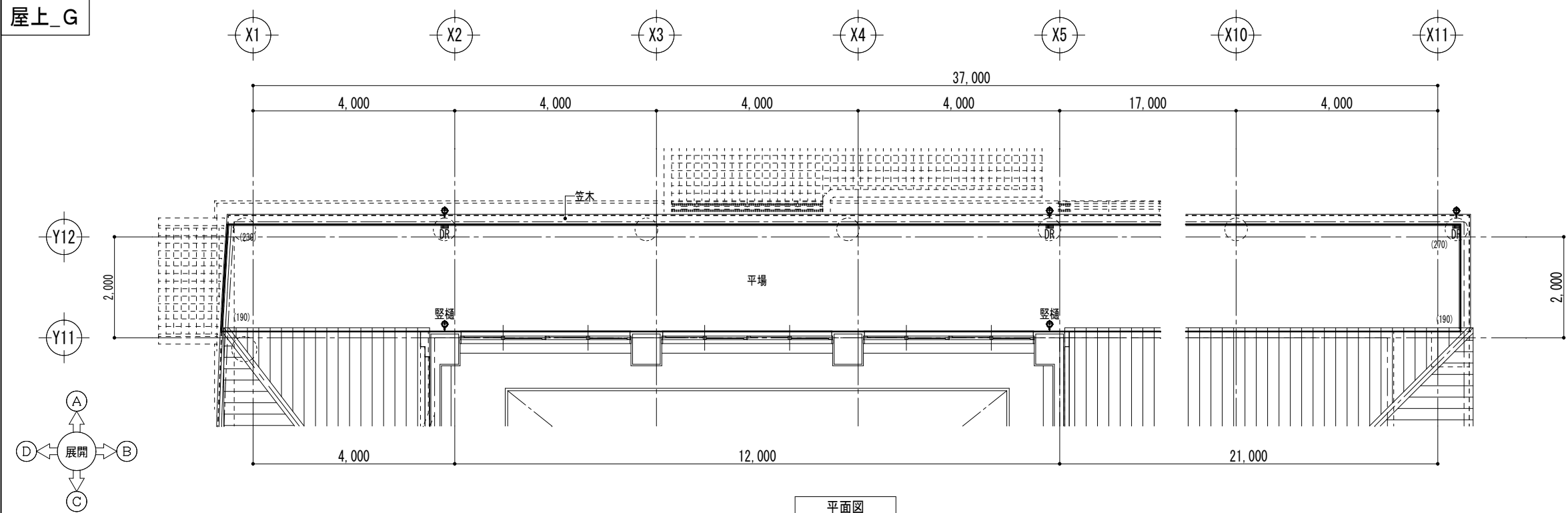
図面サイズ A3版(100%)

図名 [改修] 屋上平面図 (3) : 屋上E

日付 令和 年 月 日

図面番号 B-38

屋上_G



平面图

(***) : 笠木下端～平場までの高さを示す。

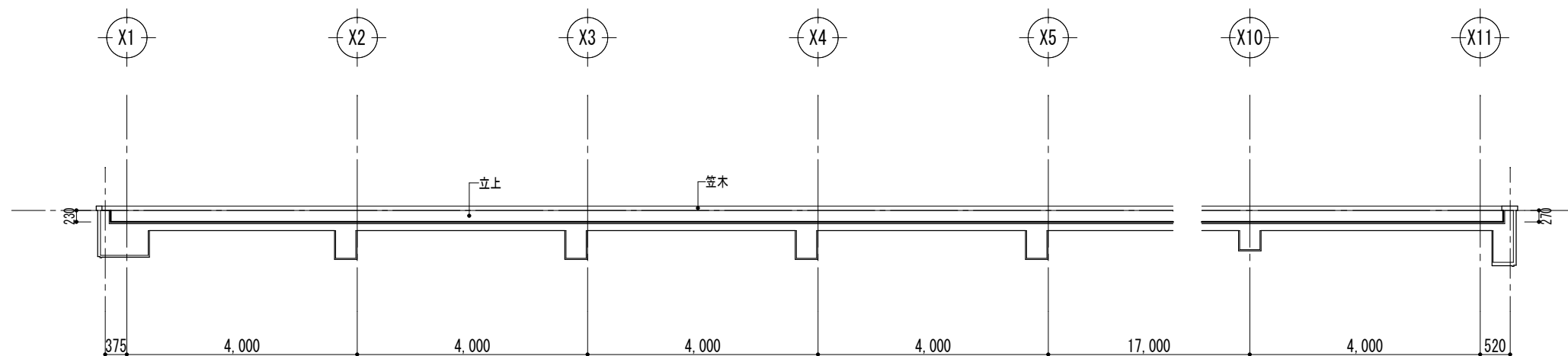
屋上_G：防水改修要領

現況 防水仕様：シート防水

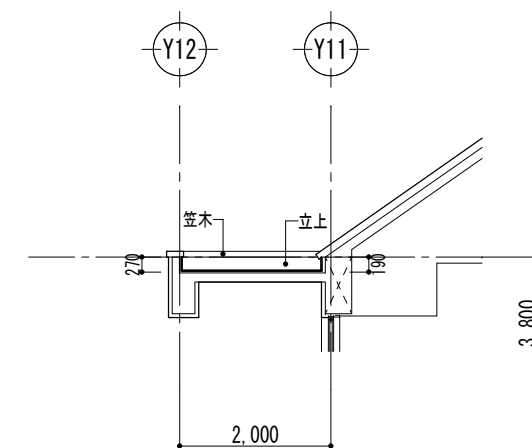
平場	合成高分子系塩ビシート防水（二重）	〔撤去〕
立上	合成高分子系塩ビシート防水（二重）	〔撤去〕
笠木	アルミ製	〔調整〕
EXP. J	－	〔－〕
D R	横引ドレイン	〔撤去〕

改修 防水仕様：ウレタン系塗膜防水

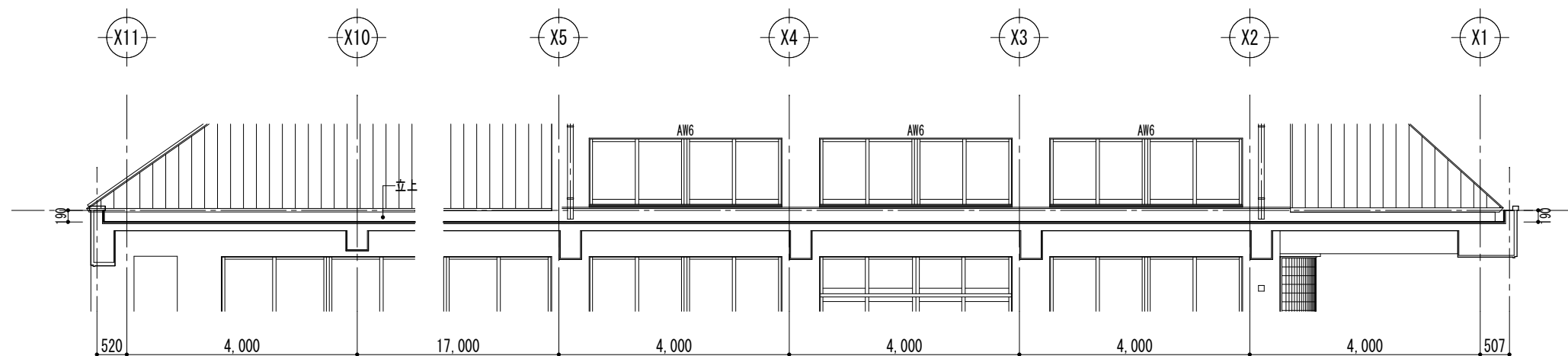
平場	塗膜仕様 A (通気緩衝工法)	[改修]
立上	塗膜仕様 B (密着補強布工法)	[改修]
笠木	塗装仕様 C	[改修]
EXP. J	—	[—]
DR	改修用 横引ドレイン	[新設]



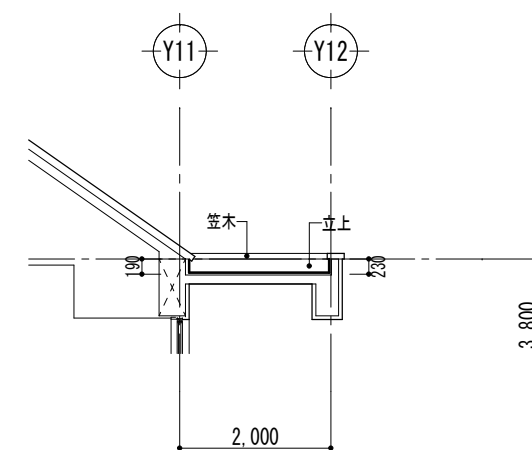
展開方向 A



展開方向 B



展開方向 C



展開方向 D

北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園

〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671

設計者

法適合確認欄

検証者

工事名	令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事
-----	---------------------------------------

図名 [改修] 屋上平面図 (4) : 屋上G

縮尺

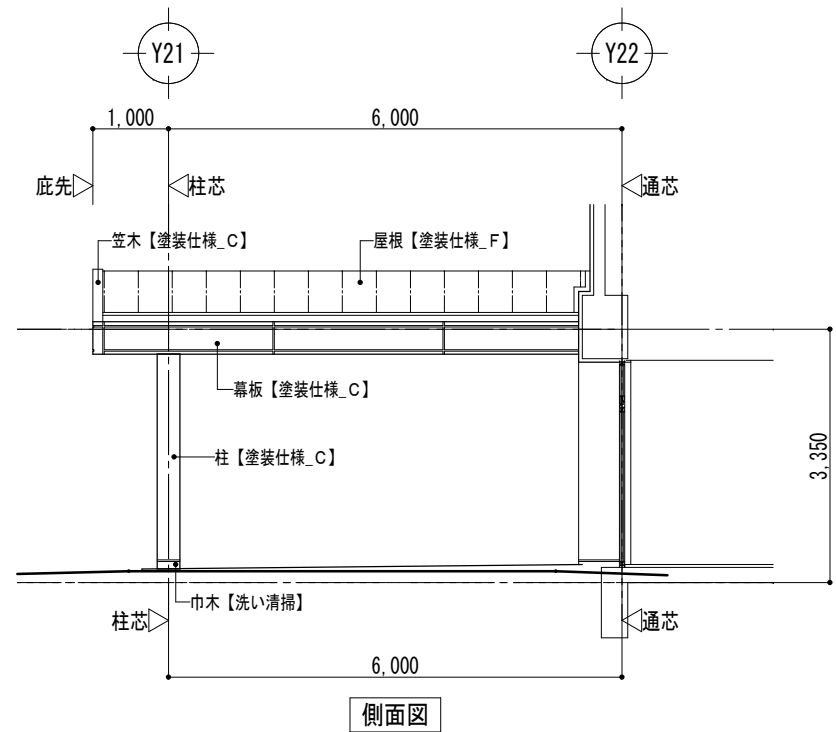
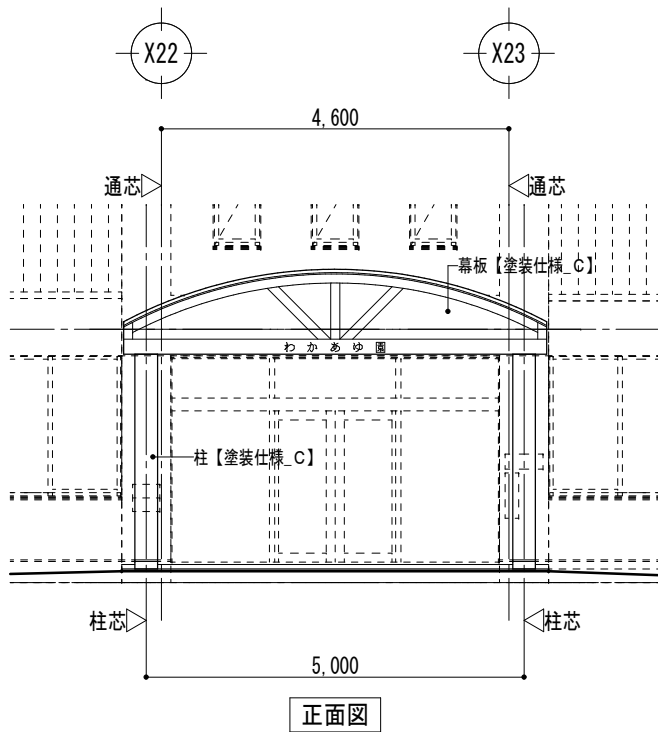
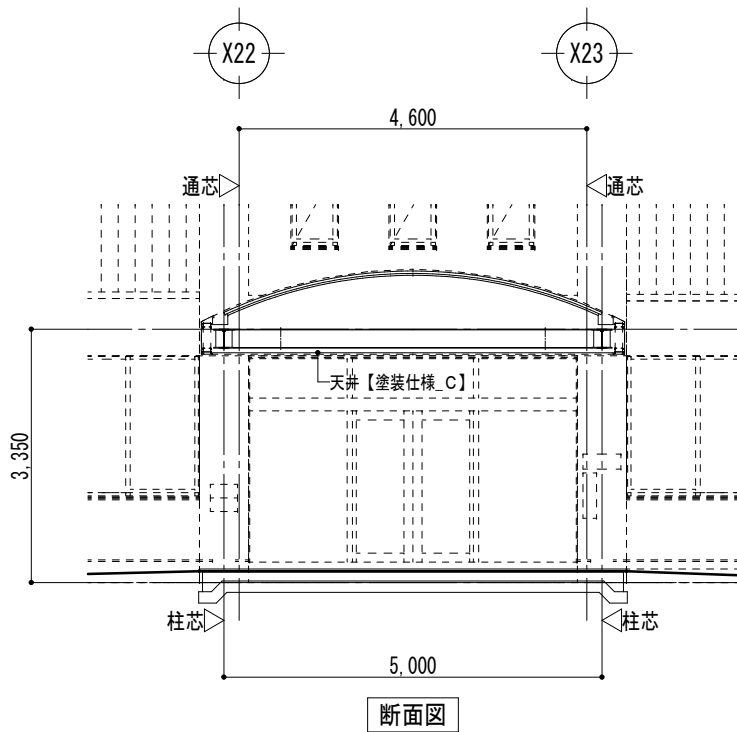
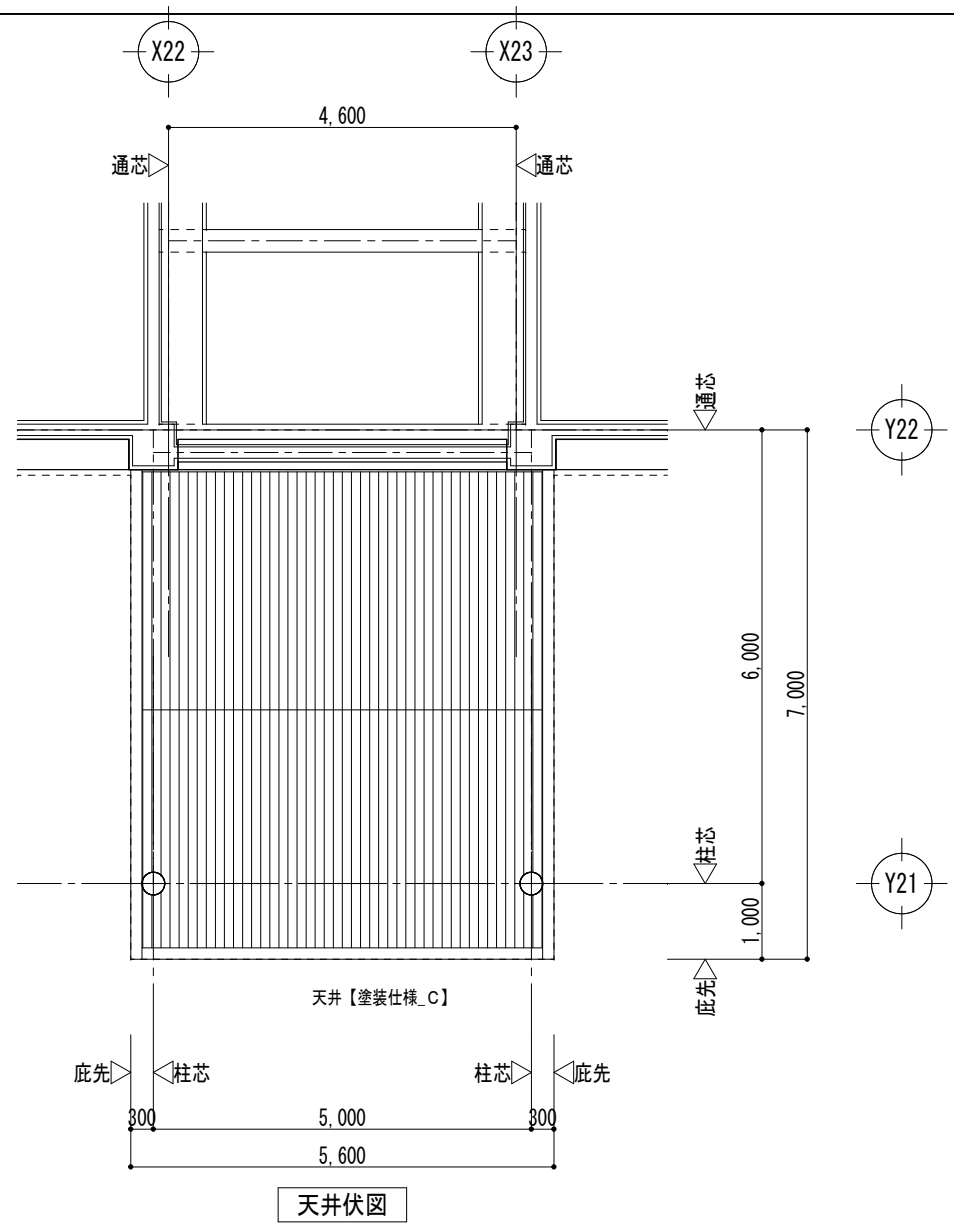
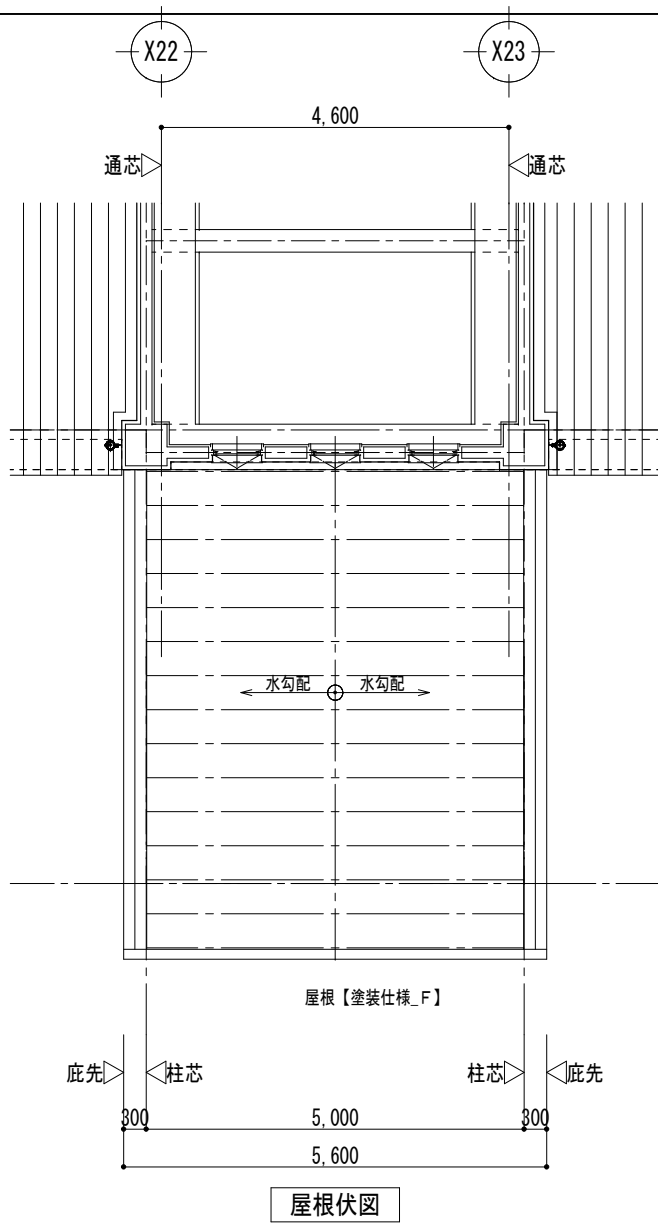
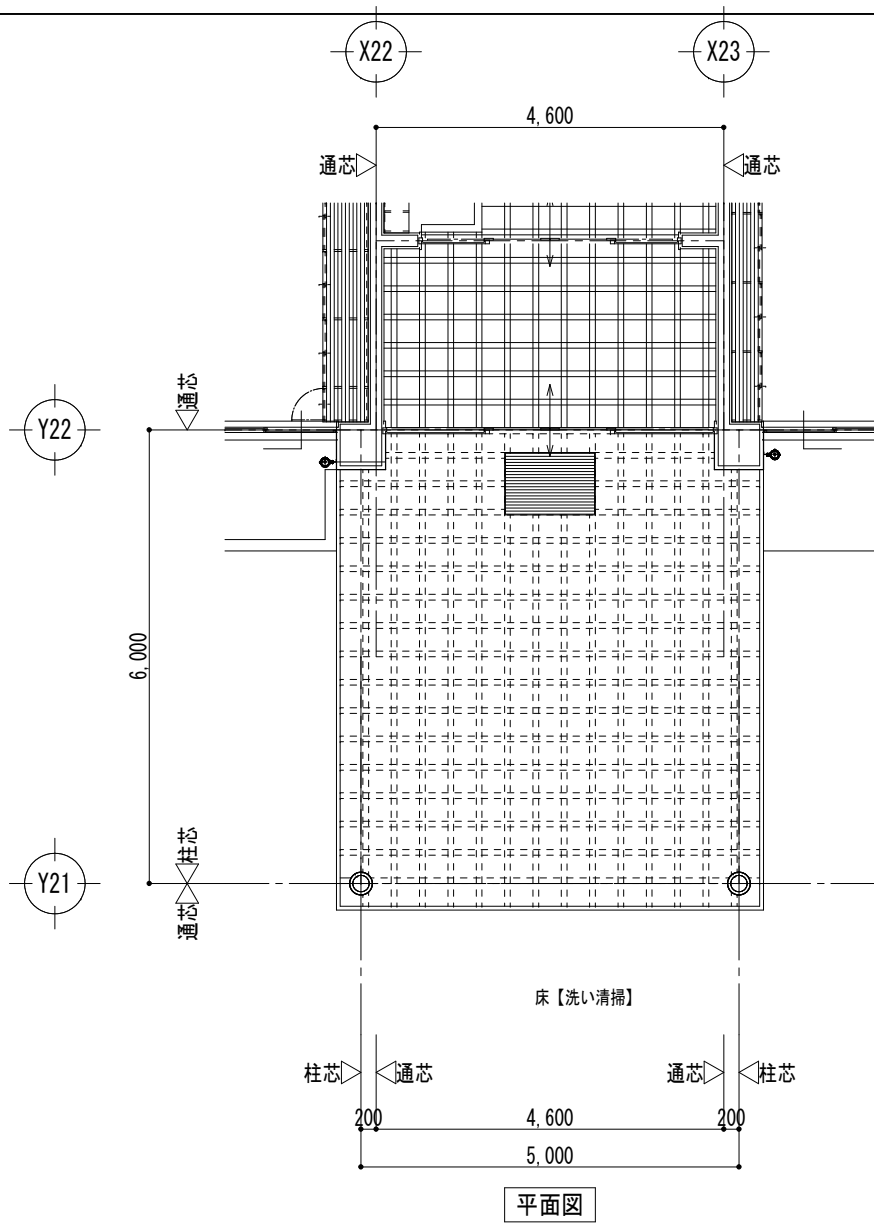
0.1/100

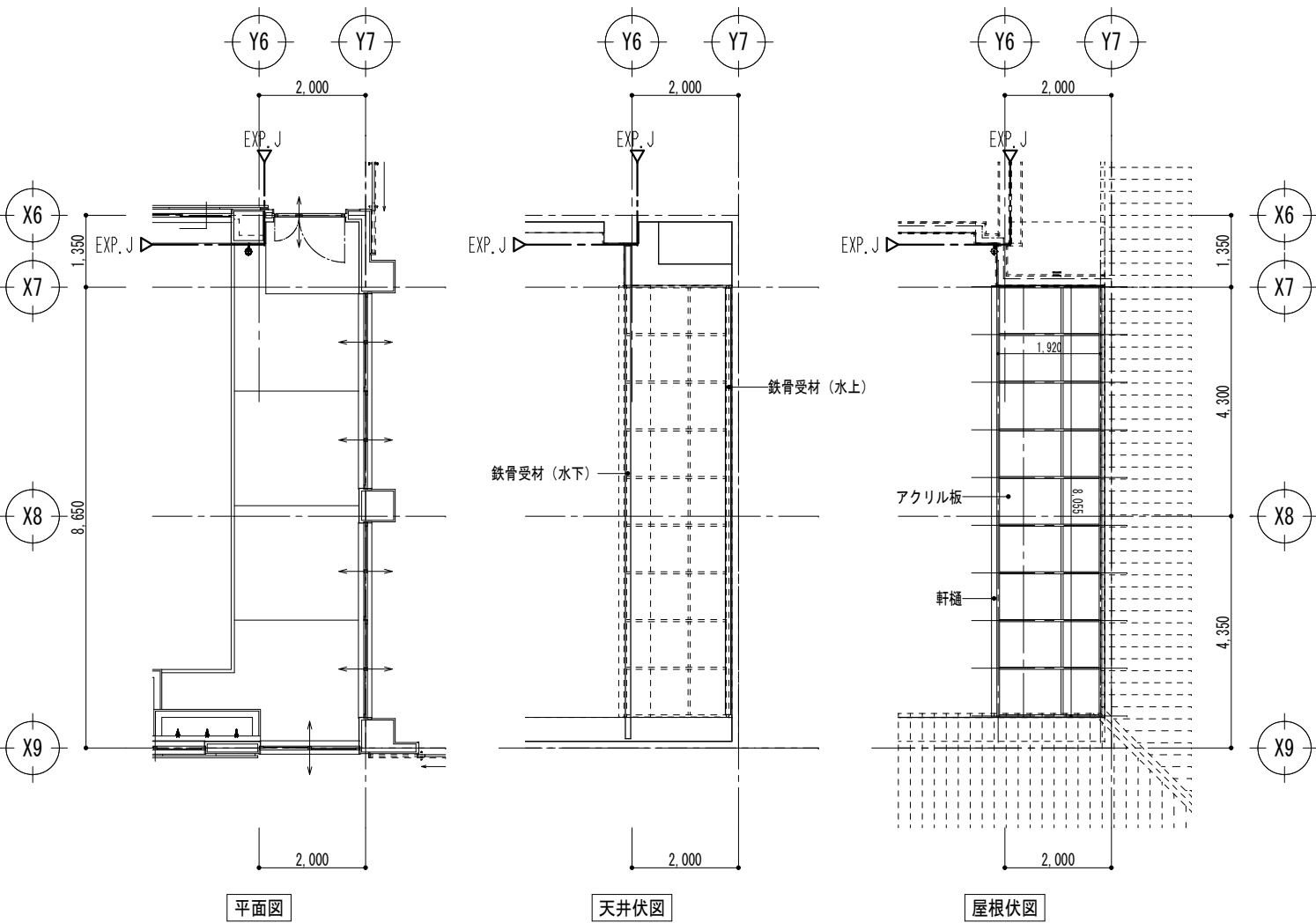
図面サイズ A3版(100%)

日付	令和
----	----

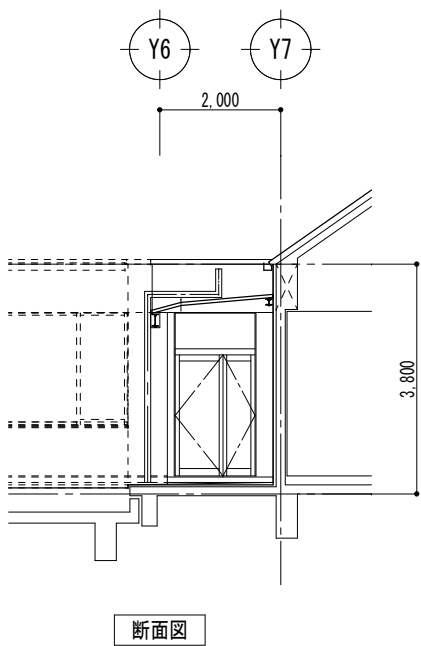
年 月

図面番号 B-39

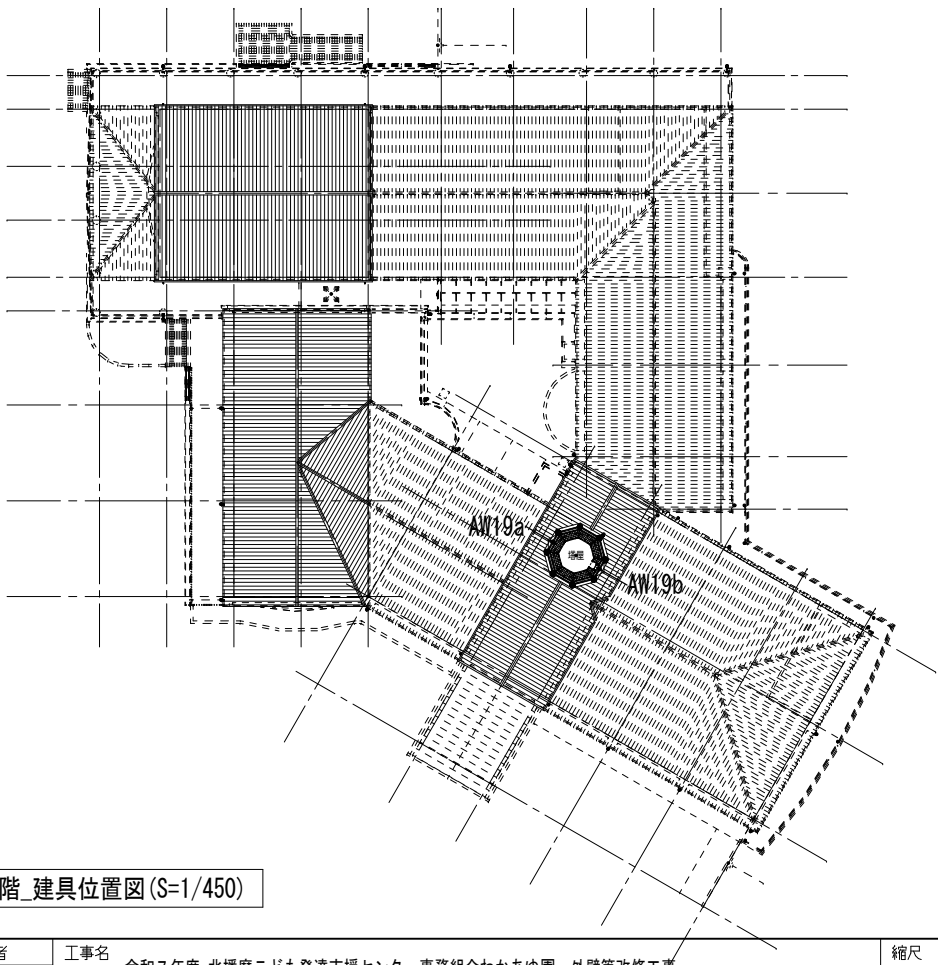
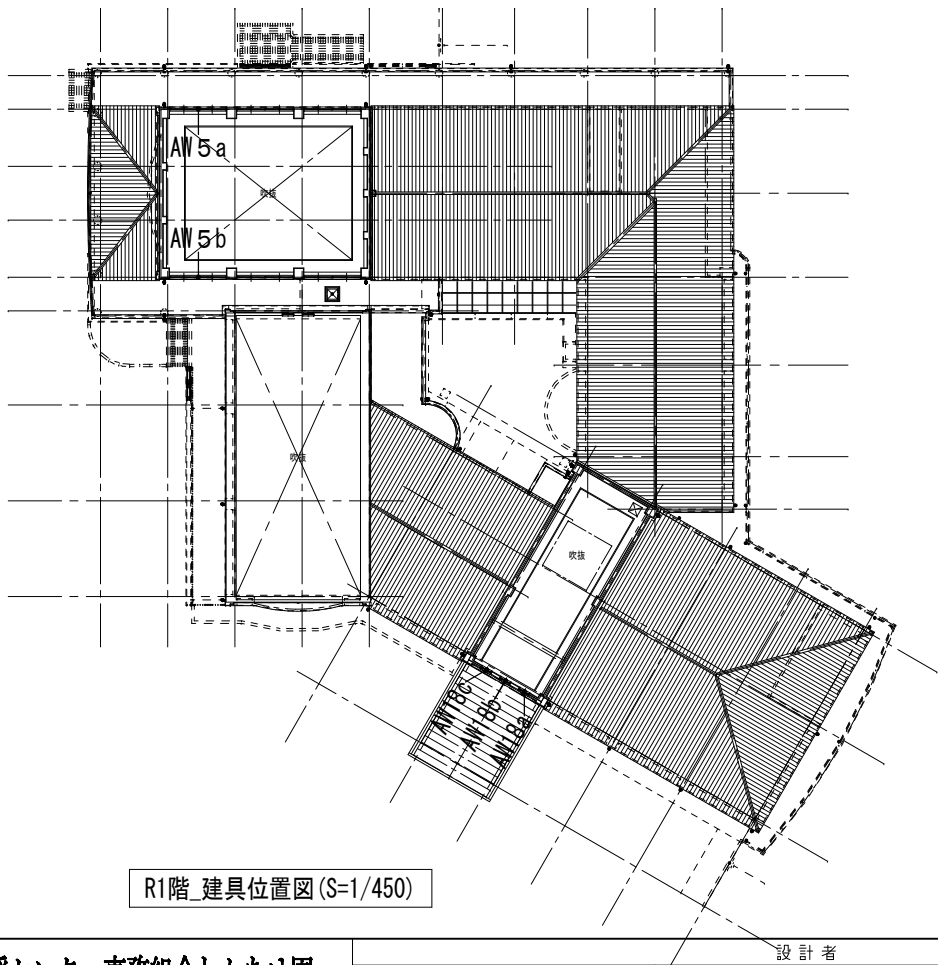
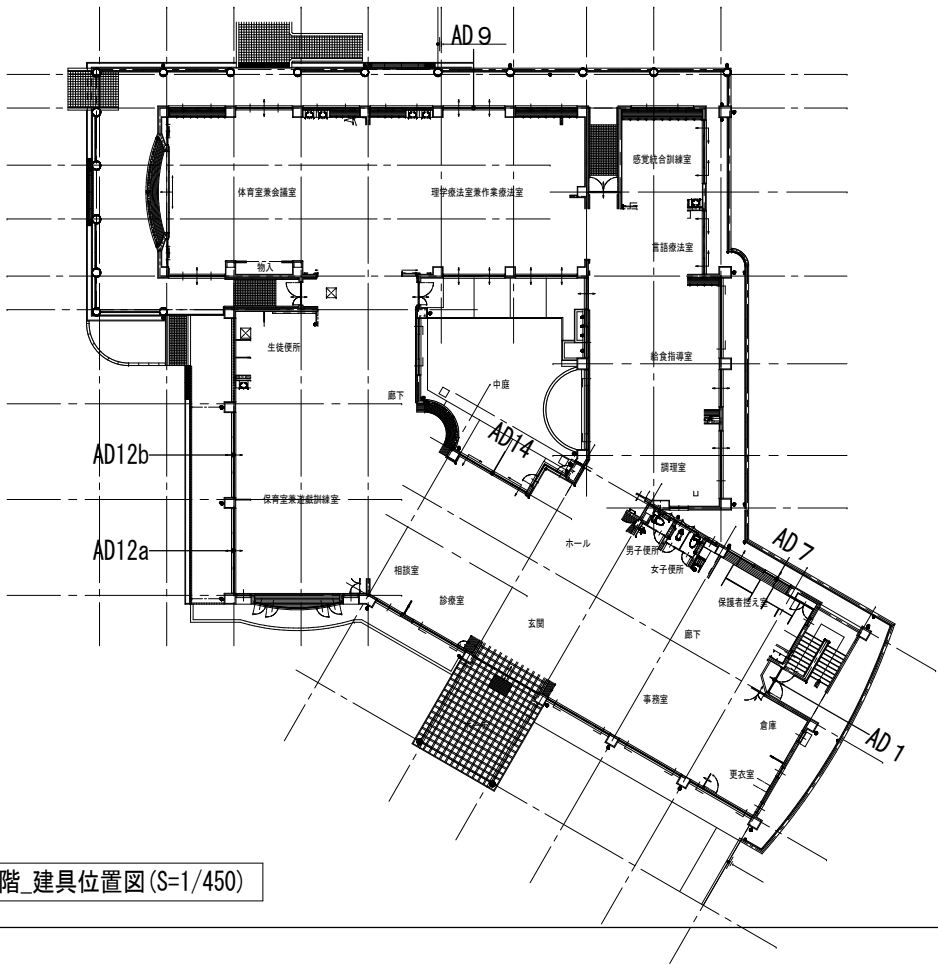


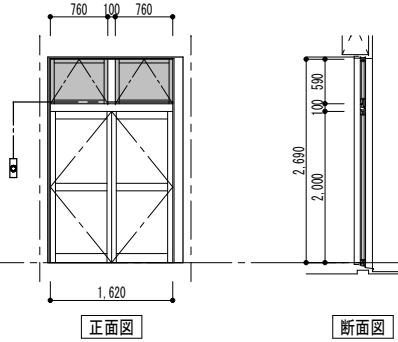
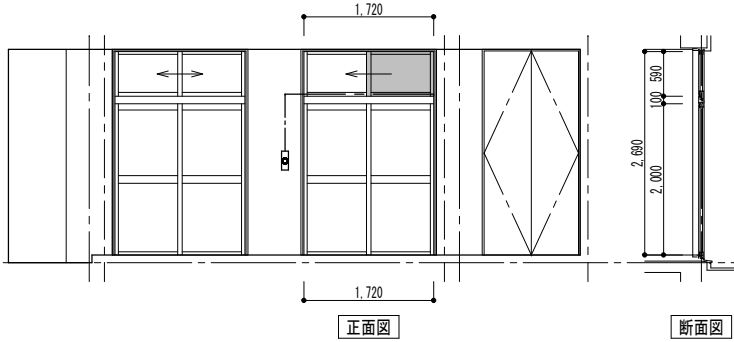
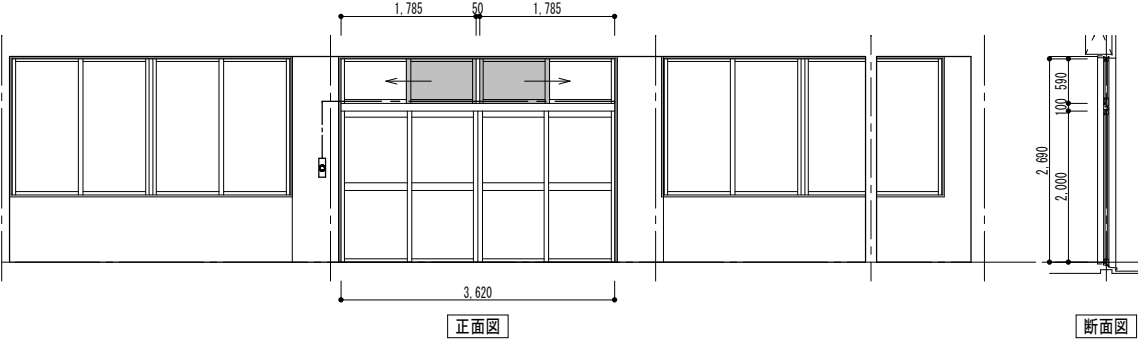
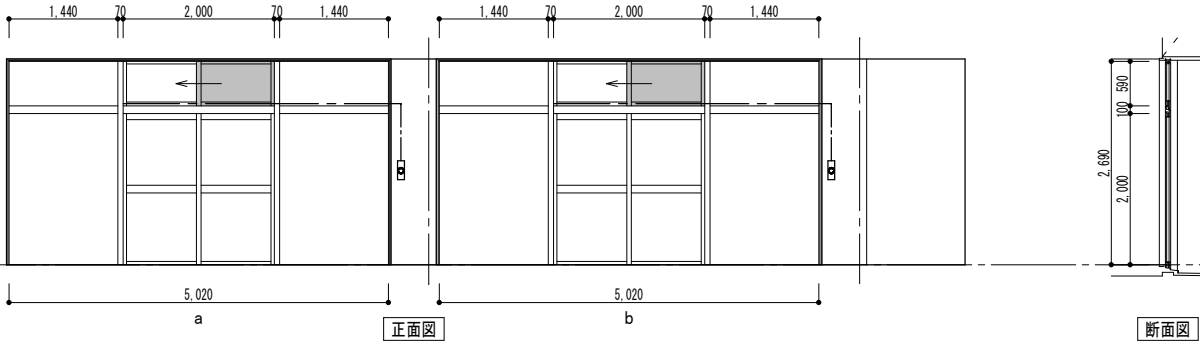
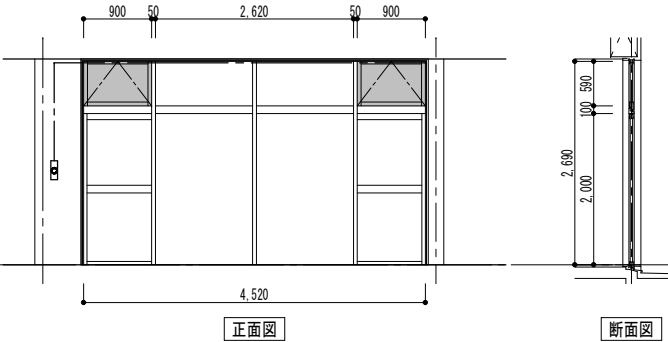


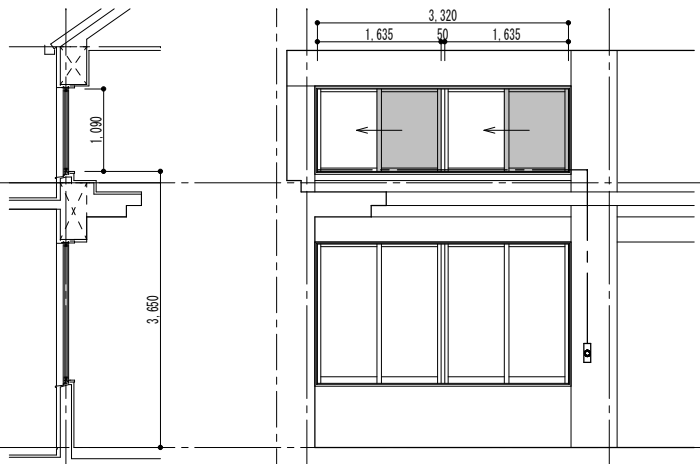
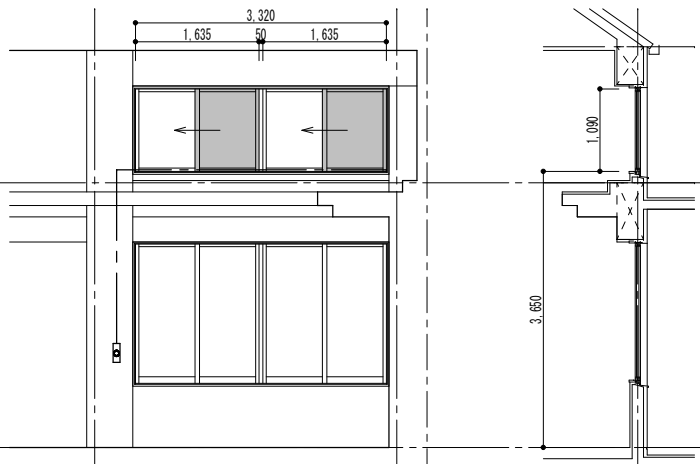
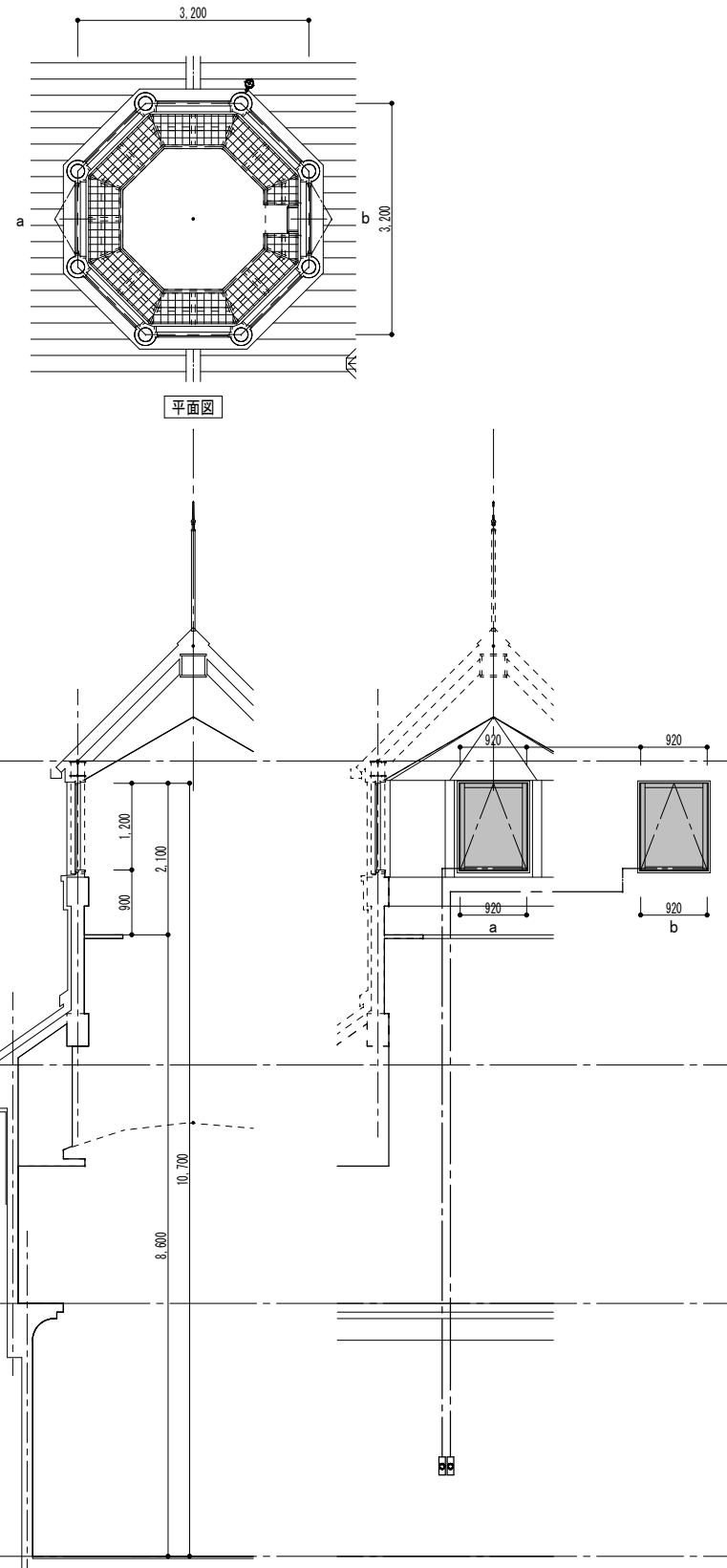
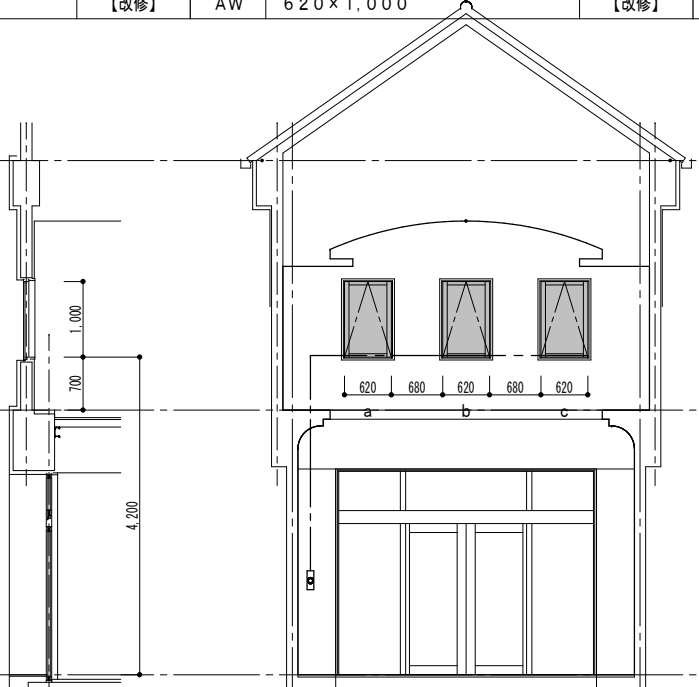
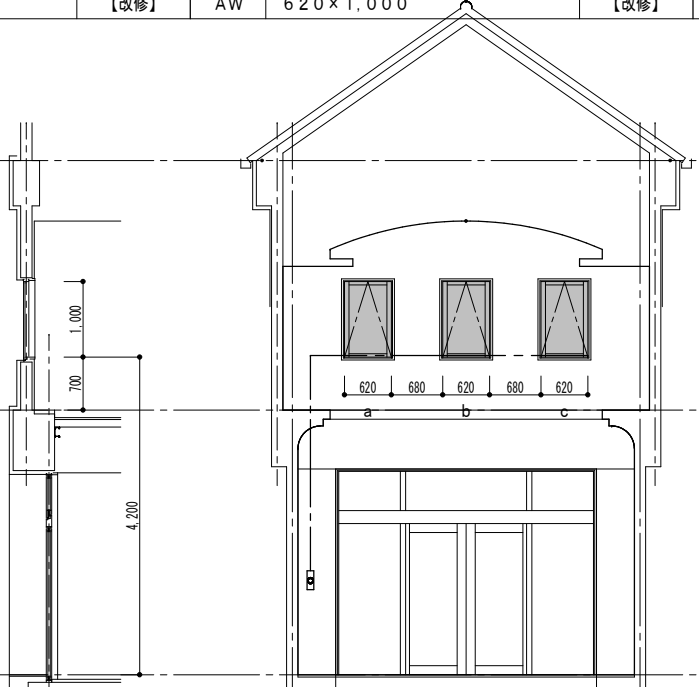
仕上表			
部位	改修内容	仕様	備考
鉄骨受材 (水上)	見掛部鉄部 仕上塗装	【塗装仕様_C】	H-100×100
鉄骨受材 (水下)	見掛部鉄部 仕上塗装	【塗装仕様_C】	H-200×100
屋根 (アクリル板)	水洗い・清掃 (両面)		外壁取合部シーリング
軒樋 (塩ビ製)	水洗い・清掃・勾配修正		
特記事項			
・			
・			



排煙窓寸法一覧表								
符号	設置室名	建具寸法	排煙窓寸法	窓数	OP数	状況	改修	特記事項
AD_ 1	廊下	1,620×2,690	760×590	2	1	不良	改修	
7	保護者控室	1,720×2,690	1,720×590	1	1	良	現況	
9	理学療法室兼作業療法室	3,620×2,690	1,785×590	2	1	良	現況	
12a	保育室兼遊戯訓練室	5,020×2,690	2,000×590	1	1	良	現況	
12b	"	5,020×2,690	2,000×590	1	1	不良	改修	
14	ホール	4,520×2,690	900×590	2	1	不良	改修	
AW_ 5a	体育室兼会議室	3,320×1,090	1,635×1,090	2	1	不良	改修	
5b	"	3,320×1,090	1,635×1,090	2	1	不良	改修	
18a	玄関	620×1,000	620×1,000	1	1	不良	改修	
18b		620×1,000	620×1,000	1				
18c		620×1,000	620×1,000	1				
19a	塔屋	920×1,200	920×1,200	1	1	不良	改修	
19b		920×1,200	920×1,200	1	1	不良	改修	



		1 廊下 AD 1,620×2,690	1 【改修】	7 保護者控室 AD 1,720×2,690	1 【存置】		
							
		(760×590)×2連、(PWG6.8)		(1,720×590)×1連、(FL5)		引違窓	
		【改修内容】		【改修内容】			
		排煙ダンパー (HK1020)・ボルトナット共		現況のまま			
		ステンレスワイヤーロープ (φ1.8)		-			
				-			
9 AD	理学療法室兼作業療法室 3,620×2,690		1 【存置】				
							
		(1,785×590)×2連、(FL5)		引違窓			
		【改修内容】					
		現況のまま					
		-					
		-					
12 a AD	保育室兼遊戯訓練室 5,020×2,690	1 【存置】	12 b AD 5,020×2,690	1 【改修】	14 AD ホール 4,520×2,690	1 【改修】	
							
		(2,000×590)×1連、(FL5)		(2,000×590)×1連、(FL5)		(900×590)×2連、(FL5)	
		引違窓		引違窓		外倒窓	
		【改修内容】		【改修内容】			
		現況のまま		ハンドルボックス (FH4N)		排煙ダンパー (HK1020)・ボルトナット共	
		-		-		ステンレスワイヤーロープ (φ1.8)	
		-					
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671		設計者		法適合確認欄	検証者	工事名 令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事 図名 [改修] 排煙窓_リスト表 (1)	縮尺 S=1/100 日付 令和 年 月 日 図面サイズ A3版 (100%) 図面番号 B-44

5 a		体育室兼会議室		1	5 b		体育室兼会議室		1	1 9 a		塔屋		1	1 9 b		塔屋		1								
AW		3,320×1,090		【改修】	AW		3,320×1,090		【改修】	AW		920×1,200		【改修】	AW		920×1,200		【改修】								
																											
(1,635×1,090)×2連、(FL5)				引違窓		(1,635×1,090)×2連、(FL5)				引違窓																	
【改修内容】				【改修内容】																							
ハンドルボックスカバー (FH4N用)				ハンドルボックスカバー (FH4N用)																							
ハンドル				ハンドル																							
-				-																							
1 8 a		玄関		1	1 8 b		玄関		1	1 8 c		玄関															
AW		620×1,000		【改修】	AW		620×1,000		【改修】	AW		620×1,000															
																											
																											
620×1,000、(PWG6.8)				突出窓		620×1,000、(PWG6.8)				突出窓		920×1,200、(PWG6.8)				横軸回転窓		920×1,200、(PWG6.8)				横軸回転窓					
【改修内容】				【改修内容】				【改修内容】				【改修内容】				【改修内容】				【改修内容】							
排煙ダンパー (THS1830)・ボルトナット共				排煙ダンパー (THS1830)・ボルトナット共				排煙ダンパー (THS1830)・ボルトナット共				排煙ダンパー (THS1830)・ボルトナット共				排煙ダンパー (THS1830)・ボルトナット共				排煙ダンパー (THS1830)・ボルトナット共							
ステンレスワイヤーロープ (φ1.8)												ハンドルボックス (NN23R)				ハンドルボックス (NN23R)				ハンドルボックス (NN23R)							
ハンドルボックス (ZD-06本体のみ)												ステンレスワイヤーロープ (φ1.8)				ステンレスワイヤーロープ (φ1.8)				ステンレスワイヤーロープ (φ1.8)							
北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園				設計者				法適合確認欄				検証者				工事名				縮尺				図面サイズ			
〒679-0212 兵庫県加東市下滝野1283番地1 TEL:0795-48-3074 FAX:0795-48-0671																令和7年度 北播磨こども発達支援センター事務組合わかあゆ園 外壁等改修工事				S=1/100				A3版(100%)			
																図名				日付				図面番号			
																[改修] 排煙窓_リスト表 (2)				令和 年 月 日				B-45			